<u> </u>	M2111	科目ナンバリング	開講年度学	期 2025年	 年度第1期	[2年位
担当者氏名	赤松 佳子					
時間割備考						
授業形態(主)	1講義					
授業形態(副)	2 演習					
担当形態研究分野(大学	<u>単独</u> □院) 英米文学					
本授業の概要	一人 人					
			F品を中心に、英詩を研究する。愛 の作品との比較を通して、作品を*			
アクティブラー	-ニングの実施内容					
到達目標		<u> </u>		対応で	するディプロマポリ	シー
						判断・表現力/3主体性)
英語で書 1	かれた韻文の読解	刀を培う。		知識	・技能/思考・判断	・表現刀
英詩への 2	批評眼を身に付け	、自分の考えを論じることができ	ర .	知識	・技能/思考・判断	・表現力/主体性
0						
3						
4						
5						
成績評価の基準				対応で	する到達目標の番号	
1	・意見交換(20%)			1/2		
2	· ト (20%)			1/2		
3 字期末レ	・ポート (60%)			1/2		
4						
5 実務経験のある	教員による授業科	目 I				
実務経験の授業						
日本語以外の言	話による授業					
授業予定一覧			事後学修内容と時間			
1. I. 導入·	一詩人の生涯と主要	要作品、同時代文人たちの紹介				
事前学修	manabaに設定され	ているアンケートに答える。				2時間
事後学修	イギリス文学史 <i>の</i>	中でダンを祖とする形而上詩人が	どのように評されているかを、箇	条書きにしてまと	:めておく。	2時間
2. II. 恋愛 『唄と		and Sonnets)の作品講読 ①「吲]」("Song") 2 種			
事前学修	詩の朗読を聞いて	O内容を把握する。日本語訳を試み 「、音の特徴を掴む。 ets″との違いを調べておく。	るのが効果的である。			2時間
事後学修			うたっていることの意味を考え、意	気見をまとめてお	< ∘	2時間
3. 『唄とソ	┃ ′ネット』 の作品記	講読 ② 「おはよう」("The Goo	d-Morrow")			
事前学修	詩の朗読を聞いて)内容を把握する。日本語訳を試み 、音の特徴を掴む。)の歌 (aubade / dawn songs) >0				2時間
事後学修	「おはよう」とい	ヽう詩が<後朝の歌>の伝統からいか	に逸脱しているのかをまとめてお	< ∘		2時間
4. 『唄とソ	/ネット』 の作品記	講読 ③「日の出」("The Sun Ris	ing")			
事前学修	詩の朗読を聞いて)内容を把握する。日本語訳を試み 「、音の特徴を掴む。 Sよび象徴を『イメージ・シンボル				2時間
事後学修		詩が〈後朝の歌〉の伝統を意識し、				2時間
I	ļ					<u> </u>

事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。	
	詩の朗読を聞いて、音の特徴を掴む。 「聖列加入・列聖」の本来の意味を調べておく。	2時間
事後学修	<奇想(conceit)>と呼ばれる比喩表現が効果的に使用されていることをまとめておく。	2時間
『唄とソ	ノネット』 の作品講読 ⑤ 「記念日」 ("The Anniversary")	
事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。	2時間
	詩の朗読を聞いて、音の特徴を掴む。 「記念日」を祝うことの意味を考える。	
事後学修	相思相愛の恋人たちが年月を積み重ねることの意義と〈奇想〉との関わりとをまとめる。	2時間
『唄とソ	アネット』 の作品講読 ⑥ 「別れ(嘆くのを禁じて)」("A Valediction: Forbidding Mourning")	
事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 詩の朗読を聞いて、音の特徴を掴む。	2時間
	jifの朗読を聞いて、音の特徴を掴む。 "valediction"の意味と使い方を調べておく。	
事後学修	傑作として名高い本詩における、永遠を意味する〈奇想〉の効果をまとめる。	2時間
III. 宗 ①	】 教詩 連作作品講読 『冠』(La Corona)	
	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。	2時間
	詩の朗読を聞いて、音の特徴を掴む。 ソネット連作の歴史を調べておく。	
事後学修	「冠」の形を意識したソネット連作が、キリストへの敬虔な愛永遠性永遠性を示すのにいかに効果的であるかをまとめておく。	2時間
②『聖	┃ なるソネット(神に捧げる瞑想)』の作品講読 前期	
事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 詩を音読して、音の効果の技巧を掴む。	2時間
事後学修	初期の作品群の配列と魂の永遠性獲得の問題とを考える。	2時間
D. 3 [1	 聖なるソネット(神に捧げる瞑想)』の作品講読 中期	
事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。	2時間
事後学修	詩を音読して、音の効果の技巧を掴む。 中期の作品群の配列と魂の永遠性獲得の問題とを考える。	2時間
1. 『聖なん	 るソネット(神に捧げる瞑想)』の作品講読 後期	
事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。	2時間
事後学修	詩を音読して、音の効果の技巧を掴む。 後期の作品群の配列と魂の永遠性獲得の問題とを考える。	2時間
2. ⑤「キリ	Jストに捧げる賛歌」("A Hymn to Christ. at the Author's Last Going into Germany")の作品講読	
事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 詩を音読して、音の効果の技巧を掴む。	2時間
事後学修	本詩と詩人の個人的な経験との関わりを調べておく。 宗教人としてのダンが到達した心の境地をまとめる。	2時間
	病床にあって神、わが神に捧げる賛歌」("A Hymn to God, My God, in My Sickness")の作品講読	249 [4]
事前学修	語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 詩を音読して、音の効果の技巧を掴む。	2時間
	「hymn"という形式と内容との妥当性を考える。 本詩と詩人の個人的な経験との関わりを調べておく。	
事後学修	病気の苦しみにも宗教的な意味を見出すことの意味をまとめる。	2時間
4. 評論を		
事前学修	前回の授業で配付された論文のプリントを解読する。	2時間
	形而上詩が描く世俗の愛の永遠性をまとめる。	2時間
事後学修		
	宗教詩における世俗的な愛の譬えが持つ意味と永遠性との関わり(シェイスクピアのソネットその他との比較から) 第1期の学習を振り返り、疑問点を質問できるようにしておく。	2時間

試験等
レポート提出
試験のフィードバックの方法
レポートに評価を書いて返却する。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自相引/自由/元元元山版社/ 岡田/ 1000/ 殊怀住川 岡ヴ
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
/ N.W. # N.
〈必携書〉
John Donne, The Complete English Poems (Penguin) 他(資料配付)
〈参考書〉
N 参与書 グ *授業で紹介する。
では本く相がする。
オフィスアワー
カライスアン
The Art II.
連絡先
akamatsu@m. ndsu. ac. jp
留意事項
本授業を履修する大学院生は、文学批評の知識を深めることに留意して、研究対象への応用力を磨くこと。
不及来と版例 7 3 八子成上は、

<u> 英米ス</u> 授業:	文字特論 IV コード	<u>M</u> 2116	科目ナンバリング		開講年度学期		2単位
		赤松 佳子				12-2-1 1270 = 11	
時間割	割備考						
	杉態 (主)	1講義					
授業# 担当#	ド態 (副) ド熊	2 演習 単独					
研究分	分野(大学 業の概要						
本授第読・分	業では、19 分析し、詩		ι、批評されてきたかを考え			。イギリス形而上詩人の作品との比 性を希求するイメジャリーを駆使し	
アクラ	ティブラー	ニングの実施内容					
到達日	目標					対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
	英語で書	かれた韻文の読解力]を培う。			知識・技能/思考・判断・表現	
1							
2	英詩への	批評眼を身に付け、	自分の考えを論じることか	べできる。		思考・判断・表現力/主体性	
3							
4							
5							
成績詞	平価の基準	・意見交換 (20%)				対応する到達目標の番号 1/2/3	
1							
2	小レポー	► (20%)				1/2	
3	学期末レ	ポート (60%)				1/2/3	
4							
5							
	経験のある	教員による授業科目	1	1			
		への活用方法					
	音以外の言 予定一覧	語による授業		事前・事後学修内容と時	計		
1. I	. 導入討	持人の生涯と主要作	品、同時代文人たちの紹介				
事	前学修	manabaに設定され ⁻	ているアンケートに答える。)			2時間
事	後学修	ディキンスンは生	前にほとんどの詩作を発表	しなかったので その作	品の詩解や老窓に向かる	うときの方法をまとめ、次回からの	2時間
2.		ガー・ファン 15 エー 指針とする。 読 ① (1861 年創作			HHOVEOUT CONTINUES	occommence of the source of th	27,17
		_					
事			の内容を把握する。日本語 たり、自ら音読したりして				2時間
3.		1. 予習の時点で不 2. 詩の技巧をノー 読 ② (1662-63 年		.た問題を見直す。 			2時間
	前学修	1. 語句の予習・詩	の内容を把握する。日本語				2時間
車		3. 1862-63年に多	たり、自ら音読したりして くの優れた詩が書かれたこ。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とを書き留めておく。	Ե .		クロキ月月
→ 4.		1. 予省の時息でか 2. 詩の技巧をノー 読 ③(1864-65 年		・1~□起で兄旦9。			2時間
事		_	の内容を把握する。日本語	訳を試みるのが効果的で	である。		2時間
		2. 詩の朗読を聞い	たり、自ら音読したりして 明瞭であり、授業で解決し	、音の技巧的特徴を掴む			2時間
		2. 詩の技巧をノー	トに書き出す。	171/02 C 70 EE 7 0			₩ 5 1 HI
5.		読 ① (1861 年創作			- 1		
		2. 詩の朗読を聞い	の内容を把握する。日本語 たり、自ら音読したりして - 四路でもは、授業で紹立し	、音の技巧的特徴を掴む			2時間
争		1. 予省の時点でイ 2. 詩の技巧をノー	明瞭であり、授業で解決し トに書き出す。	ﯨィニ-□咫ぴ兄胆9。			2時間

愛の詩	講読 ② (1662-63 年創作の作品)	
支切的	時 記 ⑥ (1002 00 一周) F07 F μμ /	
事前学修	1. 語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 2. 詩の朗読を聞いたり、自ら音読したりして、音の技巧的特徴を掴む。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 詩の技巧をノートに書き出す。	2時間
愛の詩	講読 ③ (1864-65 年創作の作品)	
事前学修	1. 語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 2. 詩の朗読を聞いたり、自ら音読したりして、音の技巧的特徴を掴む。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 詩の技巧をノートに書き出す。	2時間
死を歌	5詩 ① (1861 年創作の作品)	
事前学修	1. 語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 2. 詩の朗読を聞いたり、自ら音読したりして、音の技巧的特徴を掴む。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 詩の技巧をノートに書き出す。	2時間
死を歌	う詩 ② (1662 年創作の作品)	<u> </u>
事前学修	1. 語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 2. 詩の朗読を聞いたり、自ら音読したりして、音の技巧的特徴を掴む。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 詩の技巧をノートに書き出す。	2時間
0. 死を歌	マラ詩 ③ (1663 年創作の作品)	-
事前学修	1. 語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 2. 詩の朗読を聞いたり、自ら音読したりして、音の技巧的特徴を掴む。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 詩の技巧をノートに書き出す。	2時間
1. 死を歌	7 う詩 ④ (1864-65 年創作の作品)	<u>'</u>
事前学修	1. 語句の予習・詩の内容を把握する。日本語訳を試みるのが効果的である。 2. 詩の朗読を聞いたり、自ら音読したりして、音の技巧的特徴を掴む。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 詩の技巧をノートに書き出す。	2時間
2. 書簡に	:見る詩の要素 ① (T・W・ヒギンスン宛ての前期の手紙)	
事前学修	文芸評論家ヒギンスンに宛てた書簡における、病のイメジャリーを読み解く。	2時間
事後学修	予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。	2時間
3. 書簡に	- 見る詩の要素 ② (T・W・ヒギンスン宛ての後期の手紙)	
事前学修	文芸評論家ヒギンスンに宛てた書簡における、豊かな詩的表現を読み解く。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 書簡における詩の要素をノートに書き出す。	2時間
4. 評論を	読む ① (ダンとディキンスン)	
事前学修	前回の授業で配付された資料を解読しておく。	2時間
事後学修	1. 予習の時点で不明瞭であり、授業で解決した問題を見直す。 2. 詩の技巧をノートに書き出す。	2時間
5. 評論を	:読む ② 南北戦争の時代を生きた詩人として、イマジスト詩人としてのディキンスン	
事前学修	配付された評論の資料を解読しておく。 第2期の授業を振り返って、疑問点を質問できるようにしておく。	2時間
事後学修	ディキンスンという女性詩人の永遠性獲得のストラテジーをまとめる。	2時間

試験等
16. レポート提出
試験のフィードバックの方法
レポートに評価を書いて返却する。
レバードに計画で言いて必知する。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<必携書>
The Poems of Emily Dickinson, edited by R. W. Franklin 他(資料配付)
オフィスアワー
随時、メール等で質問を受け付ける。
連絡先
akamatsu@m. ndsu. ac. jp
留意事項
本授業を履修する大学院生は、文学批評の知識を深めることに留意して、研究対象への応用力を磨くこと。

英木メ子付調IA 授業コード	M2121	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期	2年位
担当者氏名	新野 緑				
時間割備考					
授業形態(主)	1講義				
授業形態(副) 担当形態	単独				
研究分野(大学 本授業の概要	完) 英米文学				
イギリス19世紀 マンスフィール かし、一家の次	ド・パークに引き取 Bエドマンドに励ま	られた下級軍人の娘ファニー・ されて次第に一家の中でなくて	・オースティンの『マンスフィールド・/ プライスは、引っ込み思案で上流のバート よならない存在へと成長し、彼に密かな忍 現の揺らぎといった当時の社会的文化的理	・ラム家の華やかで豊かな生活になか 恋心を抱くようになる。そのファニー	なか馴染めない。し
75					
アクティフラー	ニングの実施内容			対応するディプロマポリシー	
到達目標				(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
ある程度の 1	0長さのテキストを	原文で読みながら、自分なりに打	屈り下げるべき問題点を見出す力をつける		
先行研究? 2	と批判的に読むこと	で、自身の解釈を深める力を育っ	てる。	知識・技能/思考・判断・表現力	コ/主体性
自分の考え	たを論理的かつ効果	的に表現する力を養う。		知識・技能/思考・判断・表現プ	コ/主体性
4					
5					
成績評価の基準	責極的参加 20%			対応する到達目標の番号	
1 発表 2 0				1/2/3	
2					
3 最終レポー	-			1/2/3	
4					
5					
<u>実務経験のある。</u> 実務経験の授業・	数員による授業科目 Nの活用方法				
× 100 11 100 100 100 100 100 100 100 100					
	F				
日本語以外の言 授業予定一覧	音による授業		事後学修内容と時間		
	:作家説明とオース	スティン研究の流れ	TRANSPORTED		
事前学修	単語の細かいニュア	プンスや歴史的文化的背景が十分 アンスや歴史的文化的背景が十分	に把握できるように調べ、自分なりの解釈	Rや疑問点を持って授業に臨むこと 	2 時間
		ででする。 では、では、では、できます。 では、できます。 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる		(2 時間
事後子修 2. Book I Ch1:		を自じ、TF家やTF品、批計文への	叫畝で宝垤りる。		2 时间
		プンスや当時の社会階層に 関する	歴史的文化的背景を調べ、自分なりの解釈	Rや疑問点を持って授業に臨む。 【	2 時間
			語表現や歴史的背景を確認する。		2 時間
3. Ch2: 女性と	数育				
事前学修	単語の細かいニュア	⁷ ンスや女性の教育についての歴	史的文化的背景を調べ、自分なりの解釈や	○疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復	『習し、授業で取り上げられた英	語表現や歴史的背景を確認する。		2 時間
4. Ch3:荘園と	直民地				
事前学修	単語の細かいニュア	プンスや当時の植民地に関する歴	史的文化的背景を調べ、自分なりの解釈や	ウ疑問点を持って授業に臨む。 -	2 時間
		[習し、授業で取り上げられた英	語表現や歴史的背景を確認する。		2 時間
5. Ch4:都会とI					
	単語の細かいニュア に臨む。	/ンスや当時の都会と田舎の対立 	についての歴史的文化的背景を調べ、自名	うなりの解釈や疑問点を持って授業 	2 時間
事後学修	授業内容について復	寝習し、授業で取り上げられた英	語表現や歴史的背景を確認する。		2 時間

		C n+ 80
事前学修	単語の細かいニュアンスや当時の社交についての歴史的文化的背景を調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
Ch6:カント	リーハウスの改良	
事前学修	単語の細かいニュアンスやカントリーハウスの改良に関する歴史的文化的背景を調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に 臨む。	2時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
Ch7: 女性	と乗馬	
事前学修	単語の細かいニュアンスや女性の乗馬に関する歴史的文化的背景を調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
Ch9: 牧師。		
事前学修	単語の細かいニュアンスや牧師に関する歴史的文化的背景を調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
0. Ch10: 危风		
事前学修	単語の細かいニュアンスや歴史的文化的背景が十分に把握できるように調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
1. Ch 1 3: 演	劇熱	
事前学修	単語の細かいニュアンスや歴史的文化的背景が十分に把握できるように調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
2. Ch14: 『済	。 な人たちの誓い』	
事前学修	単語の細かいニュアンスや『恋人たちの誓い』について調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
3. Ch15: 配名	 これでは、	
事前学修	単語の細かいニュアンスに加え、上演の配役の意義を調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
4. Ch16: エ	 ドマンドの変化	
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、エドマンドの変化の意味について、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や歴史的背景を確認する。	2 時間
5. Ch 17: 3	寅劇の裏側	
5. Ch 17: ½ 事前学修	g劇の裏側 単語の細かいニュアンスを調べ、演劇の裏側で進行する登場人物の関係について、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む	2時間

試験等
16週目に期末レポートを提出する
試験のフィードバックの方法
manabaや授業を通して適宜フィードバックを行う
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈必携書〉 Jane Austen, Mansfield Park. Edited by Claudia L. Johnson. Norton Critical Edition. W.W. Norton & Co Inc. 1998. ISBN: 978-0393967913 (各自
で授業開始までに購入のこと)
これ以外の参考書については適宜教室で配布、あるいは指示する。
オフィスアワー
随時。授業終了後やメール等で対応する。対面を希望する場合は、事前にメールで連絡して予約してください。
連絡先
niino_midori@m.ndsu.ac.jp
留意事項
原文の細かいニュアンスを捉え、独自の解釈が可能な様に、英英辞典などを用いながら十分に予習をして授業に臨んでほしい。
原文に記された事象の背後にある歴史的、文化的事実についても研究書を参照しながら理解を深めておくことが望ましい。
自分の意見や疑問点を積極的にクラスで発言してほしい。
授業で取り上げなかった箇所については各自で読んで、物語の展開を理解しておくこと。

ダイス 授業コ	<u>・子付酬15</u> 一ド	M2126	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期	2年位
担当者		新野 緑		1000000 1000 4 774		
時間割						
	態(主)	1講義				
担当形		単独				
研究分	`野(大学	院) 英米文学				
	の概要 ス19世紀	初頭、摂政皇太子時	 代を代表する女性作家ジェイン	・オースティンの『マンスフィールド・パー	ク』を精読する。伯父の准男爵サ	 ー・バートラムの館
マンス	フィール	ド・パークに引き取	られたファニー・プライスは、	引っ込み思案で上流のバートラム家の華やか 生へと成長し、彼に密かな恋心を抱くように	で豊かな生活になかなか馴染めな	い。しかし、一家の
灰男エ 宅の改	トマント t良熱や植	_{こ励まされて次第に} 民地との関係、地主	一家の中でなくてはならない仔ィ 階級における道徳観の揺らぎとし	生へと成長し、仮に密かな恋心を抱くように、 いった当時の社会的文化的現実との関わりの	なる。そのファニーの恋のゆくへ 中で考えてみたい。	と风長の適程を、邸
					,	
アクテ	ィブラー	ニングの実施内容				
到達目	標				対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	主理力/2 主体性)
	ある程度	の長さのテキストを	原文で読みながら、自分なりに掲	図り下げるべき問題点を見出す力をつける。	知識・技能/2思考・判断・表現:	
1	0,011,2			a y i y o cianam e ya a y y y e a y y o	7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	37 111111
	生行四次	ᅕᄡ᠉ᅅᄱᅘᅪᅩ	で、自身の解釈を深める力を育っ	r Z	知識・技能/思考・判断・表現だ	九/主体性
2	元1] 功 无	と批判的に読むこと	で、日夕の胜杯を床める力を自	℃ る。	和誠・技能/ 心方・刊断・衣坑/	カン 土体注
	白ハケギ	= # =A TO ## 1 #1 ==	めにまねよう よとせき			L / S / L la
3	日分の考	えを 編埋的かつ効果	的に表現する力を養う		知識・技能/思考・判断・表現だ	7/王体性
J						
4						
4						
_						
5						
	価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への	責極的参加 20%			1/2/3	
	発表 2	0 %			1/2/3	
2						
3	最終レポ・	- F 6 0 %			1/2/3	
4						
4						
5						
実務経	験のある	教員による授業科目			•	
美務稻	験の授業	への活用方法				
日本語	以外の言	語による授業				
授業予	定一覧			事後学修内容と時間		
I. BOC	ok II Uni	:サー・トマスの帰	返と産熟の秩序			
事育	前学修	単語の細かいニュア	ンスを調べ、自分なりの解釈や	疑問点を持って授業に臨む。		2 時間
事行	後学修	授業内容について復	[習し、授業で取り上げられた英	語表現や内容を確認する。		2 時間
2. Ch?	3; マライ	アの結婚				
5110		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
事	前学修	単語の細かいニュア	ンスを調べ、自分なりの解釈や	疑問点を持って授業に臨む。		2 時間
÷.	么出 1/5	セ 業 中 宛 に へ い イ 作	1331 恒業で売り しょうちょせ	新末用 以内 索 <i>去</i> 萨郭士?		O CILER
事行	後学修	_技 乗内谷について復	『習し、授業で取り上げられた英	詰衣垷や内谷を傩認する。		2 時間
3. Ch4	4: 三角関·	系				
事	前学修	単語の細かい <u>ニュ</u> ア	ンスを調べ、自分なりの解釈や	疑問点を持って授業に臨む。		2 時間
事?		授業内容について復	『習し、授業で取り上げられた英	語表現や内容を確認する。		2 時間
- ₱1	~ T 199	スペト・1日に つい こほ	こっし、 スポ へが ケエリ りかた犬	MI 30-76 (FJE: C H性DD 7 '00 o		스 바이 [편]
4. Ch	5:晚餐会	₹				
#-		出話の細ない。	ひった細さ 百八七日をかがせ	短目上土仕って15世によ		O 11 88
争目	前学修	早 語の細かいニュア	'ンスを調べ、自分なりの解釈や	矩向点を持つ(授美に臨む。		2 時間
事	後学修	授業内容について復		語表現や内容を確認する。		2 時間
5. Ch6	3:海軍と	兄の訪問				
車	前学修	単語の細かいニュア	'ンスを調べ、自分なりの解釈や	疑問占を持って授業に <u>臨</u> む		2 時間
→ F	ッコープ (V)	—пполиши.о·— ⊥ У	- ハc㎜ ・、ロカはりの所称で	※には、それでは、これ、大きな、		스 바퀴(티)
事征	後学修	授業内容について復	[習し、授業で取り上げられた英	語表現や内容を確認する。		2 時間

+ w	IVET AND LESS AND LES	- ·
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
Ch9: 首飾!)	<u>.</u>
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
Ch12: 理想	の女性 の女性	<u>.</u>
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。 	2時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
Ch13: 板挟	. Ъ	
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
D. Book III	Ch1: 地位と心情	-
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
1. Ch 2: 人間	引は変われるか?	
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2時間
2. Ch3: ショ	 - イクスピアの朗読	
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
3. Ch4: 人間	の多面性	
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
4. Ch7,8:ポ	ーツマス	L
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修	授業内容について復習し、授業で取り上げられた英語表現や内容を確認する。	2 時間
5. Ch15: 駆(」 t落ち	L
事前学修	単語の細かいニュアンスを調べ、自分なりの解釈や疑問点を持って授業に臨む。	2 時間
事後学修		2 時間

試験等
□ 1 6週目に期末レポートを提出する
試験のフィードバックの方法
授業やmanabaを通して適宜フィードバックを行う
DAY (menande base of base)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈必携書>Jane Austen, Mansfield Park. Edited by Claudia L. Johnson. Norton Critical Edition. W.W. Norton & Co Inc. 1998. ISBN: 978-0393967913 (ただし
1期にすでに購入している場合は、新たに購入する必要はありません)
その他必要な参考書については授業中に適宜紹介、配布する。
オフィスアワー
随時。授業終了後やメール等で受け付ける。対面を希望する場合は、以下のアドレスに事前に連絡し、予約してください。
連絡先
niino_midori@m.ndsu.ac.jp
留意事項
原文の細かいニュアンスを捉え、独自の解釈が可能な様に、英英辞典などを用いながら十分に予習をして授業に臨んでほしい。
同分の意見や疑問点を積極的にクラスで発言してほしい。
1 期の「イギリス文学特論Ia」で取り上げた部分については、第1回授業で説明するが、可能な限り1期のこの授業も履修していることが望ましい。
授業中に取り上げなかった箇所については各自で読んで、物語の展開を理解しておくこと。

授業コード	M2131	科目ナンバリング	I I I I	引講年度学期 	2025年度第1期	2年位
担当者氏名	松井 かや	1000	100	2417 1 22 7 777	12020 1 12 23 + 79	
時間割備考						
授業形態(主)	1講義					
授業形態(副) 担当形態	単独					
	 里 撰 院〉 <mark> 英米文学</mark>					
本授業の概要	U# 42 #4-1	のE何The Death of the Heart	(1000) 並出土は註十2	16歩っ河田した	ったポーシャは、異母兄トマスとそ	の事ファナトトナに
暮らし、年上の	エディに恋をするか		し、エディには裏切られ	、彼女は居場所も	心の拠り所も失っていく。作品のタ	
アクティブラー	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	ョン			
到達目標					対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2月表・判断・	主用力/2 主体性)
作品を批	評的に読む視点を身	たつける。			(1知識・技能/2思考・判断・ 知識・技能/思考・判断・表現	
1						
作品から 2	注目すべきテーマを	抽出し、それについて自分の主	張を論理的に展開できる。)	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
難解で知	られるこの作家の作	品の精読を通して、英語力を増	強する。		知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1 授業準備	20%				1/2/3	
2 授業での	意見発表 20%				1/2/3	
	1 60%				1 (0 (0	
3 最終レポ	— F 60%				1/2/3	
4						
5						
	教員による授業科目					
実務経験の授業	への活用方法					
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業	事前・	・事後学修内容と時間			
	-ション、エリザベ	ス・ボウエンについて エー・	于以了1977日 C 时间			
事前学修	エリザベフ・ギウ	エンについて調べる。				1時間
争刖子昣	1 1 1 1 N N N N N N N N N N N N N N N N	レンについて調べる。				1 64 [8]
事後学修	授業を振り返り、	疑問点などについてさらに検討・	考察しておく。			1時間
2. Part 1 "Th	e World" Chapte	r 1 リージェンツ・パーク				-
事前学修	テクストの指定範囲	囲を精読し、気付いた点などをま	ことめる 。			2時間
		疑問点などについてさらに検討・	考察しておく。			2時間
3. Part 1 Cha	pter 2 ウィンザー	-テラス				
		囲を精読し、気付いた点などをま				2時間
		疑問点などについてさらに検討・ 	考察しておく。			2時間
	pter 3 ブラット』					0-1-00
				2時間		
		疑問点などについてさらに検討・	有祭し〔おく。			2時間
5. Part 1 Ch						
		囲を精読し、気付いた点などをま 				2時間
事後学修	授業を振り返り、	疑問点などについてさらに検討・	考察しておく。			2時間

Part 1 Chapter 5 エディという存在		
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など	どをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに根	食討・考察しておく 。	2時間
Part 1 Chapter 6 ポーシャとマチェット		L
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など	どをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに	食討・考察しておく。	2時間
Part 1 Chapter 7 ブラット少佐の訪問		
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など	<u>どをまとめる。</u>	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに根	 倹討・考察しておく。	2時間
Part 1 Chapter 8 イノセンス		L
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など	どをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらにた		2時間
D. Part 1 Chapter 9 日記		
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など	どをまとめる 。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに根	食討・考察しておく 。	2時間
. Part 2 "The Flesh" Chapter 1 シールのヘカムー	家	
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など	<u>ど</u> をまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに転	 倹討・考察しておく。	2時間
 2. Part 2 Chapter 2 もうひとつの家庭		
事前学修 プラクストの指定範囲を精読し、気付いた点なる		2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに标	食討・考察しておく。	2時間
 3. Part 2 Chapter 3 手紙とパーティー		
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など	<u>どをまとめる。</u>	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらにを		2時間
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点など		2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに		2時間
. レポート提出		
事前学修 ┃レポートを作成する。		4時間
事後学修講義内容、授業で使用した資料を整理しておく	7	1時間

試験等	
最終レポート	
試験のフィードバックの方法	
16週目にレポートの講評を行う。	
必携書(教科書販売)	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
心性事,至老妻(<u>教利妻服</u> 专以从)	
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名と著者と参考示出版社と研究とははは種別に供表	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
〈必携書>	
ND協計と The Death of the Heart (Vintage Classics)	
購入については教員より別途指示します	
<u></u>	
オフィスアワー	
質問等、随時メールや対面で受け付ける。	
連絡先	
建裕元 mkaya@m.ndsu.ac.jp	
iiiikayagiii. Hada. ad. jp	
rin attracts will	
留意事項	
辞書必携	

<u>英米文字特論II</u> 授業コード	B M2136 科目ナンバリング			2単位
担当者氏名	松井 かや		[2020年 支州 2 初]	
時間割備考				
授業形態(主)	1講義			
授業形態(副) 担当形態				
人間関係、何度 し、それらを踏	、20世紀の作家エリザベス・ボウエンの長編The lb	F品全体を考察する。さらに、この作品の 角		
到達目標			対応するディプロマポリシー	
	『的にきわりもちもにつける		(1知識・技能/2思考・判断・ 知識・技能/思考・判断・表現	
1 作品を抵	平的に読む視点を身につける。 		知識・技能/ 忠考・刊断・衣坑))
作品から 2	E目すべきテーマを抽出し、それについて自分の主	三張を論理的に展開できる。	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
難解で知	られるこの作家の作品の精読を通して、英語力を 増	曽強する。	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1 授業準備	20%		1/2/3	
2 授業での	原見発表 20%		1/2/3	
3 最終レポ	- ►60 %		1/2/3	
3				
4				
5 中海 (
美務経験のめる 実務経験の授業	数員による授業科目			
日本語以外の言 授業予定一覧		・事後学修内容と時間		
	the Heart 前半の振り返り	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
事前学修	テクストや資料を見返しておく。			1時間
事後学修	受業を振り返り、疑問点などについてさらに検討	・考察しておく。		1時間
2. Part 2 "The	Flesh" Chapter 5 裏切り			
事前学修	テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをお	まとめる。		2時間
事後学修	受業を振り返り、疑問点などについてさらに検討	・考察しておく。		2時間
3. Part 2 Cha	ter 6 アンナの肖像画			
事前学修	テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをお	まとめる。		2時間
事後学修	受業を振り返り、疑問点などについてさらに検討	・考察しておく。		2時間
	ter 7 エディの言葉			
	テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをす			2時間
	受業を振り返り、疑問点などについてさらに検討	・考察しておく。 		2時間
5. Part 2 Ch		+ 1. 14. 7		On+ 88
	テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などを			2時間
事後学修 ——————	受業を振り返り、疑問点などについてさらに検討	・考祭しておく。		2時間

Part 3 "The Devil" Chapter 1 ロンドンに戻る	
******	Ont BB
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
Part 3 Chapter 2 暴露	<u> </u>
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
Part 3 Chapter 3 ポーシャとリリアン	I
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
Part 3 Chapter 4 エディの部屋	
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
rt 3 Chapter 5 カラチホテル	I
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
. Part 3 Chapter 6 マチェットの到着	
事前学修 テクストの指定範囲を精読し、気付いた点などをまとめる。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
. 評論を読む1 Hermione Lee, "The Death of the Heart" 前半	
事前学修評論の指定範囲を精読する。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
. 評論を読む2 Hermione Lee, "The Death of the Heart" 後半	
事前学修評論の指定範囲を精読する。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
	I
事前学修 評論の指定範囲を精読する。	2時間
事後学修 授業を振り返り、疑問点などについてさらに検討・考察しておく。	2時間
. レポート提出	_
事前学修 レポートを作成する。	4時間
事後学修 講義内容、授業で使用した資料を整理しておく。	1時間

試験等
 Display D
3-156-0-7-4-11-5-11-6-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1
試験のフィードバックの方法 16週目にレポートの講評を行う。
10週日にレバートの講評を行う。
V # + /# (1 + F +)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈必携書〉
The Death of the Heart (Vintage Classics)
英米文学特論ⅢA(第1期)で使用するものと同じ。今期からの履修で新たに購入する場合は別途指示するので申し出ること。
批評については、プリントを配布する。
オフィスアワー
質問等、随時メールや対面で受け付ける。
連絡先
mkaya@m. ndsu. ac. jp
留意事項
辞書必携

<u> </u>	<u> </u>	M2141	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第1期	12年位
担当者氏		新野 緑					
時間割備を	———— 考						
授業形態		2 演習					
授業形態 担当形態		単独					
	(大学院)	英米文学					
	を深めてし	ハく方法を学ぶ 。				さらに文献を批判的に読んで、自身 用しつつ自身の考えを論理的に構成	
アクティ	ブラーニ:	ングの実施内容					
到達目標						対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	. 丰理力/2 主体性)
1.	イギリス	ス文学について着	虫自の視点で適切な課題を設定で	: : きる。		知識・技能/思考・判断・表現	
1							
2 2.	論文執筆	€に必要な様式 [√]	や、論理的な論文構築のための方	ī法を理解し、それを実践	きできる。	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3.	文学研究	究に関する様々ク	なアプローチの方法を理解してい	い る。		知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
4.	必要なら	た行研究を的確(に探し、それを批判的に評価でき	:る。		知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
5							
成績評価の	の基準					 対応する到達目標の番号	
		勺参加 20%				1/2/3/4	
2 口頭	頭発表 2	0%				1/2/3/4	
#B=	末レポー	<u></u> 60%				1/2/3/4	
3 ****	**************************************	00/0				17 27 07 4	
4							
5							
実務経験(のある教真 の授業への	員による授業科 の活用方法					
	U 0 ====	_ 1 7 17 14					
日本語以來 授業予定-		こよる授業		・事後学修内容と時間			
1. Introd	duction		1				
事前学	<u>-</u> 修	士論文で扱う作	品やテーマを考え、それに関する	る文献のリサーチを行って	ておく。		3 時間
±%#	5 Mg 150	* I					4 0+ 88
事後学 2. 卒業論			バックを参考にして、以後のリ † 	ナーナ計画を考える。 			1 時間
事前学		頭発表の準備					2 時間
事後学	整修 フ	ィードバックを	参考に、口頭発表のテクニックを	を理解すると同時に、修訂	倫のテーマの絞り込	みに活かす。	2 時間
3. 修士論	(主)	計画					
事前学	修修修	士論文の執筆計	画を作成する。				2 時間
事後学		筆計画の修正。					2 時間
		定とthesis ser					2.51.55
	事前学修教科書の該当箇所を予習する。			2時間			
事後学 5. 資料の		表を参考に自分 :考文献表の作成	の修論のテーマとthesis senten	ice 全作成する			2 時間
事前学			を読み、図書館でのリサーチを始				2時間
事後学	修 講	我の内容を参考	に、修論に関する資料のリサーヲ 	ナと参考又献表の作成を行	すう 。		2 時間

資料の活用とそのル	レール(注の付け方)	
事前学修 教科書	の該当部分を読み、不明点などを考える	2時間
事後学修講義の	内容を整理し、活用できるようにする。	2 時間
引用のルール		
事前学修 教科書	の該当部分を読み、不明点などを考える。	2時間
事後学修講義の	内容を整理し、論文作成に活用できるようにする。	2時間
参考文献の書き方		
事前学修教科書	の該当部分を読み、不明点などを考える。	2時間
事後学修講義の	内容を踏まえて、自身の論文の参考文献表の作成に活用する。	2 時間
アウトラインの作所	花方法	<u> </u>
事前学修教科書	の該当部分を読み、不明点などを考える。	2 時間
事後学修 講義の	内容を踏まえ、自身の論文のアウトラインを作成する。	2 時間
 0. 1980年以前の批評		
事前学修修論で	取り扱う作家や作品に関して、概説書を参考にしながら1980年以降の批評の流れを理解する。	2 時間
事後学修 講義の	内容を整理し、自身の修論作成に活用する。	2 時間
1. 1980年以後の批評		
事前学修修論で	扱う作家の作品について、概説書を参考に1980年以降の批評の動向を考える。	2 時間
事後学修講義の	内容を整理し、自身の修論作成に活用する。	2 時間
 2. 1980年以降の研究	論文の講読 (1)	
事前学修修論の	テーマと深く関わる研究論文を読み、その評価を行う。	2 時間
事後学修 授業で	取り上げた論文を自分の修士論文に批判的に取り入れる方法を考える。	2 時間
3. 1990年以降の研究	論文の講読(2)	
事前学修修論の	テーマと深く関わる研究論文を読み、その評価を行う。	2時間
事後学修 授業で	取り上げた論文を自分の修士論文に批判的に取り入れる方法を考える。	2 時間
4. 2000年以降の研究	論文の講読(3)	I
事前学修 修論の	テーマと深く関わる研究論文を読み、その評価を行う。	2 時間
事後学修 授業で	取り上げた論文を自分の修士論文に批判的に取り入れる方法を考える。	2 時間
	ライン作成	
事前学修 1期に	行った作業を参考に、最終的な修士論文のアウトラインを作成する	2 時間
事後学修 フィー	ドバックを参考に、アウトラインを完成させる	2 時間

試験等
第16週にレポートを提出する
試験のフィードバックの方法
manabaなどを通して、適宜フィードバックを行う。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈必携書〉『MLAハンドブック 第8版』The Modern Language Association 著 長尾和夫監訳 秀和システム 2017年 ISBN-10 9784798053202 (受講者は各自購入のこと) その他、批評理論についての必要文献と主要文献については受講生のテーマに則したものを選んで、適宜プリント等を配布する。 〈参考書〉MLA Handbook 9th Edition. Modern Language Association of America, 2021. ISBN-13 : 978-1603293518
オフィスアワー 随時。授業の前後やメール等で質問、相談があれば受け付ける。対面での相談を希望する場合は事前にメールで予約を取ってほしい。
連絡先 Triban miden i @n mdour on in
niino_midori@m.ndsu.ac.jp
留意事項
授業で学んだ論文執筆の手順を、的確に実践できる様に、自主的に研究を進めるとともに、疑問点や問題点が出てきたら、積極的に質問をして、早期に解決できるようにしてほしい。 修士論文で研究対象とするテキストの講読や解釈の準備を春休みから始め、余裕を持って作業を進めるように努力してほしい。

<u>英米文字演習B</u> 授業コード	M2146	科目ナンバリング	開講年度学	期 2025年1	 単位致 度第2期	2単位
担当者氏名	新野 緑	117 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		707.0 [2020 <u>+1</u>	<u> </u>	
時間割備考						
授業形態(主)	2 演習					
授業形態(副) 担当形態	 単独					
研究分野 (大学 本授業の概要	院) 英米文学					
I期に引き続き、 則って、論理的		びに、受講生が選んだ修士論文 築、展開する方法を身につけて	の作品やテーマについて、収集した 、修士論文を完成させる。	文献との対話を通し	、て独自の解釈を深め 。	、論文執筆のルールに
 到達目標					るディプロマポリシー	
	文学について独白の:	視点で適切な課題を設定できる			識・技能/2思考・判断 技能/思考・判断・表	
1	大手に 50. C独自の	沈黒て週りな味趣を改定てきる	20	An and	文化/心为"刊剧"及	死刀/王座任
論文執筆(2	に必要な様式や、論:	理的な論文構築のための方法を	理解し、それを実践できる。	知識・:	技能/思考・判断・表	現力
必要な先	行研究を批判的に評	価して、独自の解釈を効果的に	提示できる。	知識・	技能/思考・判断・表	現力/主体性
自身の解?	釈を論理的、説得的	に構築し、英文でまとめること	ができる。	知識・	技能/思考・判断・表	現力/主体性
5						
成績評価の基準					る到達目標の番号	
1 対果の傾	極的参加 30%			1/2/3	3/4	
2 口頭発表	20%			1/2/3	3/4	
3 期末レポー	— ト 50%			1/2/3	3/4	
4						
5						
実務経験のある	教員による授業科目					
実務経験の授業	への活用方法					
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業	事前	・事後学修内容と時間			
	enceとアウトライン		予 放子 19 円 1 日 こ 円 日			
事前学修	夏休み中に修士論文	の具体的な内容を定めて、アワ	ウトラインとthesis sentence を作り	成できるようにする) ₀	3 時間
事後学修	授業でのフィードバ	バックを参考にアウトラインやt	hesis sentenceを修正する。			2 時間
2. 参考文献リス						
事前学修	アウトラインに基づ	いて、参考文献リストを精査、	作成する。			2時間
	授業でのフィードバ	「ックをもとに、必要な参考文献	状を加える。			2 時間
3. 中間発表						
事前学修	修士論文の内容を口	頭で発表する。				2 時間
		ぶっクを参考に、構想を修正し、	執筆に備える。			2時間
4. 論文執筆: I						
	修士論文のIntroduc		t * = 7			3時間
		参考に、自分なりの修正方法を	5 ን ሊ ህ 。			2 時間
5. フィードバッ	•	4.10				
	修正版のIntroducti	onを執筆する。 				2時間
事後学修	フィードバックを受	けてIntroductionを完成させる	5.			2 時間

論文執筆 Chapter I	
事前学修 Introductionに続くChapter Iを執筆する。	3 時間
事後学修授業でのフィードバックを受けて、修正案を考える。	2 時間
フィードバック	
事前学修 修正版のChapter Iを執筆する。	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、修正版のChapter Iを完成させる。	2 時間
論文執筆 Chapter II	
事前学修 Chapter IIを執筆する。	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、修正案を考える。	2 時間
フィードバック	L
事前学修 修正版のChapter IIを執筆する。	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、修正版のChapter IIを完成させる。	2 時間
I . 論文執筆 Chapter III	
事前学修 論文のChapter IIIを執筆する。	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、Chapter III の修正案を考える。	2 時間
事前学修 Chapter IIIの修正版を執筆する。	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、Chapter IIIの修正案を完成させる。	2 時間
. 論文執筆:Conclusion	
事前学修 論文のConclusionを執筆する	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、Conclusionの修正案を考える。	2 時間
事前学修 Conclusionの修正案を執筆する。	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、修正案を考える。	2 時間
事前学修 論文全体を通して、見直しと推敲を行う。	3 時間
事後学修 授業でのフィードバックを受けて、論文を完成させる。	3 時間
事前学修完成論文に関する発表を行い、自己評価を行う。	2 時間
事後学修 授業でのフィードバックをもとに、更なる修正を加える。	2 時間

試験等
第16週に期末レポートを提出する
試験のフィードバックの方法
manabaなどを通して、適宜フィードバックを行う。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈必携書〉『MLAハンドブック第8版』The Modern Language Association著、長尾和夫監修、秀和システム、2017年。ISBN-978-4798053202 (受講者は各自購入のこと。ただし「英米文学演習A」の受講者は同じテキストなので新たに購入する必要はない) その他、主要文献については受講生の選んだテーマに則したものを選び、プリント等を配布する 〈参考書〉MLA Handbook 9th Edition. Modern Language Association of America, 2021. ISBN-13 : 978-1603293518
オフィスアワー
随時。授業の前後やメール等で質問、相談を受け付ける。対面での相談を希望する場合は、事前にメールで予約してほしい。
連絡先
niino_midori@m.ndsu.ac.jp
留意事項
1期の「英米文学演習A」の授業を受講していること。 授業で学んだ論文執筆の手順を、的確に実践できる様に、自主的に研究を進めるとともに、疑問点や問題点が出てきたら、積極的に質問をして、早期に解決できるようにしてほしい。 研究対象のテキストの読解や解釈、執筆を余裕を持って十分に行うこと。

<u>英米文</u> 授業コ	<u>:字特論VA</u> ード	M2221	 科目ナンバリング			.单位
担当者		里内 克巳	111111111111111111111111111111111111111	[100er + 100 7 70]	15050+1XX + W	
時間割	備考	対面とオンライ	ン併用			
	態(主)	1講義				
授業形 担当形	態(副)	単独				
研究分	·野(大学Ⅰ ・ の概要					
て、中	期の代表	乍である短めの長編	i_Summer_(1917) を精読しながら	:よる小説作品への理解を深める演習を行なう。 受講者と議論を行なっていく。	。具体的にはEdith Wharton(1862	-1937) に焦点を当
		ニングの実施内容	発見学習		 対応するディプロマポリシー	
到達目	標				(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1	特に20世紀	己前半に重点を置い	て、アメリカ文学・文化の時代	:ごとの特徴について説明できる。	知識・技能/主体性	
	出版され <i>1</i> 明できる。		を踏まえ、ジェンダーや階級な	どの観点から作品のテーマや読みどころを説	思考・判断・表現力/主体性	
		いれた文学作品を正 说明できる。	[確に読解し、文体の特徴・叙述	の進め方・レトリック上の工夫などについて	思考・判断・表現カ/主体性	
4						
5						
	価の基準 平常点(8	00/)			対応する到達目標の番号 1/2/3	
			の参加・取り組みの仕方を総合	したものである。	1/2/3	
2	学期末レア	ポート (20%)			1/2/3	
3						
4						
5 実務経	験のある	枚員による授業科目				
		への活用方法				
	·以外の言語 ·定一覧	語による授業 ニュー		・事後学修内容と時間		
第 1	回 イン	トロダクション	1			
事前	前学修	シラバスをよく読み	み、授業に備える。			0.5時間
事後	後学修	授業での説明を再码	寉認し、疑問などがあればメー ル	レで問い合わせる。		0.5時間
		n Wharton_Summer_d			<u>'</u>	
		や表現のレベルでの	D疑問点や興味深いと考えた点に	ンベルで分からなかった箇所について質問でき こついてメモを取り、発言できるよう準備する		3~4時間
		授業で字んたことを n Wharton_Summer_c		ιばメールで尋ねるなどして確認。 		0. 5時間
	前学修	指定された章をあり	らかじめきちんと読み、英語のL			3~4時間
事後				こついてメモを取り、発言できるよう準備する nばメールで尋ねるなどして確認。	•	0.5時間
第 4	回 Edith	n Wharton_Summer_d	ch. 4, 5			
		や表現のレベルでの	D疑問点や興味深いと考えた点に	ノベルで分からなかった箇所について質問でき こついてメモを取り、発言できるよう準備する		3~4時間
				ればメールで尋ねるなどして確認。		0.5時間
		n Wharton_Summer_d 場定された音をある		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	スト う にしておく 士ゎ 恤勁	3~4時間
		や表現のレベルでの	D疑問点や興味深いと考えた点に	ンベルでがからなかった歯所について負向でき こついてメモを取り、発言できるよう準備する ればメールで尋ねるなどして確認。		3 ~ 4 時间 0. 5時間
7- 6			The second secon	J. L. C. L. P. Stranger		****

事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語	3~4時間
争刖子修	特定された単をあらかしめさらんと読み、英語のレベルでがからなかった園所について負向できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時间
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
7回 Edit	th Wharton_Summer_ch. 8	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
8 🛭 Edit	th Wharton_Summer_ch. 9	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
9 回 Edi	th Wharton_Summer_ch. 10, 11	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
10 回 Edi	th Wharton_Summer_ch.12	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
11 回 Edit	th Wharton_Summer_ch. 13, 14	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
12 回 Edi	th Wharton_Summer_ch. 15	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
13 回 Edi	th Wharton_Summer_ch.16	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
14 回 Edit	th Wharton_Summer_ch. 17, 18	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
15 回 振り	返り(講義)	
事前学修	読み終えた作品全体を眺め直し、英語のレベルや物語や表現のレベルでなお出てきた疑問やアイデアなどについてメモを取り、 発言できるよう準備する。	2時間
事後学修	は課題レポートの指示を確認し、準備を進める。	1 時間

試験等
期末試験の代わりにレポートを課する。授業が半分まで進んだ6月に詳細を通知するが、授業での学びを振り返ると共に、自身で調べ考察したことを盛り込むような
エッセイ・ライディング(日本語ないしは英語)の課題となる予定である。
The state of the s
試験のフィードバックの方法
レポートを添削後、講評と共にメールで返却する。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自相位/自信/元元元山版位/ 画位/ 1000/ 殊怀住州 開行
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
(必携書) 購入の必要はありません。
Edith Wharton, _Summer_(Oxford World's Classics) ISBN-13: 978-0-19-870998-5
Edition what con, _common_(oxford world or dassion) Tobal for oxford of oxford of oxford or oxford world or oxford or oxford oxf
(全央事)
(参考書) (
イーディス・ウォートン(作)、山口ヨシ子、石井幸子(訳)、『夏』(彩流社、2022年)
<u> </u>
オフィスアワー
授業の終了後、またはメールで質問を受け付ける。
連絡先
satwain09@wombat.zaq.ne.jp
satouchi-k. hmt@osaka-u. ac. jp
Saturation N. Hilliegosaka u. av. jp
留意事項
田心子久

<u>英米文字特</u> 授業コード		M2226 科目ナンバリング 開	講年度学期	単位致 2025年度第2期	2単位
担当者氏名		里内 克巳		- 100 - 0	
時間割備考		対面とオンライン併用			
授業形態(授業形態(1 講義			
担当形態		 単独			
研究分野(本授業の概					
この授業で 1937)に焦点 Fever"(193	は、20 点を当て 84) へと	世紀初期の時代を中心に、アメリカの女性作家による小説作品への理解を深、知名度の高い中編_Ethan Frome_(1911)を精読しながら受講者と議論を行 読み進んでいく。 が必要施内容 発見学習			
	<i>y</i> =	アンマスルピア3日 元元丁日		対応するディプロマポリシー	
到達目標				(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1		前半に重点を置いて、アメリカ文学・文化の時代ごとの特徴について説明で		知識・技能/主体性	
出版 2 明で		時期の時代的背景を踏まえ、ジェンダーや階級などの観点から作品のテーマ	や読みどころを説	思考・判断・表現力/主体性	
		れた文学作品を正確に読解し、文体の特徴・叙述の進め方・レトリック上の 明できる。	工夫などについて	思考・判断・表現力/主体性	
4					
5					
成績評価の				対応する到達目標の番号	
	点(80)点とは、	。) .発表など授業への参加・取り組みの仕方を総合したものである。		1/2/3	
		- ト (20%)		1/2/3	
3					
4					
5 実務経験の	ある教	員による授業科目			
		の活用方法			
日本語以外 授業予定一		による授業 事前・事後学修内容と時間			
		ロダクション 野り・争後子修内谷と時間 ロダクション			
事前学修		ラバスをよく読み、授業に備える。			0.5時間
事後学修		業での説明を再確認し、疑問などがあればメールで問い合わせる。 Wharton_Ethan Frome_Preface			0.5時間
事と回		wnarton_Etnan Frome_Pretace これた章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所	所について質問でき	るよ う にしておく。また、物語 「	3~4時間
事後学修	や	表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言で 業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして	できるよう準備する		0. 5時間
第 3 回	Edith V	Wharton_Ethan Frome_ch.1			
事前学修		定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所 表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言で			3~4時間
事後学修		業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして	て確認。		0.5時間
		Wharton_Ethan Frome_ch. 2, 3		7 21-1 - 1 41-2-	0 45+85
事前学修工	や	定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所 表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言で 業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして	できるよう準備する		3~4時間
		Wharton_Ethan Frome_ch. 4	~ n ∞ μιω 0		о. оку [р]
事前学修	多 指		折について質問でき	るようにしておく。また、物語 ┃	3~4時間
事後学修	や	表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言で 業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして	できるよう準備する		0. 5時間

6 🛭 Edi	th Wharton_Ethan Frome_ch. 5, 6	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
7 回 Edi	th Wharton_Ethan Frome_ch.7	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
8 🛭 Edi	th Wharton_Ethan Frome_ch.8	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
9 回 Edi	th Wharton_Ethan Frome_ch.9(1)	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
10 回 Edi	th Wharton_Ethan Frome_ch.9(2)	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
11 回 Edi	th Wharton_Ethan Frome_Conclusion	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
12 回 _Et	han Frome_振り返り(批評に触れる)	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
13 回 Edi	th Wharton, "Roman Fever" (1)	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
14回 Edi	th Wharton, "Roman Fever" (2)	
事前学修	指定された章をあらかじめきちんと読み、英語のレベルで分からなかった箇所について質問できるようにしておく。また、物語 や表現のレベルでの疑問点や興味深いと考えた点についてメモを取り、発言できるよう準備する。	3~4時間
事後学修	授業で学んだことを振り返って整理し、疑問が出ればメールで尋ねるなどして確認。	0.5時間
15 回 振り	J返り(講義)	
事前学修	読み終えた作品全体を眺め直し、英語のレベルや物語や表現のレベルでなお出てきた疑問やアイデアなどについてメモを取り、 発言できるよう準備する。	2時間
事後学修	課題レポートの指示を確認し、準備を進める。	1 時間

試験等
期末試験の代わりにレポートを課する。授業が半分まで進んだあたりで詳細を通知するが、授業での学びを振り返ると共に、自身で調べ考察したことを盛り込むよう
なエッセイ・ライディング(日本語ないしは英語)の課題となる予定である。
はエッセイ・ブイブイング(日本語ないしは英語)の課題とは句子定じめる。
試験のフィードバックの方法
レポートを添削後、講評と共にメールで返却する。
レバートを添削仮、調評と共にメールで返却する。
必携書(教科書販売)
少货青(软件青规元)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
()
(必携書) 購入の必要はありません。
Edith Wharton, _Ethan Frome_(Penguin English Library) ISBN-13: 978-0-141-38940-0
【(参考書)
イーディス・ウォートン(作)、宮澤優樹(訳)、『イーサン・フロム』(白水社、2024年)
オフィスアワー
授業の終了後、またはメールで質問を受け付ける。
連絡先
satwainO9@wombat.zaq.ne.jp
Satural Hospitalista, Zady, Ho. Jp
satouchi-k.hmt@osaka-u.ac.jp
留意事項
田心中快
1

<u>英米文字特論</u> 授業コード	IA M2231			2単位
担当者氏名	David Ramsey	」	1	
時間割備考				
授業形態(主 授業形態(副	1 講義			
担当形態	単独			
研究分野(大 本授業の概要	学院) 英米文学			
This class purchase closely reac approaches for comprehensive	ovides an introduction to the study of traditic Riding Hood," "Cinderella," and "Snow White, the tales, and we will consider the tales' sou om the fields of psychology and gender studies. and enjoyable cultural frame.	" and we will learn about their paralle proces, some modern revisions, as well as Art, film, and music will also be stud	ls in other tales from around relevant scholarship and criti	the world. We will cism-including
アクティブラ	-ニングの実施内容 グループ・ディスカッシ	ョン	 	
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能 ∕ 2 思考・判断・	表現力/3主体性)
	s will be able to recognize and explain in Engl nt cultural archetypes found in them.	ish the folktales and fairy tales, and	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
	s will be able to recognize and apply in Englis the cultural and ideological significance of th		知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
	s will be able to recognize and explain in Engl film, and later literary treatments.	ish depictions of these tales in art,	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
4				
5				
成績評価の基 Active	<u>≢</u> class participation (30%)		対応する到達目標の番号 1/2	
'				
2 Weekly	oresentations and/or reports (40%)		1/2	
3 Final	5-page essay (30%)		1/2	
4				
5 D 35 45 FA O +	7 44. 🖂 1 7. 157 44 7. 157			
_{美務経験のあ} 実務経験の授	る教員による授業科目			
日本語以外の 授業予定一覧	請語による授業 All i事前	nstruction and materials are in English. ・事後学修内容と時間		
	on: folktales, fairy tales, and archetypes			
事前学修	Reading and writing Assignment 1			2 hours reading and writing
事後学修	Folk tales, Fairy Tales, archetypes			2 hours reading and writing
-	s and critical approaches (psychology, gender,	etc.)		
事前学修	Reading and writing Assignment 2			2 hours reading and writing
事後学修 3. Hansel ar	Approaches, psychology, gender Gretel: sources, close reading and analysis			2 hours reading and writing
事前学修	Reading and writing Assignment 3			2 hours reading and
事後学修	Hansel and Gretel sources			writing 2 hours reading and
4. Hansel ar	Gretel: modern revisions; art, music, and film	1		writing
事前学修	Reading and writing Assignment 4			2 hours reading and writing
事後学修	Hansel and Gretel modern revisions			2 hours reading and writing
5. Hansel ar	Gretel: scholarship and criticism			-
事前学修	Reading and writing Assignment 5			2 hours reading and writing
事後学修	Hansel and Gretel scholarship			2 hours reading and writing

6. Little Red	Riding Hood: sources, close reading and analysis	
事前学修	Reading and writing Assignment 6	2 hours reading and writing
事後学修	Little Red Riding Hood sources	2 hours reading and writing
7. Little Red	Riding Hood: modern revisions; art, music, and film	•
事前学修	Reading and writing Assignment 7	2 hours reading and writing
事後学修	Little Red Riding Hood modern revisions	2 hours reading and writing
8. Little Red	Riding Hood: scholarship and criticism	•
事前学修	Reading and writing Assignment 8	2 hours reading and writing
事後学修	Little Red Riding Hood scholarship	2 hours reading and writing
9. Cinderella	sources, close reading and analysis	<u> </u>
事前学修	Reading and writing Assignment 9	2 hours reading and writing
事後学修	Cinderella sources	2 hours reading and writing
10. Cinderella	modern revisions: art, music, and film	<u> </u>
事前学修	Reading and writing Assignment 10	2 hours reading and writing
事後学修	Cinderella modern revisions	2 hours reading and writing
11. Cinderella	: scholarship and criticism	-
事前学修	Reading and writing Assignment 11	2 hours reading and writing
事後学修	Cinderella scholarship	2 hours reading and writing
12. Snow White	sources, close reading and analysis	·
事前学修	Reading and writing Assignment 12	2 hours reading and writing
事後学修	Snow White sources	2 hours reading and writing
13. Snow White	modern revisions: art, music, and film	<u> </u>
事前学修	Reading and writing Assignment 13	2 hours reading and writing
事後学修	Snow White modern revisions	2 hours reading and writing
14. Snow White	scholarship and criticism; review of primary and secondary texts	<u> </u>
事前学修	Reading and writing Assignment 14	2 hours reading and writing
事後学修	Snow White scholarship	2 hours reading and writing
15. Final Pre	entations/Projects	I
事前学修	Final Presentations/Projects preparation	2 hours reading and writing
事後学修	Final project preparation	2 hours reading and writing
	I.	

試験等
Final 15-page essay due in week 15.
試験のフィードバックの方法
Students will receive feedback during class for weekly reports, presentations. Students will receive feedback on final essay in office consultation.
Students will receive leedback during class for weekly reports, presentations. Students will receive leedback on linar essay in office consultation.
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
Maria Tatar, The Classic Fairy Tales (2nd ed.). Norton, ISBN 9780393602975
オフィスアワー
By appointment
連絡先
ramsey@m. ndsu. ac. jp
留意事項
Lectures, discussions, presentations, and assignments will all be in English. Students should be actively engaged during lectures and presentations
by taking notes. Class activities depend upon students being prepared, so students need to do their reading and prepare their homework ahead of class
. If absent, students are responsible to find out what assignments are due.

<u>英米文字特論 l</u> 授業コード	<u>B</u> M2236	開講年度学期	単位致 2025年度第2期	2単位
担当者氏名	David Ramsey		L-VLV 下 X 和 C 初	
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副)	1 講義			
担当形態	単独			
研究分野(大学 本授業の概要	院) 【英米文学			
This class pr "Sleeping Be the tales, an the fields of enjoyable cul		learn about their parallels in other ta odern revisions, as well as relevant scho d music will also be studied to situate t	les from around the world. larship and criticism-includ	We will closely read ling approaches from
アクティブラー	ニングの実施内容 グループ・ディスカッシ	ョン	「対応するディプロマギリシ	
到達目標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	f・表現力/3主体性)
1 importa	will be able to recognize and explain in Engl t cultural archetypes found in them.		知識・技能/思考・判断・表	現力/主体性
2 reveal	will be able to recognize and apply in Englis ne cultural and ideological significance of th	ese tales.	知識・技能/思考・判断・表	
	will be able to recognize and explain in Engl ilm, and later literary treatments.	ish depictions of these tales in art,	知識・技能/思考・判断・表	現力/主体性
4				
5				
成績評価の基準	lass participation (30%)		対応する到達目標の番号	
1			1/2	
2 Weekly	resentations and reports (40%)		1/2	
3 Final 1	-page essay (30%)		1/2	
4				
5				
実務経験のある	教員による授業科目		1	
実務経験の授業	への活用力法			
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業 Alli	nstruction and materials are in English. ・事後学修内容と時間		
	事即 n: review of folktales, fairy tales, and arche			
事前学修	Reading and writing Assignment 1			2 hours reading and writing
事後学修	Folktales, fairy tales, archetypes			2 hours reading and writing
	the Beast: sources			
事前学修	Reading and writing Assignment 2			2 hours reading and writing 2 hours reading and
事後学修 3. Beauty and	Beauty and the Beast sources the Beast: close reading and analysis			2 nours reading and writing
事前学修	Reading and writing Assignment 3			2 hours reading and
事削子修	Beauty and the Beast close reading			writing 2 hours reading and 2 hours reading and
	the Beast: modern revisions; art, music, and f	- ilm		writing
事前学修	Reading and writing Assignment 4			2 hours reading and writing
事後学修	Beauty and the Beast modern revisions			2 hours reading and writing
5. Beauty and	the Beast: scholarship and criticism			
事前学修	Reading and writing Assignment 5			2 hours reading and writing
事後学修	Beauty and the Beast scholarship			2 hours reading and writing
				

eauty: sources	
Reading and writing Assignment 6	2 hours reading and writing
Sleeping Beauty sources	2 hours reading and writing
leauty: close reading and analysis	
Reading and writing Assignment 7	2 hours reading and writing
Sleeping Beauty close reading	2 hours reading and writing
eauty: modern revisions; art, music, and film	-
Reading and writing Assignment 8	2 hours reading and writing
Sleeping Beauty modern revisions	2 hours reading and writing
leauty: scholarship and criticism	<u> </u>
Reading and writing Assignment 9	2 hours reading and writing
Sleeping Beauty scholarship	2 hours reading and writing
e Mermaid: sources	1
Reading and writing Assignment 10	2 hours reading and writing
Little Mermaid sources	2 hours reading and writing
e Mermaid: close reading and analysis	
Reading and writing Assignment 11	2 hours reading and writing
Little Mermaid close reading	2 hours reading and writing
e Mermaid: modern revisions: art, music, and film	1 -
Reading and writing Assignment 12	2 hours reading and writing
Little Mermaid modern revisions	2 hours reading and writing
e Mermaid: scholarship and criticism	
Reading and writing Assignment 13	2 hours reading and writing
Little Mermaid scholarship	2 hours reading and writing
primary and secondary texts	
Reading and writing Assignment 14	2 hours reading and writing
Review of primary and secondary texts	2 hours reading and writing
sentations/Projects	
Final Presentations/Projects preparation	2 hours reading and writing
Final presentation preparation	2 hours reading and
	Sleeping Beauty sources Beauty: close reading and analysis Reading and writing Assignment 7 Sleeping Beauty close reading Beauty: modern revisions: art, music, and film Reading and writing Assignment 8 Sleeping Beauty modern revisions Beauty: scholarship and criticism Reading and writing Assignment 9 Sleeping Beauty scholarship e Mermaid: sources Reading and writing Assignment 10 Little Mermaid sources e Mermaid: close reading and analysis Reading and writing Assignment 11 Little Mermaid close reading e Mermaid: modern revisions: art, music, and film Reading and writing Assignment 12 Little Mermaid modern revisions e Mermaid: scholarship and criticism Reading and writing Assignment 13 Little Mermaid scholarship and criticism Reading and writing Assignment 13 Little Mermaid scholarship **Primary and secondary texts Reading and writing Assignment 14 Review of primary and secondary texts Final Presentations/Projects preparation

試験等
Final 15-page essay due in week 15.
試験のフィードバックの方法
Students will receive feedback during class for weekly reports, presentations. Students will receive feedback on final essay in office consultation.
Students with receive recupack during crass for weeking reports, presentations. Students with receive recupack on thial essay in office consultation.
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
Maria Tatar, The Classic Fairy Tales (2nd ed.). Norton, ISBN 9780393602975
オフィスアワー
By appointment
у арротишент
連絡先
ramsey@m. ndsu. ac. jp
留意事項
Lectures, discussions, presentations, and assignments will all be in English. Students should be actively engaged during lectures and presentations
by taking notes. Class activities depend upon students being prepared, so students need to do their reading and prepare their homework ahead of class
. If absent, students are responsible to find out what assignments are due.

英語学	言語学特					単位数	2単位
授業= 担当者		M2320 坂口 真理	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第1期	
時間害	削備考						
授業形	彡態(主)	1講義					
授業形 担当形	彩態 (副)	2 演習 単独					
研究分]野(大学	 早 四 院) <mark> 英語学言語</mark> 学	<u>5</u>				
	美の概要	は終し鉄語絵の事件	i域に関係する数量詞(qua	w+ifior\ た言語用色し	ナ 払こ		
まず、 文献を	数量詞に を読み、そ	関わる基本的な言語	現象について述べ、意味記 よる生成文法理論の枠組み	倫の分野に属する一般化	数量詞理論(generalized		てのKeenanの初歩的な英語の 表も行う。余裕があれば、英
アクラ	ティブラー	ニングの実施内容	グループ・ディスカ	コッション			
到達目] 標					対応するディプロマポリ	
		の論文の内容を理解	し、批判的に読めるように	こなる。		【1 知識・技能/2 思考 知識・技能/思考・判断	・判断・表現力/3主体性) ・表現力
1	Хин	, min > () 1 C ± //+		- 3. 3.		7,10, 70, 13, 13, 13, 13, 13, 13, 13, 13, 13, 13	2,5073
2	2. 英語(の数量詞の分析方法	について、問題意識を持て	てるようになる 。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
3							
4							
5							
	呼価の基準 増業中の	発表 (30%)				対応する到達目標の番号 1/2	•
1						1/ 2	
2	レポート	果題 (70%)				1/2	
3							
4							
5							
		<mark>教員による授業科目</mark> への活用方法					
		語による授業		英語			
	ラ定一覧 ntroductio	on −なぜ数量詞研究		事前・事後学修内容と	寺間		
	iici oddoci (の なこ 奴皇的切り	,16 03 0 0 90 70				
事]	前学修	配布資料や論文を認	もみ質問やコメントができ [、]	るように予習してくださ	· · ·		少なくとも2時間
事	後学修	英語や日本語の数量	量詞には、どのようなもの	があるか、なぜ数量詞砥	ff究はおもしろいのかを理	里解する。	少なくとも2時間
2. K	eenanの論:	文の精読					<u>.</u>
事	前学修	Keenanの論文を読ん	いで、一般化数量詞とは何:	かを考える。			少なくとも2時間
事	後学修	一般化数量詞の英語	吾の具体例を考える。				少なくとも2時間
3	-般化数量	詞理論一集合として	考え方				<u>'</u>
事	前学修	一般化数量詞の意味	k理論では、述語は特性の:	集合だと考える。			少なくとも2時間
事	後学修	集合を使って、さま	ぎざまな数量詞の意味を考	えていく。			少なくとも2時間
4. 全	≧称数量詞	と存在数量詞の論理	的意味				•
事]	前学修	論理学では、全称数	対量詞と存在数量詞はどの	ように表せるかを考える	0.		少なくとも2時間
事	後学修	具体例としてのall	, each, everyなどの言語	語表現は、論理的意味で	正確に表せるかどうか考	えてみる。	少なくとも2時間
5. ð	きまざまな	数量詞の意味					•
事	前学修	Keenanの論文に出て	てくる数量詞を論理的に分	析してみる。			少なくとも2時間
事	後学修	一般化数量詞はどの)ような性質を持つかを考	える。			少なくとも2時間

6. most とmo	re than half—monotone-increasing quantifiers	
事前学修	most とmore than halfなどの数量詞はmonotone-increasing quantifiers (単調増加的数量詞) と呼ばれる。	少なくとも2時間
事後学修	monotone-increasingの数量詞は、どのような性質をもつか考える。	少なくとも2時間
7. no とfe	w downward decreasing quantifiers	
事前学修	no とfew などは、downward decreasing quantifiers (下降減少的数量詞)と呼ばれる。	少なくとも2時間
事後学修	downward decreasing quantifiers はどのような性質を持つか考える。	少なくとも2時間
8. まとめ		
事前学修	Keenanの一般化数量詞についての論文のまとめをする。	少なくとも2時間
事後学修	Keenanの論文の長所と短所を挙げてもらう。	少なくとも2時間
9. Reinhart(2007)の精読一生成文法の考え方 Optimal Design	
事前学修	Reinhart(2007) は、生成文法の考え方を採用し、 言語のOptimal Designについて考えている。	少なくとも2時間
事後学修	生成文法の考え方を復習する。	少なくとも2時間
10. Reference	-Set Computation	
事前学修	Reference-Set Computationについて学習する。	少なくとも2時間
事後学修	Reference-Set Computationについて疑問点があれば、質問できるようにする。	少なくとも2時間
11. Quantifie	r Scope	
事前学修	ReinhartのQuantifier Scope (数量詞の作用域) についての考え方を理解する。	少なくとも2時間
事後学修	Quantifier Scope現象については、どのような問題があると考えられるか。	少なくとも2時間
2. The Optim	istic QR view of the 1970s	
事前学修	1970年代には、すべての数量詞がQuantifier Raising (数量詞の繰り上げ)という操作で分析できると考えられていた。	少なくとも2時間
事後学修	QRの問題点について、考えてみよう。	少なくとも2時間
13. The Synta	 ctic Freedom with Existential Wide Scope	
事前学修	存在数量詞が広い作用域を取るときに、統語的な制限はないように思われる。	少なくとも2時間
事後学修	存在数量詞が広い作用域を取るようなさまざまな例を考える。	少なくとも2時間
4. The "Real	istic " QR View of the 1990s	
事前学修	1990年代の「現実的な」QRの考え方を紹介する。	少なくとも2時間
事後学修	「現実的な」QRの問題点について考えてみよう。	少なくとも2時間
15. 日本語との	 D比較対照とまとめ	
事前学修	日本語にも、QRのような規則は必要なのだろうか。	少なくとも2時間
事後学修	レポート課題についての質問やアイデアを受け付ける。 さらに、質問がある場合、メールでの質問を受け付けます。	少なくとも2時間
	1	

試験等
期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
レポートにコメントをして返却する。
业 必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自相心,有名人无无无比如似在人间的人,然外往初一朋友
なし
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業で読む文献は、すべて教員が用意する。
1) Keenan, Edward L. (1996) "Semantics of English Quantifiers"
2) Reinhart, Tanya (2006) Interface Strategies: Optimal and Costly Computations
その他レポートを書くために、必要な文献がありましたら、紹介しますので、相談してください。
ト オフィスアワー
オフィスアソー 授業中質問するか、manaba もしくは、emailで質問してください。
tx未中負向するが、ilialiana もしくは、filiali C負向してください。
i 連絡先
度報告 maris@m. ndsu. ac. jp
iliai i seili. Ilusu. av. jp
留意事項
履修希望する学生は、登録前に担当教員と面談すること。
本授業を履修する学生は、十分予習をすること。

<u>英語字言語字特</u> 授業コード	論 I I B M2325	科目ナンバリング	1	開講年度学期		2単位
担当者氏名	坂口 真理	[14 LJ 2				
時間割備考						
授業形態(主)	1講義					
授業形態(副) 担当形態	 単独					
<u>行 3 化</u> 研究分野(大学 本授業の概要		2				
ていく。余裕が		のReinhartの文献をさらに読み 計詞と他言語(特に日本語)の が がループ・ディスカッ	数量詞との比較を行う。	fが各受講者の研究 7	テーマとどのような関わりを打	寺つかについて、議論を深め
到達目標					対応するディプロマポリ	
	の設立の中容を理解		7			判断・表現力/3主体性)
1 天部	刀冊又の内谷を 垤序	記し、批判的に読めるようになる	ত .		知識・技能/思考・判断	・衣切刀/土体性
2. 英語	の数量詞の分析方法	について、問題意識を持てる。	ようになる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
3. 研究	の対象となる資料を	・収集し、文献で学んだ理論を何	使って分析ができるようロ	こなる。	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
4						
5						
成績評価の基準	≈ ± /20%\				対応する到達目標の番号	
1 授業中の	発表(30%)				1/2/3	
2 レポート	課題 (70%)				1/2/3	
3						
4						
5						
実務経験のある 実務経験の授業	教員による授業科目					
日本語以外の言 授業予定一覧 1.1 期の課題		事前)受講者による中間発表	前・事後学修内容と時間			
事前学修	1期の課題レポート	について、ハンドアウトを作り	り、他の人にもわかりやす	ナく発表する。		少なくとも2時間
事後学修	他の受講者の発表	を批判的にきき、質問やコメン 分の課題の参考になったところ	/トができるようにする。			少なくとも2時間
2. Reinhart(2	007) The Alternat	ive of Wide Scope In Situ				
事前学修	QRをしない数量詞 ⁻	で広い作用域を持つものに関し	,て代案を考える。			少なくとも2時間
事後学修	この代案の妥当性に	こついて考える。				少なくとも2時間
3. Wh-In-Situ						
事前学修	英語の移動しない。	h-要素について考える。				少なくとも2時間
事後学修	wh-in-situの例文を	を集め、その特徴について考え	.る。			少なくとも2時間
4. Sluicing						
事前学修	Reinhart のSluic	ing の分析について考える。				少なくとも2時間
事後学修	英語のSluicingの(別文を集め、分析を考える。				少なくとも2時間
5. The Interp	retation Problem	of Wide Scope In Situ				1
事前学修	広い作用域を取る、	移動しない要素の解釈上の問	問題を考える。			少なくとも2時間
事後学修	Reinhartの分析の「	問題点を考える。				少なくとも2時間
·						

6. Existenti	al Wide Scope	
事前学修	存在表現が広い作用域を持つ場合を考える。	少なくとも2時間
事後学修	存在表現が広い作用域を持つ英語の例文を集め、その特徴を考える。	少なくとも2時間
7. The Semar	ntic Problem with Island-Free QR	I
事前学修	QRをしたときに島の条件に従わない場合の意味論上の問題点を考える。	少なくとも2時間
事後学修	Reinhart の説明を理解する。	少なくとも2時間
8. An Interm	lediate Summary まとめ	
事前学修	ここまでの議論のまとめをする。	少なくとも2時間
事後学修	議論がわかりにくい場合は質問をする。	少なくとも2時間
9. Where No	QR Is Needed: Choice Functions for Existential Quantifiers	
事前学修	QRが必要ない場合、存在数量詞のために選択関数(choice function) を使う。	少なくとも2時間
事後学修	選択関数について理解を深める。	少なくとも2時間
10. Choice Fι	unctions and Existential Closure	
事前学修	選択関数とExistential closureについて考える。	少なくとも2時間
事後学修	Existential closureの問題点について考える。	少なくとも2時間
11. Deriving	the Choice-Function Interpretation	
事前学修	選択関数の解釈が必要になる場合について考える。	少なくとも2時間
事後学修	Reinhart の著書で述べている以外にも選択関数を派生できる場合があるか考える。	少なくとも2時間
12. The Colle	ective-Distributive Distinction	
事前学修	数量詞の集団的解釈(collective reading)と分配的解釈(distributive reading)について学ぶ。	少なくとも2時間
事後学修	英語の2種類の解釈の例の他に、日本語でもこの2種類の解釈があるかどうか考える。	少なくとも2時間
13. Which Inc	lefinites Are interpretable by Choice Functions?	
事前学修	どの不定数量詞が選択関数によって解釈可能であるかを考える。	少なくとも2時間
事後学修	日本語にも不定数量詞はあるか、選択関数による解釈は可能かを考える。	少なくとも2時間
14. Scope-Shi	ft: An Interface Repair Strategy	
事前学修	インターフェースでの修正方略としての作用域の移動(Scope-Shift)を考える。	少なくとも2時間
事後学修	作用域の移動 (Scope-Shift) の有効性について考える。	少なくとも2時間
15. Reinharto	カ分析の利点と問題点	
事前学修	Reinhartの分析の利点と問題点について議論する準備をする。	少なくとも2時間
事後学修	授業中に明確になった事項をノートにまとめておく。	少なくとも2時間
	·	•

試験等
期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
希望があれば、レポートを返却する。
授業中口頭でfeedback する。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし なし
40
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
レース という
1) Keenan, Edward L. (1996) "Semantics of English Quantifiers"
2) Reinhart, Tanya (2006) Interface Strategies: Optimal and Costly Computations.
その他レポートを書くために、必要な文献がありましたら、紹介しますので、相談してください。
オフィスアワー
授業中またはmanabaでしてください。メールでも質問を受け付けます。
連絡先
maris@m.ndsu.ac.jp
留意事項
履修希望する学生は、登録前に担当教員と面談すること。
本授業を履修する学生は、十分予習をすること。 特論IIAと関係する内容となっているので、連続して履修することが望ましい。
行調IIAC関係する内谷となつ(いるので、建枕しく腹惨することが呈ましい。

<u>英語字言語字特詞</u> 授業コード	前IIIA 「Maaaa	科目ナンバリング	問	単位数	2単位
担当者氏名	M2330 齋藤 衛	村日ナンハリンク	開講年度学期	2025年度第1期	
時間割備考					
授業形態(主)	1講義				
授業形態(副) 担当形態	単独				
研究分野(大学院		1			
本授業の概要					4000 - 40 4 5 - 1- 4 5 -
理論の展開により	∫明らかにされた新 ☆を進め、後半では	たな研究課題についても理解を	以降の統語論の発展を極小主義統語論に 深める。前半では、句構造、名詞句の分 与えるフェイズ理論をとりあげる。随時	・布、そして移動に関する諸原 理	里に説明を与えるラベル付け
アクティブラーニ	ングの実施内容	問題解決型学習			
到達目標		•		対応するディプロマポリ	
		その背景を的確に理解しており	1 日できる	(1知識・技能/2思考 知識・技能/思考・判断	・判断・表現力/3主体性)
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に品酬切えの味風と	ての自泉を可惟に生胜してあり	、 	和戚"权能/心污"刊图	1
極小主義約	琵語論の発展に寄与	する独創的な研究が遂行できる。	5	知識・技能/思考・判断	f・表現力/主体性
3					
4					
5					
成績評価の基準	*** · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			対応する到達目標の番号	,
1 授業での調	議論への貢献 (30%)			1/2	
2 レポート	(70%)			1/2	
3					
4					
5					
実務経験のある教	対員による授業科目				
実務経験の授業へ	、の活用万法				
日本語以外の言語	音による授業	+ *	*// */		
授業予定一覧 1. 生成文法:科	学としての言語学		事後学修内容と時間		
事前学修	寺になし。				0時間
			711 / 0 7 / 4 N + 4 N + 1		
		『み上けなから理論の発展を追つ	ていくので、復習を怠らないこと。		4時間
2. 言語の構造、					
	受業時に紹介する参				4時間
		_も み上げながら理論の発展を追っ	ていくので、復習を怠らないこと。		2時間
3. 非対格仮説、	VP内主語仮説				
事前学修	受業時に紹介する参	き考文献の熟読。			4時間
		_も み上げながら理論の発展を追っ	ていくので、復習を怠らないこと。		2時間
4. 名詞句の分布					
	受業時に紹介する参		T11/07 477 422 422		4時間
			ていくので、復習を怠らないこと。		2時間
	理からラベル付け理				
事前学修	受業時に紹介する参	*考文献の熟読。 			4時間
事後学修	受業では、議論を積	ものとげながら理論の発展を追っ	ていくので、復習を怠らないこと。		2時間

phi 素性一致を欠く言語におけるラベル付け	
事前学修授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
日英語の類型的特徴の説明(I): 自由語順と多重主語	
事前学修 授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
日英語の類型的特徴の説明(II):語彙的複合動詞と名詞修飾節	L
事前学修授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
弱主要部としての文法格、theta 規準再考	
事前学修授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
・ 移動と照応形束縛の局所性	L
事前学修授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
フェイズ理論に基づく説明	L
事前学修授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
局所性に見られる言語間変異	L
事前学修授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
一致の有無に言及するフェイズの定義	L
事前学修 授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
制御の移動分析	l
事前学修 授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 授業では、議論を積み上げながら理論の発展を追っていくので、復習を怠らないこと。	2時間
事前学修授業時に紹介する参考文献の熟読。	4時間
事後学修 レポートの執筆。	6時間

レポート。 学期後半にレポートの課題を示す。 試験のフィードバックの方法 レポートにコメントを付して、返却する。 必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	E D R A Mark
	試験等
ルボートにコメントを付して、返却する。	レポート。 学期後半にレポートの課題を示す。
ルボートにコメントを付して、返却する。	
ルボートにコメントを付して、返却する。	
ルボートにコメントを付して、返却する。	試験のフィードバックの方法
必携者・参名者 (教科書販売) 書籍名 / 著名 / 発売元出版社 / 価格 / ISBN / 媒体種別・備考 必携者・参名書 (教科書販売以外) 書籍名 / 著名 / 発売元出版社 / 価格 / ISBN / 媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 saitoēm ndsu. ac. jp	ロボートにコメントを付して、返却する
審務名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
審務名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
審務名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
必携書・参考書(教科書版先以外) 書籍名/巻者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 プリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sal to@m. rdsu. ac. jp	必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ブリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sai to@m. ndsu. ac. jp	必携書・参考書(教科書販売以外)
プリントを配布する。 オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 saitoஹ. ndsu. ac. jp	書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sa i toểm. ndsu. ac. jp	
オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sa i toểm. ndsu. ac. jp	
オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。 連絡先 sa i toểm. ndsu. ac. jp	プリントを配布する。
受講者と相談の上、決定する。 連絡先 saito@m. ndsu. ac. jp	
連絡先 saito@m.ndsu.ac.jp	オフィスアワー
saito@m. ndsu. ac. jp	受講者と相談の上、決定する。
saito@m. ndsu. ac. jp	
saito@m. ndsu. ac. jp	連絡先
	saito@m.ndsu.ac.ip
留意事項	
留意事項	
留意事項	
	留意事項

<u>英語字言語字特記</u> 授業コード	前111B M2335	科目ナンバリング	<u> </u>	開講年度学期		2単位
担当者氏名	齋藤 衛	114 11 7 2 1 1 1 2 1		77 THY THE TOTAL PROPERTY.	[2020年及为 2 初	
時間割備考						
授業形態(主)	1講義					
授業形態(副) 担当形態	単独					
研究分野(大学院	(1) 英語学言語学					
本授業の概要	いに成した泊みされ	+ キャボ田 たちばていても	・ しがニコ ・ 研究 ナ しし	ILLĖZ Luiai Die	zzi氏、Guglielmo Cinque氏などに	- トスサ 仁 江 中 ナ 畑 知 1
1 上で、日本語を 論を進める。	6年心とした比較統	語論研究からどのような貢献	ぱができるかを共に考えてし	いく。モーダル、補	文標識、Wh句の解釈、談話小辞な	どに焦点をあてて、議
アクティブラーニ	ングの実施内容	問題解決型学習				
—————————————————————————————————————		<u> </u>			対応するディプロマポリシー	
		しての北見ナめ体に理解して	・おり、岩田でもで		(1知識・技能/2思考・判断 知識・技能/思考・判断・表現	
1	/ノイー研究の誄題	とその背景を的確に理解して	あり、説明できる。		知識・技能/思考・判断・表現	記刀/土1本1生
カートグラ	フィー研究の発展	に寄与する独創的な研究が遂	行できる。		知識・技能/思考・判断・表現	見力/主体性
2						
3						
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
担 授業での調	議論への貢献 (30%)				1/2	
しポート	(70%)				1/2	
2	(70%)					
3						
4						
5 実務経験のある教	対員による授業科目	1				
実務経験の授業へ						
日本語以外の言語	Eによる授業	事	*			
授業予定一覧 1. 文周縁部のカ	ートグラフィー		前・事後学修内容と時間			
事前学修	寺になし。					0時間
		責み上げて結論を導いていく <i>σ</i>	Dで、復習を怠らないこと。			4時間
2. 副詞句のカー						
	受業で示された参考					4時間
事後学修 3. 補文標識の階		_も み上げて結論を導いていく <i>σ</i>	りで、復省を思らないこと。			2時間
_	産は(1) 受業で示された参考	会がある。				4時間
		, ス	Dで 復羽た台にかいこと			2時間
# 後子修 : 1 4. 補文標識の階		(の上げて和酬を導いていて)	りて、後自を忘りないこと。			∠ μੋ (目)
	層性(II) 受業で示された参考	5文献の熟読。				4時間
		「 「 「 「 ひ上げて結論を導いていく <i>の</i>	Dで、復習を怠らないこと。			2時間
5. 主題の位置						
事前学修	受業で示された参考	5文献の熟読。				4時間
		「み上げて結論を導いていく <i>の</i>	Dで、復習を怠らないこと。			2時間
	10.1 askaliu C 19					

モーダルの)階層性	
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
談話小辞の)階層性	I
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
選択制限と		I
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
補文の意味	- 解釈における「発話」	<u> </u>
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
). 補文の意	 味解釈における「事象」	1
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
. 英語にお	 ける補文の意味解釈に関する諸問題	1
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
2. Wh疑問文		<u> </u>
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
B. Wh疑問文(に見られる言語間変異(I)	1
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業では、議論を積み上げて結論を導いていくので、復習を怠らないこと。	2時間
1. 焦点とし [.]	 てのWh句	
事前学修	授業で示された参考文献の熟読。	4時間
事後学修	授業を通して学んだことをまとめる。	4時間
. 総復習		<u> </u>
事前学修	授業を通して学んだことをまとめる。	4時間
事後学修	レポートに取り組み、完成させる。	6時間

 計
試験等
学期後半にレポートの課題を示す。
試験のフィードバックの方法
レポートにコメントを付して、返却する。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<参考文献>
遠藤善雄、前田雅子著『カートグラフィー』開拓社,2020. ISBN978-4-7589-1405-5.
オフィスアワー
受講者と相談して決定する。
連絡先
saito@m.ndsu.ac.jp
留意事項
国心 ナ・ ス

<u>英語字</u> 授業コ	<u>言語学特記</u> ード	âlVA M2340 科目ナンバリング	開講年度学期		2単位
担当者		山口 麻衣子	開始サステが	2020年12分十分	
時間割	備考	2025年度入学から新設			
授業形	態(主)	2演習			
授業形 担当形	態(副)	1講義 単独			
研究分	<u>野</u> (大学) の概要				
この授い	業では談言	5と生成文法について概観し、関連する論文や構文 ・、諸言語で言われていることが日本語ではどのよ			かかわる構文や問題
アクテ	ィブラー	ングの実施内容 問題解決型学習		対応まるぎょプロラギリミ	
到達目	標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
	談話に関す	る基本的な概念について理解でき使用することが	できる。	知識・技能/思考・判断・表現だ	
	統語論と記 られる。	分野のインターフェイス領域で説明できる現象に	興味を持ち自らのリサーチトピックを見つけ	思考・判断・表現カ/主体性	
3					
4					
5					
成績評	価の基準			対応する到達目標の番号	
1					
2	授業での調	論へ貢献 20%		1/2	
3	発表 309)		1/2	
	レポート	500%		1/2	
4	υ π Γ	70		17 2	
5 実務経	験のあるオ	x 員による授業科目			
実務経	験の授業へ	の活用方法			
日本語 授業予	以外の言語 定一覧	語による授業 事前	・事後学修内容と時間		
1. 談	話と文法		于 区 7 10 F 7 日 C 时间		
事前	前学修 :	旨定された箇所を読んでくる。			2時間
		下明点の解消と内容理解 			2時間
	話と文法 前学修	Part 2 上 日定した文献を読んでくる。			2時間
		下明点の解消と内容理解			2時間
3. 提示	r機能 Pa	rt 1			
事前	前学修 :	肯定箇所を読んでくる 。			2時間
事後	後学修 3	下明点の解消と内容理解			2時間
4. 提示	□ L 示機能 Pa				
		指定箇所を読んでくる。			3時間
	後学修 直主格構文	内容の振り返りと疑問点の解決 			2時間
事前	前学修 :	旨定箇所を読んでくる。			2. 5時間
事後	後学修	内容の理解と問題点の解決			2時間

6. 多重主格構	文 Part 2	
事前学修	指定した箇所を読んでくる。	2時間
事後学修	不明点の解決	2時間
7. Kim (2015)	nun について Part 1	
事前学修	該当箇所を読んでくる	2時間
事後学修	不明点は解決しておく	2時間
8. Kim (2015)	nun について Part2	
事前学修	該当箇所を読んでくる。	3時間
事後学修	不明点の解決	2時間
9. が・の交替	Part1	
事前学修	指定したところを読んでくる。	3時間
事後学修	不明点の解決	2時間
10. が・の交替	Part 2	
事前学修	指定箇所を読んでくる。	2時間
事後学修	不明点の解決	2時間
11. が・の交替	に関わる諸問題 Part 1	
事前学修	該当箇所を読んでくる	2時間
事後学修	不明点の解決	2時間
12 が・の交替(に関わる諸問題 Part2	
事前学修	指定箇所を読んでくる。	3 時間
事後学修	不明点の解決	2時間
13. Park and	Yeon (2023) Part1: IS in Korean	
事前学修	指定箇所を読んでくる。	3時間
事後学修	不明点の解決	2時間
14. Park and Y	eon (2023) Part2	
事前学修	指定箇所を読んでくる。	3時間
事後学修	不明点の解決	2時間
15. Park and Y	eon (2023) Part3	
事前学修	指定箇所を読んでくる。	3時間
事後学修	不明点の解決	2時間

2025/5/8
=± \$\tilde{\theta} (the tilde of the
試験等 レポート
試験のフィードバックの方法
口頭またはメールによるフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
三原健一(2022) 『日本語構文大全』 II巻 提示機能から見る文法 くろしお出版
三原健一(20223 『日本語構文大全』 III巻 談話の地平へ くろしお出版 Emgent (2015) "Is Korean -(n)un a topic marker? On the nature of -(n)un and its relation to information structure," Lingua, Volume 154, 87-109.他 Park, Chongwon Park and Jaehoon Yeon (2023) "Information structure in Korean: What's new and what's old?," Journal of Pragmatics, Volume 205, 16-32, 上記のほか別途指定する予定。 購入は不要。
オフィスアワー
アポイントを取ること。
連絡先
m-yamaguchi@m.ndsu.ac.jp
留意事項
履修希望者は登録前に必ず担当教員と面談すること。 別途指示するテキストや論文をしっかりと読み込み、ハンドアウトを作成すること。

英語: 超業-	学言語学特別 コード	☆IVB M2345 科目ナンバリング	開講年度学期	単位致	2単位
	1 	山口 麻衣子		2023年及弟2期	
時間割	割備考	2025年度入学から新設			
授業刑	杉態 (主)	2演習			
授業刑	肜態(副)	1講義			
担当用研究分					
本授美	業の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
今回耶	なり扱うの	は統語論と形態論、統語論と音韻論、統語構造分析	の一つであるカートグラフィーと情報構造にな	おけるインターフェイス領域の研	究について扱う。
アクラ	ティブラー	ニングの実施内容 問題解決型学習			
到達目	 目標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	主理力/2 主体性)
	統語論と記	諸分野のインターフェイス領域の研究についての趣と	旨を理解できる。	知識・技能	衣坑刀/3 土体注/
1					
2	統語論と記られる。	省分野のインターフェイス領域で説明できる現象に!	興味を持ち自らのリサーチトピックを見つけ	思考・判断・表現力/主体性	
3					
4					
5					
成績詞	平価の基準			対応する到達目標の番号	
1					
2	授業での記	義論へ貢献 20%		1/2	
_	発表 309	6		1/2	
3					
4	レポート	50%		1/2	
5 実務総	経験のある	枚員による授業科目			
実務約	圣験の授業	の活用方法			
日本語	吾以外の言 予定一覧	語による授業 東前・	事後学修内容と時間		
	アルー見 ntroductio		争仮子修内谷と时间		
+	**************************************	七中大大大			0.0+ BB
争	前学修	指定された箇所を読んでくる。			2時間
		不明点の解消と内容理解			2時間
		接密階層仮説			0.n± 88
		指定した文献を読んでくる。 			2時間
	海子修語構造と能				∠ μೆ
					0.0± 88
		指定箇所を読んでくる。			2時間
		不明点の解消と内容理解			2時間
		像研究の理論的進展 Part1			0.04 88
		指定箇所を読んでくる。 			3時間
		像研究の理論的進展 Part2			두 뉴시 [8]
				,	O Ec+88
		指定箇所を読んでくる。			2. 5時間
事	後学修	内容の理解と問題点の解決			2時間

# 神学権	A 44		
本後学称 不明点の解決 2時間	6. 統語一音韻	写像研究の理論的進展 Part3: その他の問題	
7. 枝頭治と形態冷一単文の検達 平前字移 無当場所を読んでくる 2時間 2	事前学修	指定した箇所を読んでくる。	2時間
事報学様 該当箇所を読んでくる 2時間 1	事後学修	不明点の解決	2時間
事故学修 不明点は解決しておく 第 多重主結構文 3時間 事前学修 報告節所を読んでくる。 事前学修 相定したところを読んでくる。 事前学修 相定したところを読んでくる。 事前学修 相定面所を読んでくる。 事前学修 石度面の解決 10. 核合動調構文 2時間 11. カートグラフィーと確認的母亲 2時間 11. カートグラフィーと確認的母亲 2時間 12. カートグラフィーの解決 2時間 12 カートグラフィー分析による諸言語の研究成果 2時間 12 カートグラフィー分析による諸言語の研究成果 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 事前学修 事前学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part 2 事前学修 3時間 事業学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる辞言語の研究成果 2時間	7. 統語論と形成	態論一単文の構造	
8. 多重主格構文 事削学権 該当箇所を誘んでくる。 3時間 事後学権 不明点の解決 2時間 事後学権 不明点の解決 2時間 事後学権 不明点の解決 2時間 「機会動詞模文 2時間 「現立の解決 2時間	事前学修	該当箇所を読んでくる	2時間
事前学修 接当箇所を読んでくる。 3時間	事後学修	不明点は解決しておく	2時間
事後学修 不明点の解決 2時間 9. 軽勤制権文 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 10. 複合動制構文 2時間 事後学修 不明点の解決 2時間 11. カートグラフィーと歴史的背景 2時間 事後学修 我当箇所を読んでくる 2時間 事な学修 不明点の解決 2時間 12. カートグラフィー分析による精言語の研究成果 3時間 事故学修 不明点の解決 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事故学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果 2時間 3時間	8. 多重主格構.	Ż	
9. 軽動調構文 3時間 事故学修 不明点の解決 2時間 10. 複合動調構文 2時間 事故学修 指定箇所を読んでくる。 2時間 事後学修 不明点の解決 2時間 11. カートグラフィーと歴史的背景 2時間 事後学修 不明点の解決 2時間 12 カートグラフィー分析による緒書語の研究成果 2時間 13 カートグラフィー分析による緒書語の研究成果 2時間 13 Information Structureの歴史的背景 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part 2 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸書語の研究成果 2時間	事前学修	該当箇所を読んでくる。	3時間
事前学修 指定したところを読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 10. 複合動詞構文 2時間 事故学修 不明点の解決 2時間 11. カートグラフィーと歴史的背景 2時間 11. カートグラフィー分析による練言語の研究成果 2時間 12 カートグラフィー分析による練言語の研究成果 3時間 13 Information Structureの歴史的背景 Part 1 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part 2 3時間 事故学修 不明点の解決 2時間 15. ISIこよる諸言語の研究成果 2時間	事後学修	不明点の解決	2時間
事後学修 不明点の解決 2時間 10. 複合動詞構文 2時間 事後学修 不明点の解決 2時間 11. カートグラフィーと歴史的背景 2時間 事前学修 該当箇所を読んでくる 2時間 12 カートグラフィー分析による精言語の研究成果 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part 2 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISICよる諸言語の研究成果 2時間	9. 軽動詞構文		
10. 複合動詞構文	事前学修	指定したところを読んでくる。	3時間
事前学修 指定箇所を読んでくる。 2時間 車後学修 不明点の解決 2時間 11. カートグラフィーと歴史的背景 2時間 事故学修 不明点の解決 2時間 12 カートグラフィー分析による精言語の研究成果 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 15. ISICよる諸書語の研究成果 2時間	事後学修	不明点の解決	2時間
事後学修 不明点の解決 2時間 11. カートグラフィーと歴史的背景 2時間 事後学修 不明点の解決 2時間 12 カートグラフィー分析による緒言語の研究成果 事前学修 指定箇所を誘んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 事前学修 指定箇所を誘んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 事前学修 指定箇所を誘んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISICよる諸言語の研究成果 2時間	10. 複合動詞構	I 文	
11. カートグラフィーと歴史的背景 2時間 事前学修 該当箇所を読んでくる 2時間 12 カートグラフィー分析による緒言語の研究成果 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果 2時間	事前学修	指定箇所を読んでくる。	2時間
事前学修 該当箇所を読んでくる 2時間 事後学修 不明点の解決 2時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 3時間 事務学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果 2時間 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果 2時間	事後学修	不明点の解決	2時間
事後学修 不明点の解決 2時間 12 カートグラフィー分析による緒言語の研究成果 3時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 3時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 2時間 15. ISICよる諸言語の研究成果 2時間	11. カートグラ	フィーと歴史的背景	
12 カートグラフィー分析による緒言語の研究成果	事前学修	該当箇所を読んでくる	2時間
事前学修 指定箇所を読んでくる。 3 時間 事後学修 不明点の解決 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 3時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果 2時間	事後学修	不明点の解決	2時間
事後学修 不明点の解決 2時間 13. Information Structureの歴史的背景 Part 1 3時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part 2 3時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISIによる諸言語の研究成果 2時間	12 カートグラ	フィー分析による緒言語の研究成果	
13. Information Structureの歴史的背景 Part 1	事前学修	指定箇所を読んでくる。	3 時間
事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 3時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISICよる諸言語の研究成果 2時間	事後学修	不明点の解決	2時間
事後学修 不明点の解決 2時間 14. Information Structureの歴史的背景 Part2 3時間 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISICよる諸言語の研究成果	13. Informatio	on Structureの歴史的背景 Part 1	
14. Information Structureの歴史的背景 Part2 事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果	事前学修	指定箇所を読んでくる。	3時間
事前学修 指定箇所を読んでくる。 3時間 事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果 2時間	事後学修	不明点の解決	2時間
事後学修 不明点の解決 2時間 15. ISによる諸言語の研究成果 25	14. Informatio	l on Structureの歴史的背景 Part2	
ISIによる諸言語の研究成果	事前学修	指定箇所を読んでくる。	3時間
	事後学修	不明点の解決	2時間
事前学修 指定策所を読んでくる。 マロロ	15. ISによる諸	 言語の研究成果	
テロプードタ コロベビバノ C V V O O	事前学修	指定箇所を読んでくる。	3時間
事後学修 不明点の解決 2時間	事後学修	不明点の解決	2時間

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
口頭またはメールによるフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
・ 必携書・参考書(教科書販売以外)
と
音和4/1/14/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/
土橋善仁・岸本秀樹・毛利史生・中谷健太郎・中村浩一郎(著) (2021) 『統語論と言語学諸分野とのインターフェイス』開拓社.
オフィスアワー
アポイントを取ること。
連絡先
m-yamaguchi@m. ndsu. ac. jp
留意事項
履修希望者は登録前に必ず担当教員と面談すること。
別途指示するテキストや論文をしっかりと読み込み、ハンドアウトを作成すること。

英語	学言語学演					単位数	2単位
	コード 者氏名	M2350 齋藤 衛	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第1期	
時間智	 割備考						
授業1	形態(主)	2 演習					
授業	形態(副)						
担当	形態 分野(大学	単独 院) 英語学言語学	<u> </u>				
本授	業の概要						
法格(が認可、多	要は - こうがに 30 様な複合動詞の形成	で、 では、 省略現象を予定してい	主文な明人で述がして、 る。	皮 日に プラエー さし し	もらう。今期とり上げるトピックと	. しては、可構造、人
アクラ	ティブラー	ニングの実施内容	問題解決型学習				
到達	 目標		•			対応するディプロマポリシー	丰田土 / 0 子 仕 株 \
		研究論文を正確に理	解できる。			(1知識・技能/2思考・判断・ 知識・技能/思考・判断・表現	
1	76211113.61		En# C C '0'			MIN IXIO IN COLUMN SAME)))
2	優れた論法	文をさらに発展させ	るために、建設的なコメ	ントをすることができる	•	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3							
4							
5							
成績	評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授耒での3	発表 (50%)				1/2	
2	論文(50%	%)				1/2	
3							
4							
5							
		教員による授業科目 への活用方法					
		語による授業					
	予定一覧 語構造と文:	注		事前・事後学修内容と	時間		
	法格の理論						
事	前学修	紹介された参考文献	ぱを読みつつ、研究テーマ	を考える。			6時間
事	後学修	復習を行い、次回の	Dために質問を準備する。				2時間
2. 複	σ 合動詞文 σ)構造					
事	前学修	紹介された参考文献	ぱを読みつつ、研究テーマ	で考える。			6時間
事	後学修	復習を行い、次回の	Dために質問を準備する。				2時間
3. 複	夏合動詞文に	おける文法格					
事	前学修	紹介された参考文献	ぱを読みつつ、研究テーマ	を考える。			6時間
事	後学修	復習を行い、次回の	Dために質問を準備する。				2時間
	外的格付与						
			ぱを読みつつ、研究テーマ	'を考える。			6時間
			Dために質問を準備する。				2時間
<統	Aと一致の関語構造と語						
事	前学修	紹介された参考文献	ぱを読みつつ、研究テーマ	を考える。			6時間
事	後学修	復習を行い、次回の	Dために質問を準備する。				2時間
							•

統語的複合	動詞と語彙的複合動詞	
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、研究テーマを考える。	6時間
事後学修	復習を行い、次回のために質問を準備する。	2時間
語彙的複合 省略現象>	動詞の統語的派生	
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、研究テーマを考える。	6時間
事後学修	復習を行い、次回のために質問を準備する。	2時間
省略現象の	概観	
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、研究テーマを考える。	6時間
事後学修	復習を行い、次回のために質問を準備する。	2時間
PF削除分析	 とLFコピー分析	
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、研究テーマを考える。	6時間
事後学修	復習を行い、次回のために質問を準備する。	2時間
D. N'省略		
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、研究テーマを考える。	6時間
事後学修	復習を行い、次回のために質問を準備する。	2時間
I. VP省略とス		
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、選択したテーマの研究を進める。	6時間
事後学修	復習を行い、論文執筆も並行して行う。	4時間
2. 項省略		
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、選択したテーマの研究を進める。	6時間
事後学修	復習を行い、論文執筆も並行して行う。	4時間
3. 省略現象(Cおける言語間変異	
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、選択したテーマの研究を進める。	6時間
事後学修	復習を行い、論文執筆も並行して行う。	4時間
4. VP省略と	 スルーシング再考	
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、選択したテーマの研究を進める。	6時間
事後学修	復習を行い、論文執筆も並行して行う。	4時間
5. 総復習		
事前学修	紹介された参考文献を読みつつ、選択したテーマの研究を進める。	6時間
事後学修	復習を行い、論文執筆も並行して行う。	4時間

= E E G Art	
試験等	
論文。受講生と共に論文のテーマを決定する。	
試験のフィードバックの方法	
論文にコメントを付して、返却する。	
必携書(教科書販売)	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
必携書・参考書(教科書販売以外)	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
自省47 省67 九九九九四队任7 1111117 111117 11117 11117	
授業時に指定する。	
オフィスアワー	
受講者と相談の上、決定する。	
連絡先	
saito@m. ndsu. ac. jp	
留意事項	
ENGLY K	

英語。 授業:	<u>チョ品子典</u> コード	M2355	科目ナンバリング	開講年	度学期	2025年度第2期	2年位
	 皆氏名	齋藤 衛	nież - ż - ż	1773812		12020 + 12/37 = 70	
時間割	 割備考						
授業刑	 杉態(主)	2 演習					
授業刑 担当刑	杉態 (副) 杉能	単独					
研究分	分野(大学	院) 英語学言語	学				
統詞	子、適正束		定名詞句分析、Wh句の演算子分材		リヴューをして	もらう。今期とり上げるトピック	としては、制御、空
		ニングの実施内容				対応するディプロマポリシー	
到達日						(1知識・技能/2思考・判断・	
1	先端的	な研究論文を正確し	に理解できる。			知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
2	優れた	論文をさらに発展	させるために、建設的なコメント	〜をすることができる。		知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3							
4							
5							
成績詞	平価の基準					対応する到達目標の番号	
1		研究発表(50%)				1/2	
2	論文(509	%)				1/2	
3							
4							
5							
実務組	経験のある	教員による授業科 への活用方法	目				
日本	프리 <i>에 아들</i>	語による授業					
授業:	予定一覧		事前	・事後学修内容と時間			
	卸と空演算 10分析の問						
事	前学修	紹介された文献を	読みつつ、自らの研究を積極的	に進める。			6時間
			する論文のテーマについて考え	న .			2時間
	御の移動分 前学修		読みつつ、自らの研究を積極的	に従んて			6時間
			する論文のテーマについて考え				2時間
	演算子の科						
事	前学修	紹介された文献を	読みつつ、自らの研究を積極的	に進める。			6時間
事	後学修	復習に加え、提出	する論文のテーマについて考え	ა .			2時間
4. 制	御の局所性	ŧ					
事	前学修	紹介された文献を	読みつつ、自らの研究を積極的	に進める。			6時間
			する論文のテーマについて考え	る。 			2時間
	ピー形成分						
		紹介された文献を	読みつつ、自らの研究を積極的	に進める。			6時間
事	後学修	復習に加え、提出	する論文のテーマについて考え	<u></u>		-	2時間

6時間
2時間
6時間
2時間
4時間
6時間

議験で、受講者と相談の上、論文のテーマを決定する。 議験にコメントを付して、返却する。 透験電子等者/発売売出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 通報名/零者/発売売出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 近映書・参考書 (教料書販売以外) 電報名/零者/発売売出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 投業時に指定する。
論文にコメントを付して、返却する。
証験のフィードバックの方法 論文にコメントを付して、返却する。 必携書(教科書版売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
議文にコメントを付して、返却する。 必携書(教科書販売) 嘉籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 必携書・参考書(教科書販売以外) 嘉籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 授業時に指定する。
議文にコメントを付して、返却する。 必携書(教科書販売) 嘉籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 必携書・参考書(教科書販売以外) 嘉籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 授業時に指定する。
議文にコメントを付して、返却する。 必携書(教科書販売) 嘉籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 必携書・参考書(教科書販売以外) 嘉籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 授業時に指定する。
必携書(教科書版先) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 必携書・参考書(教科書版売以外) 憲籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 授業時に指定する。
審籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 「授業時に指定する。
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 授業時に指定する。
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 授業時に指定する。
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 授業時に指定する。 オフィスアワー
授業時に指定する。
オフィスアワー
オフィスアワー
オフィスアワー
オフィスアワー
オフィスアワー 受講者と相談の上、決定する。
受講者と相談の上、決定する。
1
連絡先
saito@m.ndsu.ac.jp
OD A THE
留意事項
留意事項
省息事 項
省息事 項
省高事項
省
<u> </u>
省息事 項
省高事 以
省 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国
省
省
省息事 項

<u>英語字</u> 授業コ	<u>『言語字演』</u> Ⅰード	ia M2360	科目ナンバリング		講年度学期		2単位
担当者		木津 弥佳		,,,,,		1227 1227 1727	
時間割	備考						
	態(主)	2演習					
授業形 担当形	<u>態(副)</u>	2演習 単独					
研究分)野(大学院						
本授業 英語ま	<u>終の概要</u> きでは、受読 たは日本記 行う。	構者が選んだ修士論 音の習得について、	文の課題に取り組むために必要 第二言語習得理論を基にした研	要な研究方法や分析の仕方、 研究課題を選び、関連する先	発表・論文のまと 行研究を洗い出し	め方を学ぶ。扱うテーマとしては、文献を批判的・客観的に読み、	、第二言語としての 深く理解するような
アクテ	·ィブラー:	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	/ ョン			
到達目	標					対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	= 11 + / 2 → / + / + / + /
	第二言語習	『得研究の課題設定	 を適切に行うことができる。			知識・技能/思考・判断・表現	
1							
2	必要な方法	議論を理解し、研究	調査を実践することができる。			知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3	英語・日本	語で書かれた先行	研究を的確に理解し、批判的に	- 読むことができる。		知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
4							
5							
	価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業時の請	養論への参加 20%				1/2/3	
2	発表 30%					1/2/3	
	加索表士	F00/				1 (0 (0	
3	研究論文	50%				1/2/3	
4							
5							
実務経	験のある教	対員による授業科目 ►の活用方法					
	∄以外の言語 定一覧	語による授業	事前	・事後学修内容と時間			
		ついて・研究課題(, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
事	前学修	研究テーマと課題((仮)を設定する。				3 時間
事	後学修 :	受業中のフィードバ	バックをもとに自身の研究を進め	める。			3 時間
2. 先	行研究:ス	て献の収集					
事	前学修	関連する先行研究の	文献リストを作成する。				3 時間
			「ックをもとに自身の研究を進め	める。			3 時間
		リティカルに読む					
事育	前学修 :	先行研究を読み、内	容をまとめる。				3 時間
			、ックをもとに自身の研究を進& 	める。			3 時間
	:行研究: <		185 de 24 a a a a a a				a n± 00
		先行研究を読み、課	¦題を洗い出す。 √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √	м Х			3 時間
	マチ 修 日 日 日 究課題の記		・ノノでしてにロダい切れて進り	~/ U 0			〇 时间
							0 III BP
		研究課題を設定する					3 時間
事	後学修	受業中のフィードバ	バックをもとに自身の研究を進む 	୭ ବ .			3 時間

6. 研究の方	<u>.</u>	
事前学修	研究方法を検討する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
7. 調査・分	πの方法	
事前学修	調査方法と分析方法を考える。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
8. 研究調査	D実施に向けて:計画を立てる	
事前学修	研究調査の計画を立てる。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
9. 研究調査	D 実施に向けて:パイロットスタディ	
事前学修	パイロットスタディを実施する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
10. 調査結果	り収集	
事前学修	データを収集する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
11. 調査結果	りまとめ	
事前学修	調査結果をまとめる。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
12. 先行研究	と本研究の分析	
事前学修	調査結果を分析し、先行研究の結果と比較する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
13. 先行研究	と本研究の残された問題	•
事前学修	結果を考察する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
14. 論文の構	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•
事前学修	論文の構成を考える。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
15. 論文の作	」	
事前学修	論文の概要を各章ごとにまとめる。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間

試験等
研究論文の提出
試験のフィードバックの方法
口頭と書面によるフィードバック
日頭に自園にあるシャー・バッグ
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
Woodrow, Lindy (2020) Doing a Master's Dissertation in TESOL and Applied Linguistics. Routledge.
* 受講生の選んだテーマに沿って文献を選択する。その他の資料は授業中に配布する。
オフィスアワー
By appointment
by appointment
連絡先
mikakizu@m.ndsu.ac.jp
留意事項
履修希望者は登録前に担当教員と面談すること。

<u>英語字言語字演行</u> 授業コード	■M2365	科目ナンバリング	開講年度学期		
担当者氏名	木津 弥佳	111111111111111111111111111111111111111	TX17 HBDM	7.020千及分之为	1
時間割備考					
授業形態(主)	2 演習				
授業形態(副) 担当形態					
研究分野 (大学) 本授業の概要		5			
本授業では、修: 説明する訓練を行	すう 。	・ディスカッションの際に必要	な英語理解力と運用能力をさらに高	が、受講者の扱う研究課績	題について深く理解し、わかりやすく
アクティブラー	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	ョン		
到達目標				対応するディス(1知識・技能	7ロマボリシー ヒ/2思考・判断・表現カ/3主体性)
	吉果をまとめ、適切	な方法で分析できる。			表・判断・表現力/主体性
1					
分析結果を	と客観的に判断し、	建設的に批判することができる。		知識・技能/思	弐考・判断・表現力/主体性
深い英語3 3	里解力を持ち、高度	な英語運用力を用いて発表・論	文作成ができる。	知識・技能/思	書・判断・表現力/主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目	標の番号
1 授業時の記	義論への参加 20%			1/2/3	
2 発表 30	%			1/2/3	
	50%			1/2/3	
3 ", , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				17 27 0	
4					
5 DXXXX 0 + 3 :					
美務経験のある。 実務経験の授業	<mark></mark> 牧員による授業科目 への活用方法				
日本語以外の言 授業予定一覧	吾による授業	事前•	事後学修内容と時間		
	まとめと論文内容の		学校子房門在こ 時間		
事前学修	1期に執筆した論で	ての書き直しを行う。			3 時間
	1 791 C 174 C 7 C IIII 7	We ce de li 7.			
		バックをもとに自身の研究を進め	る。		3 時間
	方法・調査のまとめ				
		た上で、研究方法などを決定し			3 時間
	_{授耒中のフィート} / 書き方:構文と文体	バックをもとに自身の研究を進め -	ক _•		3 時間
		主文の草稿で、書き方に関する疑			3 時間
		バックをもとに自身の研究を進め	ঠ _°		3 時間
4. 研究結果の					
	研究結果を分析する		7		3時間
		バックをもとに自身の研究を進め	িক _০		3 時間
5. 研究結果の					
	研究結果を分析する				3 時間
事後学修	授業中のフィード <i>/</i>	バックをもとに自身の研究を進め	<u></u> -		3 時間

6. 研究課題	の確認	
事前学修	研究課題を再確認する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
. 英語論文		
事前学修	これまで書いた論文の草稿を見直す。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
.分析結果		
事前学修	分析結果を議論する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
.分析結果	ー に関する議論:質的観点から	
事前学修	分析結果を議論する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
). 英語論文	 の書き方:論理的議論	
事前学修	本論の論理展開を見直す。	3時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
. 序論		
事前学修	序論を執筆する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
結論		
事前学修	結論を執筆する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
.論文全体	_ の見直し	<u> </u>
事前学修	論文全体の加筆修正を行う。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
1. 英文要旨		
事前学修	英文要旨を作成する。	3 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間
. まとめ		
事前学修	論文全体を見直す。	3時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	3 時間

試験等
研究論文の提出
試験のフィードバックの方法
口頭と書面によるフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
盲相句/ 有句/ 无光光地叫放性/ IIII们/ 探怀性对下 调为
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
W. J. J. (200) D. J. W. J. D. J. J. T.
Woodrow, Lindy (2020) Doing a Master's Dissertation in TESOL and Applied Linguistics. Routledge.
* 受講生の選んだテーマに沿って文献を選択する。その他の資料は授業中に配布する。
オフィスアワー
By appointment
ыу арропишения — — — — — — — — — — — — — — — — — — —

連絡先
mikakizu@m. ndsu. ac. jp
留意事項
原則として、1期の英語学言語学演習(木津担当)を履修しておくこと。

国際コ 授業コ		<u>ーション特論IA</u> ■M2410			講年度学期		2単位
担当者		植野 貴志子	作日ナンハサンケ	[[H]	两十 <u>发于粉</u>	2023年及弟「朔	
時間割	備考						
	態(主)	2 演習					
授業形 担当形	態(副)能	単独					
研究分	野(大学		ニケーション				
マにつ	いて適切		Sよび関連分野の主要な文献を認 、予備的な調査、分析、考察を グループ・ディスカッシ	を進める。授業内で発表し、			
		- ファの天旭内谷	JN-J-11ANJJ			対応するディプロマポリ	シー
到達目						(1知識・技能/2思考・	判断・表現力/3主体性)
1	社会言語的	学、語用論、談話分	析の鍵概念、理論的枠組み、方	5法論を理解し、説明するこ	ことができる。	知識・技能/思考・判断	・表現力
2	研究テー	マを設定し、適切な	方法で独自の研究を進めること	: ができる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
3	研究成果る	<u>を</u> タームペーパーと	してまとめることができる。			知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
4							
5							
	価の基準					対応する到達目標の番号	
1	ディスカ、	ッションへの貢献	(20%)			1/2	
2	発表 (309	6)				1/2	
	タームペ-	-/ ¹ - (50%)				1/2/3	
3						1,7 2,7 0	
4							
5 実務経	験のある	教員による授業科目	l I				
美務栓.	験の授業	への活用方法					
		語による授業	東	本终党收办 索 L 吐眼			
<u>授業予</u> イント	<u>疋一覧</u> ロダクシ	ョン	- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・事後学修内容と時間			
+	- 34 l/r	<u> </u>		*# # 7			0.0+88
争印	前学修	日身の研究ナーマ	こついて簡潔に説明できるよ う 2	学順する。			2時間
事後	後学修	教科書のイントログ	ダクションを読んで重要事項を る	まとめる。			2時間
			ics and poetics (1)				
			oeticsの前半を精読する。発表			或する。 	2時間
			フードを復習する。授業での議誌	論を振り返り、目分の考え:	を整理する。 		2時間
			ics and poetics (2)		. I - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	<u> </u>	0.04 88
			oeticsの後半を精読する。発表			火する。	2時間
			フードを復習する。授業での議記 do things with words (1)	冊を振り返り、目分の考え [∙]	を発理りる。		2時間
	_		ao things with words (i) with wordsの前半を精読する。	発表担当者け亜占た幸レ#)たハンドアウ b :	を作成する。	2時間
		_	With Wordsの削牛を桶就する。 フードを復習する。授業での議			C 1 F 1% / 1 0/0	2時間
			do things with words (2)		,		
			with wordsの前半を精読する。	発表担当者は要点をまとめ	たハンドアウト	を作成する。	2時間
			フードを復習する。授業での議				2時間

·ータセッショ		
事前学修	自身の研究で扱っているデータの概要を整理し、プレゼンテーション用の資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップする。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。	2時間
献講読:H.	Grice, Logic and conversation (1)	
事前学修	Logic and conversationの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
C献講読:H.	P. Grice, Logic and conversation (2)	
事前学修	Logic and conversationの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
データセッショ	ン (2)	
事前学修	自身の研究で扱っているデータの概要を整理し、プレゼンテーション用の資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップする。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。	2時間
文献講読:M.	M. Bakhtin, The problem of speech genres (1)	
事前学修	The problem of speech genresの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
文献講読:M.	M. Bakhtin, The problem of speech genres (2)	
事前学修	The problem of speech genresの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
文献講読:R.	Scollon, Mode and modality: The multimodal shaping of reality in public discourse (1)	
事前学修	Mode and modality: The multimodal shaping of reality in public discourseの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
文献講読:R.	Scollon, Mode and modality: The multimodal shaping of reality in public discourse (2)	
事前学修	Mode and modality: The multimodal shaping of reality in public discourseの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめ たハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
研究発表(1)		
事前学修	自身の研究について発表用の資料やハンドアウトを作成し、論理的で分かりやすい説明ができるよう準備する。	2時間
事後学修	授業での質疑応答やフィードバックを振り返り、分析や考察を深める。	2時間
研究発表(2)		
事前学修	自身の研究について発表用の資料やハンドアウトを作成し、論理的で分かりやすい説明ができるよう準備する。	2時間
		2時間

タームペーパー	試験等
	タームペーパー
授業内あるいは面談でのフィードバック	
授業内あるいは面談でのフィードバック	
授業内あるいは面談でのフィードバック	
必携書・参考書(教科書販売) 書籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・優考 必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著名/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・優考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日報 質問や面前のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uernokem ndsu.ac.jp	記歌のフィートハックの方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
遊携書・参考書(教科書版売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ②応携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日根 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 運範先 uerokim. rdsu. ac. jp	技業内めるいは面談でのフィートハック
遊携書・参考書(教科書版売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ②応携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日根 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 運範先 uerokim. rdsu. ac. jp	
遊携書・参考書(教科書版売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ②応携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日根 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 運範先 uerokim. rdsu. ac. jp	
遊携書・参考書(教科書版売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 ②応携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日根 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 運範先 uerokim. rdsu. ac. jp	必携書(教科書販売)
必携書・参考書(数科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書) Javorski, Adam. Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日復 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 運絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	
書籍名/養売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 <必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 大曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenokem. ndsu. ac. jp	必携書・参考書(教科書販売以外)
<必携書> Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日4限 費問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	
Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	
Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492) その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー 火曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	<必携書>
その他、必要な資料は授業で配布する。 オフィスアワー	Jaworski, Adam. Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader, Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492)
オフィスアワー 火曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	The state of the s
オフィスアワー 火曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	その他、必要な資料は授業で配布する。
火曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	
質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。 連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	
連絡先 uenok@m. ndsu. ac. jp	火曜ロ4版 焼頭 助 赤砂 の マ ポラント しょうこと はな 味 メニル で 巫 は ひ は ス
uenok@m.ndsu.ac.jp	貝向や国歌のアパイントメントは随時メールと受け付ける。
uenok@m.ndsu.ac.jp	
uenok@m.ndsu.ac.jp	
uenok@m.ndsu.ac.jp	
	連絡先
	uenok@m. ndsu. ac. jp
留意事項	
留意事項	
笛息事項	加辛克特
	笛思事場

国際コミュニケ 授業コード	<u>ーンョン符論IB</u> M2415	科目ナンバリング		学期 1 2025年	 ■度第2期	2単位
担当者氏名	植野 貴志子	THE BY SIVE SY		<u> </u>	-1又为 4 州	
時間割備考						
授業形態(主) 授業形態(副)	2演習					
担当形態	単独					
研究分野(大学 本授業の概要	院) 国際コミュニ	-ケーション				
研究方法を見出		分析、考察を進める。授業内	理論的枠組み、方法論に関する基本で発表し、フィードバックを参考!			の研究アーマについて適切な
	ーンプの夫他内谷	グループ・ディスカッ	/ = /	する技	⁻ るディプロマポリ	リシー
到達目標	W == =================================	In a low A reserve to the contract of the cont	AL = A. + TIII htt	(1知	□識・技能/2思考	・判断・表現力/3主体性)
社会言語:	子、語用論、談話分	析の概念、埋論的枠組み、方法 	法論を理解し、説明することができ		技能/思考・判断	
研究テー [·] 2	マを設定して、適切	な方法で独自の研究を進める。	ことができる。	知識・	技能/思考・判断	断・表現力/主体性
研究成果	をタームペーパーと	してまとめることができる。		知識・	技能/思考・判断	断・表現力/主体性
4						
5						
成績評価の基準	ッションへの貢献(20%)		対応す 1/2	る到達目標の番号	
1		_U/U/				
2 発表 (30)	%)			1/2		
3 タームペー	-パ - (50%)			1/2/	3	
4						
5						
実務経験のある 実務経験の授業	<u>教員による授業科目</u> への活用方法					
	ST:_ L 7 I≅ JU					
日本語以外の言 授業予定一覧		事前	う・事後学修内容と時間			
イントロダクシ	ョン					
事前学修	自身の研究テーマに	こついて簡潔に説明できるよう	準備する。			2時間
		「クションを読んで重要事項を	まとめる。			2時間
		nquiry and discourse (1)	2. 8 李中小李小亚之子十二年上	ハヽ. ビマ ム L <i>ナ ル</i> -		On+ 88
			る。発表担当者は要点をまとめた		9 6 .	2時間
		フードを復習する。授業での議 nquiry and discourse (2)	論を振り返り、自分の考えを整理 	9 ବ		2時間
			る。発表担当者は要点をまとめた	ハンドアウトを作成	する。	2時間
			論を振り返り、自分の考えを整理			2時間
		mation of experience in na				
事前学修	The transformatio	n of experience in narrativ	reの前半を精読する。発表担当者に	は要点をまとめたハン	ンドアウトを作成 ⁻	する。 2時間
事後学修	重要な語彙やキーワ	フードを復習する。授業での議	論を振り返り、自分の考えを整理	する。		2時間
文献講読:W. L	abov, The transfor	mation of experience in na	rrative (2)			L
事前学修	The transformatio	n of experience in narrativ	reの後半を精読する。発表担当者に	は要点をまとめたハン	ィドアウトを作成 ^っ	する。 2時間
事後学修	重要な語彙やキーワ	フードを復習する。授業での議	論を振り返り、自分の考えを整理	する。		2時間

事前学修	自身の研究で扱っているデータの概要を整理し、プレゼンテーション資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリスト アップする。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。	2時間
献講読:D.	Schiffrin, Oh as a marker of information management (1)	
事前学修	Oh as a marker of information managementの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
、献講読:D.	Schiffrin, Oh as a marker of information management (2)	
事前学修	Oh as a marker of information managementの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
データセッシ	ョン (2)	
事前学修	自身の研究で扱っているデータの概要を整理し、プレゼンテーション用の資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップする。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。	2時間
文献講読:B.	Malinowski, On phatic communion (1)	
事前学修	On phatic communionの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
文献講読:B.	Malinowski, On phatic communion (2)	
事前学修	On phatic communionの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
文献講読:P.	Bourdieu, Language and symbolic power (1)	
事前学修	Language and symbolic powerの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
文献講読:P.	Bourdieu, Language and symbolic power (2)	
事前学修	Language and symbolic powerの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
研究発表(1)		
事前学修	 自身の研究について発表用の資料やハンドアウトを作成し、論理的で分かりやすい説明ができるよう準備する。	2時間
事後学修	授業での質疑応答やフィードバックを振り返り、分析や考察を進める。	2時間
研究発表(2)		
事前学修	自身の研究について発表用の資料やハンドアウトを作成し、論理的で分かりやすい説明ができるよう準備する。	2時間
事後学修	授業での質疑応答やフィードバックを振り返り、分析や考察を進める。	2時間

試験等
タームペーパー
試験のフィードバックの方法
授業内あるいは面談でのフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音相 7 名名 7 元元九山冰在 7 1100 7 1100 7 1100 1100 1100 1100 11
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<必携書> (必携書) (100mm) (
Jaworski, Adam, Nikolas Coupland (eds.) 2014. The Discourse Reader. Routledge, 3rd edition (ISBN: 978-0415629492)
7.0/h. 以西九洛州(H.柯米·木平) 十.7
その他、必要な資料は授業で配布する。
オフィスアワー
火曜4限
質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。
連絡先
uenok@m. ndsu. ac. jp
留意事項
Ped Num 1211 (A.)

<u>国際コミュニケ</u> 授業コード	ーション特論IIA M2420	科目ナンバリング			2単位
担当者氏名	M2420 桑山 敬己	村日チンハリング	開舑平及子粉	2025年度第1期	
時間割備考					
授業形態(主)	1講義				
授業形態(副) 担当形態	単独				
担国形態 研究分野(大学		-ケーション			
本授業の概要					
を教科書として 専門分野(たと 分の時間(90分	使う。同書は序章を えば社会学)にこだ	含めて全20章から構成されてお わることなく、各々の側面に関 まり前期・後期ともに5章を選択	昨年度同様、今年度は前期・後期ともに The り、現代日本文化の諸側面(たとえば第3章は する専門家が執筆している。内容的にも言語は して読む。1コマ目は英語の理解度の確認、25	t言語、第4章は家族、第5章は学校 的にもレベルは高いので無理をせ	交)について、特定の ず、各章につき3コマ
アクティブラー	ニングの実施内容				
如法口槽				対応するディプロマポリシー	
到達目標				(1知識・技能/2思考・判断・	
	に英語圏)で日本が 進める能力を身につ		知ることによって、国際コミュニケーション	知識・技能/思考・判断・表現ス	מ
担当教員 2 ができる。		なので、受講生は主に文化人類	学という特定の専門分野から日本を見ること	知識・技能/思考・判断・表現〉	ħ
発表と討 3	議を通じて大学院生	に相応しい研究を自ら行うこと	を学ぶことができる。	主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1 期末レポー	ート (70%)			1/2	
2 授業中の	発表と議論への貢献	度(30%)		3	
3					
4					
5					
実務経験のある実務経験の授業	教員による授業科目 への活用方法				
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業	事前 .	・事後学修内容と時間		
	e Culture: An Over		ず及丁廖門在こ時间		
事前学修	発表の有無にかかれ	oらず、すべての受講生が授業で	₹取り上げる章に目を通すこと。		2時間
事後学修	授業で説明された概	社念や理論について、事典などで	ざさらに調べること。		2時間
第2回 Japanes	e Culture: An Over	view 2			
		らず、すべての受講生が授業で			2時間
		概念や理論について、事典などで 	ざらに調べること。		2時間
•	e Culture: An Over	view 3 oらず、すべての受講生が授業で	ᇄᆔᆸᅝᅩᆇᇆᄆᆂᅝᅶᆕᆫ		2時間
		では、 すべての 受講生が授業で では、			2時間
		nan, Japanese Culture and the			Σμη [Η]
		oらず、すべての受講生が授業で	·		2時間
		T:念や理論について、事典などで			2時間
第5回 Chapter	1 Concepts of Jap	an, Japanese Culture and the	Japanese 2		
事前学修	発表の有無にかかれ	oらず、すべての受講生が授業で	₹取り上げる章に目を通すこと。		2時間
事後学修	授業で説明された概	T念や理論について、事典などで	ざらに調べること。		2時間

第6回 Chapte	1 Concepts of Japan, Japanese Culture and the Japanese 3	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第7回 Chapte	2 Japan's Emic Conceptions 1	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第8回 Chapte	2 Japan's Emic Conceptions 2	l .
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第9回 Chapte	2 Japan's Emic Conceptions 3	L
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第10回 Chapte	er 3 Language 1	L
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第11回 Chapt	er 3 Language 2	l .
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第12回 Chapt	er 3 Language 3	L .
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第13回 Chapt	er 4 Family Culture 1	l .
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第14回 Chapt	er 4 Family Culture 2	L
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第15回 Chapte	I er 4 Family Culture 3	L
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間

試験等
受講生各自が選択したテーマについて期末レポート(日本語4,000字または英語で相当字数)を作成する。
試験のフィードバックの方法
期末レポートにコメントを付けて返却する。
业。 必携書(教科書販売)
必括音(教科音版元) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱石/名名/光元ル山脈社/Imfd/IoDN/ 殊体性別・Inf-5
なし
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書 Yoshio Sugimoto, ed., The Cambridge Companion to Modern Japanese Culture (Cambridge University Press, 2009).
オフィスアワー
後日発表
連絡先
後日発表
留意事項
上記の教科書(必携)は各自で入手すること。
上記の教科者(必然)は昔日でハナッること。

国際コミュニ [.] 授業コード	<u>ケーション特論IIB</u> M2425	科目ナンバリング			2単位
担当者氏名	M2425 桑山 敬己	14日 / ノハソフツ		2025年度第2期	
時間割備考					
授業形態(主					
授業形態(副) 担当形態) 単 独				
研究分野(大:		ニケーション			
本授業の概要		N.1. 7 D + TIPL - 0 1 - 2 + 5 7 1	吃左连回楼,人左连过老地,终地上去后 孔。	One to the Comment of the Madage	I OI+
を教科書とし 専門分野(た 分の時間(90:	て使う。同書は序章を とえば社会学)にこか	を含めて全20章から構成されてお ごわることなく、各々の側面に関 まり前期・後期ともに5章を選択	昨年度同様、今年度は前期・後期ともに The り、現代日本文化の諸側面(たとえば第3章は する専門家が執筆している。内容的にも言語6 して読む。1コマ目は英語の理解度の確認、2:	t言語、第4章は家族、第5章は学校 的にもレベルは高いので無理をせ	^{技)について、特定の} ず、各章につき3コマ
アクティブラ [.]	ーニングの実施内容				
到達目標				対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	主羽力/2主体性)
	寺に英語圏)で日本か こ進める能力を身につ		知ることによって、国際コミュニケーション		
担当教!	員の専門は文化人類学 る。	学なので、受講生は主に文化人類:	学という特定の専門分野から日本を見ること	知識・技能/思考・判断・表現)	t)
発表と	討議を通じて大学院生	Eに相応しい研究を自ら行うこと :	を学ぶことができる。	主体性	
4					
5					
 成績評価の基	生			対応する到達目標の番号	
1 期末レ	ポート (70%)			1/2	
2 授業中の	の発表と議論への貢献	术度(30%)		3	
3					
4					
5					
実務経験のあ	る教員による授業科目			l	
実務経験の授	業への活用方法				
日本語以外の 授業予定一覧	言語による授業	車 - 4	事後学修内容と時間		
	er 5 School Culture		争伎子修内谷と时间		
事前学修		わらず、すべての受講生が授業で			2時間
事後学修 第2回 Chapte	授業で説明された er 5 School Culture	概念や理論について、事典などで	さらに調べること。		2時間
事前学修		- わらず、すべての受講生が授業で	取り上げる章に目を通すこと。		2時間
事後学修	授業で説明された	概念や理論について、事典などで	さらに調べること。		2時間
第3回 Chapto	er 5 School Culture	3			
事前学修	発表の有無にかかれ	わらず、すべての受講生が授業で	取り上げる章に目を通すこと。		2時間
事後学修		概念や理論について、事典などで	さらに調べること。		2時間
	er 6 Work Culture 1				0-1-00
事前学修		わらず、すべての受講生が授業で			2時間
事後学修 第5回 Chante	授業で説明された er 6 Work Culture 2	概念や理論について、事典などで 	さりに調へること。		2時間
			加リトばる音にロナスナー し		の吐服
事前学修 		わらず、すべての受講生が授業で概念や理論について、事典などで			2時間
平以丁 炒	リスポ くかり ごれいこれ		C 21-mail . O C C 0		도뉴식 [타]

事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
7回 Chapte	er 8 Religious Culture 1	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
8回 Chapte	er 8 Religious Culture 2	I
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
到回 Chapte	er 8 Religious Culture 3	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第10回 Chapt	ter 11 Literary Culture 1	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第11回 Chapt	L ter 11 Literary Culture 2	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第12回 Chapt	Ler 11 Literary Culture 3	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	 授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第13回 Chapt	ter 18 Globalization and Cultural Nationalism 1	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
第14回 Chapt	ter 18 Globalization and Cultural Nationalism 2	
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間
事後学修	授業で説明された概念や理論について、事典などでさらに調べること。	2時間
	ter 18 Globalization and Cultural Nationalism 3	도보기[11]
,		Antes
事前学修	発表の有無にかかわらず、すべての受講生が授業で取り上げる章に目を通すこと。	2時間

試験等
各自が選択したテーマについて期末レポート(日本語4,000字または英語で相当字数)を作成する。
試験のフィードバックの方法
期末レポートにコメントを付けて返却する。
WINCE THE TELL TELL TO TELL TO TELL TELL TELL TE
N## (#1) #FT
必携書(教科書販売) - ****
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書 Yoshio Sugimoto, ed., The Cambridge Companion to Modern Japanese Culture (Cambridge University Press, 2009).
オフィスアワー
後日発表
連絡先
後日発表
留意事項
上記の教科書(必携)は各自で入手すること。

		ーション特論IIIA	[4] ロエン・ジロン・ガ		調業左安労物	単位数	2単位
	コード	M2430 Thomas Fast	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第 1 期	
時間割	割備考						
	杉態(主)	1講義					
授業# 担当#	杉態 (副) 杉態	2 演習 単独					
研究分	分野(大学 業の概要		ニケーション				
foste	ring glob		n students, use of di situations.	gital tools (e.g.		Education (FLE) including: Inqui learn how to apply these theories	
		ニングの実施内容	グループ・ディ	スカッション		対応するディプロマポリシー	
到達目		6			(515)	(1知識・技能/2思考・判断	
1	practice	today.			ucation (FLE) methodologies i		
2	setting.					oom 知識・技能/思考・判断・表現	カ/ 主体性
3	Students	are able to selec	ET FLE Methods for the	eir own current (or future learning situations	s. 知識・技能	
4							
5							
<u>成績</u> 1	平価の基準 Weekly d	iscussion and writ	ten reflections 60%			対応する到達目標の番号 1/2/3	
2	·	entation 20% ent written invest	rigation 20%			3 1/2/3	
3	Tridepend	ent willten invest	.igation 20%			17 27 3	
5							
		教員による授業科目 への活用方法					
日本記	吾以外の言	語による授業		E nglish			
	予定一覧 troductio	n: FLE Methodolog	ioo	事前・事後学修	8内容と時間		
		Student Preparati	on: Read introductory		story and evolution of FLE m	methodologies. Reflect on your own	2 hours
事	後学修	Homework: Write a		alyzing your own		dentifying any methodologies influence your perspective on	2 hours
2. Wh		FLE. s Instruction					
事						ning, speaking, reading, and effectively in an integrated	2 hours
		the chosen skills	a lesson plan segment and how the activiti			ills. Explain your rationale for	2 hours
		icative Teaching	on: Read assigned mat	terials on Commun	nicative Language Teaching (C	ELT), its principles, techniques,	2 hours
		and its emphasis Homework: Develop	on communicative compa communicative acti	petence. ivity or task tha		ssroom. Explain how it promotes	2 hours
Case	Study: Im	interaction and m pact Textbook (Pa	eaningful language us rt 1)	se.			
事					npact" textbook series (or a on and communicative activiti	similar series chosen by the es.	2 hours
		implements commun	icative principles ar			ocusing on how effectively it	2 hours
	•	Impact Textbook					
		tool for communic	ative language teachi	ing.		its strengths and weaknesses as a communicative approach of the	2 hours 2 hours
7	N 1-12	"Impact" textbook			sing odara omianoo tiid	Samuel Court of approach of the	2 11041 0

6. What: Acti	ve Learning & CLIL	
事前学修	Student Preparation: Read assigned materials on Active Learning and Content and Language Integrated Learning (CLIL). Understand the connection between active learning strategies and successful CLIL implementation.	2 hours
事後学修	Homework: Design an active learning activity that could be used in a CLIL context. Specify the content area and the target language skills that will be addressed.	2 hours
. How: Task-	based & Project-Based Teaching	
事前学修	Student Preparation: Read assigned materials on Task-Based Learning (TBL) and Project-Based Learning (PBL). Understand the differences and similarities between these approaches.	2 hours
事後学修	Homework: Develop a task-based or project-based learning activity that could be used in a CLIL classroom. Clearly outline the task or project, the learning objectives, and the assessment criteria.	2 hours
. Case Study	: Model UN (Part 1)	
事前学修	Student Preparation: Research the Model UN format and its potential benefits for language learning and intercultural understanding.	2 hours
事後学修	Homework: Analyze the Model UN as a pedagogical tool. Discuss its potential for promoting active learning, communicative competence, and critical thinking skills.	2 hours
. Case Study	: Model UN (Part 2)	
事前学修	Student Preparation: If possible, observe or participate in a Model UN simulation.	2 hours
事後学修	Homework: Write a reflective report on your Model UN experience, focusing on its effectiveness as a language learning activity and its impact on your understanding of intercultural communication.	2 hours
O. Presentin	g FLE Research	
事前学修	Student Preparation: Review best practices for presenting research findings in the field of FLE.	2 hours
事後学修	Homework: Develop a presentation outline for a research project related to one of the methodologies discussed in the course.	2 hours
1. What: Cul	tural Understanding	
事前学修	Student Preparation: Read assigned materials on the importance of cultural understanding in foreign language education.	2 hours
事後学修	Homework: Reflect on the role of culture in language learning. Discuss how cultural understanding can be integrated into FLE methodologies.	2 hours
2. How: CBT	R CLIL	
事前学修	Student Preparation: Read assigned materials on Culture-Based Teaching (CBT) and its connection to CLIL.	2 hours
事後学修	Homework: Design a lesson plan segment that integrates cultural content into a CLIL lesson. Specify the content area, the target language skills, and the cultural elements that will be addressed.	2 hours
3. Case Stud	y: Storycorps (Part 1)	
事前学修	Student Preparation: Explore the StoryCorps project and its potential for promoting intercultural understanding and language learning.	2 hours
事後学修	Homework: Analyze StoryCorps as a pedagogical tool. Discuss its potential for developing listening skills, promoting empathy, and fostering cultural exchange.	2 hours
4. Case Stud	y: Storycorps (Part 2)	
事前学修	Student Preparation: If possible, create a short StoryCorps-style interview with someone from a different cultural background.	2 hours
事後学修	Homework: Reflect on your StoryCorps experience, focusing on what you learned about the interviewee's culture and how the activity impacted your own cultural understanding.	2 hours
5. Final A ss	essment	
事前学修	Student Preparation: Review all course materials and prepare for the final assessment (e.g., final paper, exam, or project).	2 hours
事後学修	Homework: Complete the final assessment. This could involve a comprehensive exam, a research paper on a specific	2 hours

試験等
Students will be assessed based on their weekly participation in discussions, written reflections and their independent research paper and
presentation on GCED.
試験のフィードバックの方法
Feedback will be ongoing through out the semester and in Week 16.
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
N#
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
Teacher will provide materials. No textbook needed.
Todasion with provide materials. No textended.
オフィスアワー
Office hours will be announced at the first meeting.
連絡先
fast@m. ndsu. ac. jp
留意事項
This is an English only course. Students will be expected to read native level academic texts and discuss them in class .

<u> </u>		<u>-ション特論IIIB</u> 	科目ナンバリング	開講年度学期		2単位
担当者		Thomas Fast		[PUR4 + 1× 1 79]	<u> -> </u>	
時間割						
	態(主) 態(副)	1講義				
担当形	態	単独				
	↑野(大学№ 真の概要	完) 国際コミュニ	ケーション			
This o "globa Studer educat	course wil al-minded" nts will w tion. In p	as well as what a atch videos, read	global and local issues we fa articles and share opinions I investigate GCED for: Inter	and global citizenship education (GCED). ace (e.g. climate change, poverty, immigr with the objective of developing concern cultural Understanding, Peace & Diplomac	ration, gender equity, populat n and compassion. This year's	ion decline, etc). theme will be
アクテ	-ィブラー:	ニングの実施内容	グループ・ディスカッショ	ョン		
到達目	—————————————————————————————————————				対応するディプロマポリシー	
		are familiar with	the recommended Global Citiz	enship Education (GCED) methodologies	(1知識・技能/2思考・判断・ 知識・技能/思考・判断・表現:	
1	in practi	ce today.				
2	classroom	setting.		ies adn how to apply them to a	知識・技能/思考・判断・表現	
3	Students	are able to select	t GCED methods for their own	current or future learning situations.	知識・技能/思考・判断・表現)	力/主体性
4						
5						
	価の基準	: + +			対応する到達目標の番号	
1	weekiy wr	itten reflections	and discussions 60%		1/2	
2	Written i	nvestigation of GO	CED methodologies 20%		1/2/3	
3	GCED Meth	odology Presentati	ion 20%		1/2/3	
5						
	経験のある	対員による授業科目				
		の活用方法				
□ + ==		吾による授業	Iraa ()	ı.		
授業予	定一覧			:n 事後学修内容と時間		
1. Int	troduction	: FLE Methodologie	es II			
事	前学修	Student Prep: Refl education. Read in	ect on previously learned FL troductory materials on GCE	E methodologies. Consider how they inter and its connection to FLE.	sect with global citizenship	2 hours
	ı	nethodologies and		ning your current understanding of the r tions and potential challenges?	elationship between FLE	2 hours
2. Tea	aching Eng	lish in English				
				nges of teaching English in English prog		2 hours
		citizenship compet	the potential impact of EMI encies. Consider equity and Student-Centered Learning	on both language acquisition and the dev access issues.	elopment of global	2 hours
	前学修	Student Prep: Read	l assigned materials on inqui	ry-based learning and student-centered l	earning methodologies.	2 hours
事	後学修	Homework: Design a	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ed in FLE classrooms to promote GCE. t utilizes inquiry-based and student-cen context	tered learning principles to	2 hours
4. Cas		World Heritage (Pa				
事		Student Prep: Rese understanding.	earch the concept of World He	ritage and its connection to cultural pr	eservation and global	2 hours
事	後学修	Homework: Analyze	the World Heritage program a and promoting intercultural	s a tool for GCE. Discuss its potential dialogue.	for fostering respect for	2 hours
		World Heritage (Pa		site December to bistony with the latest the state of the	gnificance and suggest	9 have-
		challenges.		site. Research its history, cultural si at uses the chosen World Heritage site a		2 hours 2 hours
事 1			a lesson plan or activity the concepts through a foreign		s a context for teaching	Z HOUFS

. What: Teach	ning Global Skills	
東並尚格	Ctudent Dwen: December key global skills (exitical thinking callaboration intercultural communication numbers	2 haura
事前学修	Student Prep: Research key global skills (critical thinking, collaboration, intercultural communication, problem-solving, etc.) and their relevance to GCE.	2 hours
事後学修	Homework: Develop a framework for integrating global skills into FLE instruction. Provide specific examples of how these skills can be taught and assessed.	2 hours
How: Global	Ed	
事前学修	Student Prep: Explore various pedagogical approaches to global education (project-based learning, service learning, simulations, etc.).	2 hours
事後学修	Homework: Design a project-based learning activity that addresses a global issue and promotes the development of global skills through foreign language learning.	2 hours
Case Study:	Theory of Knowledge (TOK) (Part 1)	
事前学修	Student Prep: Research the IB Theory of Knowledge (TOK) program and its focus on critical thinking and epistemology.	2 hours
事後学修	Homework: Analyze the TOK program as a model for developing critical thinking skills in a global context. Discuss its strengths and limitations, and consider its applicability to FLE.	2 hours
Case Study:	Theory of Knowledge (TOK) (Part 2)	
事前学修	Student Prep: Consider how TOK principles can be adapted for use in different educational settings and age groups within FLE.	2 hours
事後学修	Homework: Develop a lesson or activity inspired by TOK that could be used to promote critical thinking about global issues in a foreign language classroom.	2 hours
O. Presenting	g FLE Independent Research	
事前学修	Student Prep: Review best practices for presenting research findings in the field of FLE and GCE.	2 hours
事後学修	Homework: Develop a presentation outline for a research project related to one of the methodologies or case studies discussed in the course	2 hours
1. What∶ Digi	tal Skills	
事前学修	Student Prep: Explore the role of digital skills in promoting global collaboration and communication in FLE.	2 hours
事後学修	Homework: Discuss the ethical considerations of using digital technologies in GCE, including issues of digital access, privacy, and online safety within a foreign language learning environment.	2 hours
2. How: COIL	(Collaborative Online International Learning)	
事前学修	Student Prep: Research the principles and practices of COIL.	2 hours
事後学修	Homework: Design a COIL project that connects students from different cultural backgrounds to collaborate on a global issue through the target foreign language.	2 hours
Case Study	v: Story Circles (Part 1)	
事前学修	Student Prep: Research the use of story circles as a tool for intercultural dialogue and understanding.	2 hours
事後学修	Homework: Analyze the potential of story circles for promoting empathy, building relationships, and fostering a sense of global community in the context of FLE.	2 hours
4. Case Study	v: Story Circles (Part 2)	
事前学修	Student Prep: If possible, participate in or facilitate a story circle activity.	2 hours
事後学修	Homework: Write a reflective report on your story circle experience, focusing on its impact on your understanding of global citizenship and intercultural communication within the context of foreign language learning.	2 hours
5. Summary ar	nd Final Assessment	
事前学修	Student Prep: Review all course materials and reflect on the key concepts and methodologies covered.	2 hours
事後学修	Homework: Prepare for the final assessment (e.g., final paper, exam, or project) which will likely synthesize the various components of the course. This could involve a comprehensive analysis of a specific global issue, a comparative study of different FLE methodologies, or the development of a comprehensive GCE-integrated FLE curriculum.	2 hours

試験等
Overall assessment will be determined by weekly written reflections and discussions, in addition to the writingand presentation of an indpendent investigation.
試験のフィードバックの方法
Feedback will be ongoing and provided at the final lesson (week 16).
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
Readings will be provided by the professor. No textbook required.
オフィスアワー Office hours will be announced in class .
office flours with be difficulted in class.
連絡先 fast@m. ndsu. ac. jp
Tastem. Husu. ac. jp
留意事項
This is an English only course. Students will be expected to read native level academic texts and discuss them in class .
This to an Engited only outlook occurred with be expected to read matrix level available texts and disouse them in class.

		ーション演習A				単位数	2単位
	コード 者氏名	M2450 Thomas Fast	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第1期	
時間	割備考						
授業	形態(主)	2 演習					
授業	形態(副)						
担当研究	_{形態} 分野(大学	単独 院〉 ■国際コミュニ	 ニケーション				
本授	業の概要			그 그(-問) 청소ڭ/	Nギナナ田いて研究を送行	するための基礎を修得することを目	ヨめしまる 社会学の
			具体的な研究計画を立案			, v.e., v.e., e.e., e.e.	
アク	ティブラー	ニングの実施内容					
到達	目標					対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	· 耒刊力/3 主体性)
	研究テー	マを設定し、調査計	画を立案・実施するため	こ必要なスキルを修得す	- ることができる。	知識・技能/思考・判断・表現	
1							
2							
3							
4							
5						知識・技能	
成績	 評価の基準					 対応する到達目標の番号	
1		発表 (20%)				1	
2	タームペ	—/ ³ — (80%)				1	
3							
4							
5							
		教員による授業科目 への活用方法					
	語以外の言 予定一覧	語による授業		English 事前・事後学修内容と	時間		
	ntroductio	n		李丽·李俊子廖内 在C	нд [в]		
事	事前学修				earch design and methodo	ologies. Reflect on your own	2 hours
事	事後学修	Homework: Write a	s and potential researc short reflection paper compelling and any ini	outlining your resea		tial research areas, explaining	g 2 hours
2. R	esearch Me		i competiting and any time	trai thoughts on now	you might approach rese	ear Giffing Litelli.	
事	事前学修		on: Review assigned rea er which methodologies m			qualitative, quantitative, mixeo ests.	d 2 hours
事	¥後学修		o a comparative analysis esses, and suitability f			dologies, outlining their	2 hours
Part	icipatory	Observation					
		considerations ar	on: Read assigned mater nd practical strategies.		•		2 hours
		question, the set	a mini-research project ting, your role as a pa			on. Outline the research I your observations.	2 hours
4. F	ieia Note	Techniques					
事	事前学修	Student Preparati reflective notes,	on: Review best practic and coding.	es for taking effect	ve field notes, includi	ng descriptive writing,	2 hours
-	≨後学修	reflective insigh		observing a public s	space or event. Focus or	n detailed descriptions and	2 hours
5. P	hotogra <mark>ph</mark> i	c Observation					
事	事前学修	Student Preparati ethical implicati		photography as a reso	earch method. Consider i	ts strengths, limitations, and	2 hours
事	≨後学修 		a small photographic o onnecting them to potent		related to your research	n interest. Write an analysis	2 hours

6. Interv	ew Techniques	
事前学	Student Preparation: Study different interview techniques (structured, semi-structured, unstructured) and practice developing effective interview questions.	2 hours
事後学	Homework: Develop an interview guide with 10-15 questions related to your research interest. Explain your rationale for choosing each question and the type of information you hope to gather.	2 hours
7. Use of	Media	
事前学	Student Preparation: Consider the various ways media (audio, video, digital) can be used in research, including data collection, analysis, and presentation.	2 hours
事後学	process and its impact on the findings.	2 hours
8. Ethica	Issues in Research and Survey	
事前学	consent, confidentiality, and data security.	2 hours
事後学	address these challenges to ensure ethical research practices.	2 hours
9. Planni	g a Research Project	
事前学	Student Preparation: Review the key components of a research proposal, including research questions, methodology, timeline, and budget.	2 hours
事後学	Homework: Begin drafting a preliminary research proposal outline for your chosen research area.	2 hours
10. Site	election	
事前学	Student Preparation: Consider the factors involved in selecting appropriate research sites, including accessibility, feasibility, and relevance to the research question.	2 hours
事後学	Homework: Identify at least three potential research sites for your proposed project and justify your choices, considering the advantages and disadvantages of each.	2 hours
11. Selec	ion of Research Subjects and Approach	
事前学	Student Preparation: Review different sampling methods and consider how you will recruit participants for your research.	2 hours
事後学	Homework: Develop a sampling plan for your research project, outlining the target population, sampling method, sample size, and recruitment strategies.	2 hours
12. Prepa	ation of Letter of Intent and Consent Form	
事前学	Student Preparation: Study examples of letters of intent and informed consent forms. Understand the legal and ethical requirements for these documents.	2 hours
事後学	Homework: Draft a letter of intent and informed consent form for your research project, ensuring it addresses all ethical considerations and institutional requirements.	2 hours
13. Plann	ng and Conducting the Preliminary Survey	
事前学	Student Preparation: Review best practices for designing and administering surveys, including questionnaire development, pilot testing, and data analysis.	2 hours
事後学	Homework: Develop a preliminary survey instrument for your research project and pilot test it with a small group. Revise the survey based on feedback.	2 hours
14. Compl	tion of Research Plan	
事前学	Student Preparation: Integrate feedback from the preliminary survey and refine your research plan, addressing any remaining methodological or logistical issues.	2 hours
事後学	Homework: Finalize your research plan, incorporating all feedback and revisions. Ensure it is a comprehensive and detailed guide for your research project.	2 hours
15. Summa	у	
事前学	Student Preparation: Reflect on the research process and the knowledge and skills you have gained throughout the course.	2 hours
事後学	Homework: Write a reflective essay summarizing your learning experience in the course, highlighting key takeaways and how you anticipate applying this knowledge to your future research endeavors.	2 hours

試験等	
試験等 Feedback will be provided in Week 16	
II GEGUNAUN IIIII DE PLUVINEU III IIGEN IU	
試験のフィードバックの方法	
Mritten and oral.	
an estati dia Gran.	
必携書(教科書販売)	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
必携書・参考書(教科書販売以外)	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
オフィスアワー	
By appointment	
連絡先	_
fast@m. ndsu. ac. jp	
留意事項	

国際コミ	ュニケ-	-ション演習A				単位数	2単位
授業コー 担当者氏:		M2451 桑山 敬己	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第 1 期	
時間割備	 考						
授業形態	(主)	2 演習					
授業形態	(副)						
担当形態 研究分野		単独	- 				
研究分野 本授業の		完) 国際コミュニ	<u> </u>				
		乂作成に向けて又飛 ゼミ全体で現地調函		-ルトワーク)を行い、	教全で進捗状況を報告する	。教員はそれに対して適切なアドル	ハイ 人を与えるととも
アクティ	ブラー:	ニングの実施内容					
到達目標						対応するディプロマポリシー	ま 用 + / 0 + / + / + / +
修-	十論文化	を成のための知識と	: 技法を身につけることが	できる。		(1知識・技能/2思考・判断 知識・技能/思考・判断・表現	
1	- mm / 1	F7% 07 7 こ 07 07 入口 inx					
2	定したう	テーマについて自ら	5調べることができる。			主体性	
3							
4							
5							
	0 # 2#						
成績評価(期)		-ト(70パーセント	·)			対応する到達目標の番号 1	
1							
2 授	業での多	ě表(30パーセント 	~)			2	
3							
4							
5 実務経験(のある	教員による授業科 目	<u> </u>				
実務経験の	の授業イ	への活用方法					
日本語以	外の言詞	吾による授業		1			
授業予定- 第1週 導	一覧			事前・事後学修内容と	: 時間		
弗 迦 特	ř.A						
事前学	修	進捗状況を報告で	きるように準備すること。				2時間
事後学			論に基づいて資料等を整理	里する。			2時間
第2週 学			だ日数末の進歴を上す				0 p+ 88
事前学事後学			だり発表の準備をする。 論に基づいて資料等を整理	事す る			2時間
第3週 学			調に基 プいて貝科寺を登場	≝୨ବି∘			∠時[申]
事前学			だり発表の準備をする。				2時間
事後学	修	授業中の助言と議	論に基づいて資料等を整理	里する。			2時間
第4週 英	上 語論文	の技法 1					
事前学	修	指定の文献を読ん	だり発表の準備をする。				2時間
事後学	修	授業中の助言と議	論に基づいて資料等を整理	里する。			2時間
第5週 英	·語論文	の技法 2					1
事前学	修	指定の文献を読ん	だり発表の準備をする。				2時間
事後学	修	授業中の助言と議	論に基づいて資料等を整理	里する 。			2時間

事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
週 受講生	I の発表 2 一A	<u> </u>
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
週 受講生		
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
週 学会発	 表の技法	
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
10週 フィー	 -ルドワークの技法 1	
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
11週 フィー	 -ルドワークの技法2	
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
12週 受講生		
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
13週 受講生		/1-/
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
14週 受講生		
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間
15週 全体討	論	•
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言と議論に基づいて資料等を整理する。	2時間

試験等
修士論文に向けた期末レポートの提出
試験のフィードバックの方法
期末レポートにコメントをつけて返却する。
MADA ICA DI EDI CERTO O
N. H. & J. M. S. & Prof. S.
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自福力/自己/ 无无力的队伍/ 阿伯/ 1000/ 从序注别 网络
ー 日英の文献を随時指定
ロスツ人脈で爬町はた
+ 7 × 7 × 0
オフィスアワー
後日発表
連絡先
後日発表
留意事項
調査研究の進展とともに修士論文のテーマは少しずつ変わっていくので、教員とよくコミュニケーションをとること。

<u> </u>	コミューク	<u>ーション演員A</u> M2452	科目ナンバリング	開講	年度学期	2025年度第1期	2年位
	5氏名	植野貴志子	III E V E V E V	100000		[2020 1227 - 70]	
時間害	削備考						
	彡態(主)	2 演習					
授業刑 担当刑	ジ態 (副) ジ能	単独					
研究を		院) 国際コミュニ	ニケーション				
言語、	コミュニ E試みる。		社会をテーマとした文献を購き行いながら個人研究を進め、1			に既存の理論的枠組みを批判的に核を目指す。	食討したうえで、その
到達目] 標					対応するディプロマポリシー	= 17 + / 0 + / + / + /
		社会言語学、関連分	↑野の理論的枠組みを理解し、顚	皇設的な批判が行える。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(1知識・技能/2思考・判断・ 知識・技能/思考・判断・表現	
1							
2	研究テー	マについて適切な方	7法論を設定することができる。			知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
3	独自のデ	一タ分析、考察を行	「い、査読付学術誌に投稿できる	るレベルの論文に仕上げること	とができる。	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
4							
5							
	平価の基準 発表 30					対応する到達目標の番号	
1							
2	ディスカ	ッションへの貢献	30%			1	
3	期末レポ	ート 40%				1/2/3	
4							
5							
実務網	^{圣験のある}	教員による授業科目					
実務網	圣験の授業	への活用方法					
	吾以外の言 7定一覧	語による授業	事前	・事後学修内容と時間			
	トロダクシ	ョン	1				
事	前学修	自身の研究テーマに	こついて簡潔に説明できるよう	準備する。			2時間
事	後学修	教科書のイントログ	ダクションを読んで重要事項を	まとめる。			2時間
Pragm	atics and	philosophy (1)					
事	前学修	Pragmatics and ph	ilosophy の前半を精読する。:	発表担当者は要点をまとめた。	ハンドアウトを	作成する。	2時間
	後学修		フードを復習する。授業での議	論を振り返り、自分の考えを	整理する。		2時間
		philosophy (2)					_
			ilosophy の後半を精読する。:			·作成する。 	2時間
	後学修		フードを復習する。授業での議	論を振り返り、目分の考えを:	整埋する。 		2時間
		psychology (1) Pragmatics and ps	ychologyの前半を精読する。発	表担当者け悪占を主レめたが	いいドアウト を	作成する。	2時間
	削子修 		ychologyの削手を精読する。第 フードを復習する。授業での議			F1% 7 'O' o	2時間
		psychology (2)	ノー・ログロッ 句。 1文末 5 分議	am e ws y ぬ y 、 日 J V	正 在り の。		∠ ⊬寸 [申]
		Pragmatics and ps	ychologyの後半を精読する。発	《表担当者は要点をまとめた <i>)</i> 	ヽンドアウトをイ	作成する。	2時間
事	後学修	重要な語彙やキー「	フードを復習する。授業での議	論を振り返り、自分の考えを	整理 <mark>する。</mark>		2時間
				·			

ータセッショ		
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップ する。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。フィードバックをもとにデータの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
·ータセッショ) × (2)	
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップ する。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。フィードバックをもとにデータの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
ragmtics and	human ethology (1)	
事前学修	Pragmtics and human ethology の前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
ragmtics and	human ethology (2)	
事前学修	Pragmtics and human ethology の後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
ragmtics and	ethonology (1)	
事前学修	Pragmtics and ethonologyの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
ragmtics and	ethonology (2)	
事前学修	Pragmtics and ethonologyの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
データセッショ	ン (3)	
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップ する。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。フィードバックをもとにデータの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
データセッショ	ン (4)	
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップ する。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックを整理する。フィードバックをもとにデータの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
長り返り・まと	: Ø	
事前学修	授業で扱った章を振り返り、疑問点をまとめておく。	2時間
事後学修	授業中のディスカッション内容を振り返り、重要なポイントを整理する。	2時間
]人面談		
事前学修	自身の研究の進捗状況、疑問点、課題、今後の計画をまとめておく。	2時間
事後学修	フィードバックに基づき、研究方法や計画の見直しをする。	2時間

試験等
期末レポート
 試験のフィードバックの方法
授業内あるいは面談でのフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
N#
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<必携書>
Senft, Gunter. 2014. Understanding Pragmatics. Routledge. (ISBN: 978-1444180305)
The state of the s
その他、必要な資料は授業で配布する。
<参考書>
Haugh, Michael, Dániel Z. Kádár, Marina Terkourafi (eds.) 2021. The Cambridge Handbook of Sociopragmatics. Cambridge University Press. (ISBN: 978- 1108954105)
1100904100)
オフィスアワー
火曜日4限
質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。
連絡先
uenok@m. ndsu. ac. jp
留意事項

<u>国際コミュニケ</u> 授業コード	<u>ーション演習B</u> ■M2455		開講年度学期		2単位
担当者氏名	Thomas Fast	19467277	一貫の機士以下列	2023年反先 2 朔	
時間割備考					
授業形態(主)	2 演習				
授業形態(副) 担当形態	2 演習 単独				
研究分野 (大学 本授業の概要		ニケーション			
中で用いられる		ュニケーションに関するテーラ 具体的な研究計画を立案し、対		遂行するための基礎を修得することを目 対応するディプロマポリシー	的とする。社会学の
到達目標				(1知識・技能/2思考・判断・	
研究テー 1 1	マを設定し、調査計	画を立案・実施するために必要	ēなスキルを修得することができる。 	知識・技能/思考・判断・表現力	力/主体性
2					
3					
4					
5					
成績評価の基準授業での	発表(20%)			対応する到達目標の番号	
1					
2 タームペ	−/ \$− (80%)			1	
3					
4					
5					
実務経験のある	教員による授業科目				
実務経験の授業	への活用方法				
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業	Engl 事前	ish ・事後学修内容と時間		
	ndings: Answering		・ 争攻子修内台 2 时间		
	Student Preparati supporting eviden		alysis related to Research Question	1. Outline the key findings and	2 hours
		he section of your thesis t using tables and figures who	nat presents the findings for Resear ere appropriate.	ch Question 1. Focus on clear and	2 hours
2. Drafting Fi	ndings: Answering	Research Q 2			
	supporting eviden	ce.	alysis related to Research Question		2 hours
		at with the previous section	nat presents the findings for Resear n.	ch Question 2. Maintain consistency	2 hours
	supporting eviden	ce.	alysis related to Research Question	,	2 hours
	flow and connecti	on between the findings of		ch question 3. Ensure a logical	Z Hours
4. Drafting Fi	ndings: Chapter Co	onclusion			
	•	_	presented in the chapter. Identify		2 hours
	Homework: Draft a question and synt nclusion: Summariz	hesizes them into a cohesive	findings chapter that summarizes the narrative.	e key findings for each research	2 hours
	Student Preparati findings.	on: Review your entire thes	s draft, focusing on the research q	uestions, methodology, and key	2 hours
事後学修		he first part of your thesis methods used, and the most		ch conducted, including the purpose	2 hours

6. Drafting Co	onclusion: Implications	
事前学修	Student Preparation: Consider the broader implications of your research findings. How do they contribute to the existing body of knowledge? What are the practical implications of your findings?	2 hours
事後学修	Homework: Draft the section of your conclusion that discusses the implications of your research. Be specific and avoid overstating the significance of your findings.	2 hours
. Drafting Co	onclusion: Limitations, Suggestions for Further Study, Conclusion	
事前学修	Student Preparation: Critically evaluate the limitations of your research. Identify areas for future research.	2 hours
事後学修	Homework: Draft the final section of your conclusion, addressing the limitations of your study, suggesting directions for future research, and offering a final concluding statement that summarizes the key contributions of your thesis.	2 hours
. Finalizing	Table of Contents and Abstract	
事前学修	Student Preparation: Review the formatting guidelines for your institution. Ensure your table of contents and abstract are accurate and adhere to the guidelines.	2 hours
事後学修	Homework: Finalize your table of contents and abstract. The abstract should be a concise summary of your entire thesis.	2 hours
. Finalizing	thesis draft and turn in	
事前学修	Student Preparation: Proofread your entire thesis draft carefully, paying attention to grammar, spelling, punctuation, and style.	2 hours
事後学修	Homework: Submit your final thesis draft.	2 hours
O. Revising t	hesis	
事前学修	Student Preparation: Review feedback received on your submitted draft.	2 hours
事後学修	Homework: Begin revising your thesis based on the feedback received.	2 hours
1. Revising t	hesis	
事前学修	Student Preparation: Continue working on revisions based on feedback.	2 hours
事後学修	Homework: Continue revising your thesis, focusing on addressing the most significant feedback first.	2 hours
2. Revising t	hesis	
事前学修	Student Preparation: Review any remaining feedback and make final revisions.	2 hours
事後学修	Homework: Finalize revisions and prepare your thesis for the oral defense.	2 hours
3. Oral Defer	nse Preparation: Slides	
事前学修	Student Preparation: Prepare a presentation summarizing your thesis, highlighting the key research questions, methodology, findings, and conclusions.	2 hours
事後学修	Homework: Create your presentation slides, ensuring they are clear, concise, and visually appealing. Practice your presentation.	2 hours
4. Interview	Practice: Presentation	
事前学修	Student Preparation: Practice delivering your presentation and answering potential questions from the committee.	2 hours
事後学修	Homework: Conduct a practice presentation with peers or mentors, soliciting feedback on your delivery and content.	2 hours
5. Interview	Practice: Q&A	
事前学修	Student Preparation: Anticipate potential questions from the committee and prepare thoughtful responses.	2 hours
事後学修	Homework: Practice answering questions related to your thesis. Focus on articulating your research clearly and	2 hours
	confidently.	

ti 除生
試験等 Feedback will be given on Week 16.
GOUNDON WILL NO BIRCH OIL HOCK ID.
試験のフィードバックの方法
Oral and Written
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
가#キ 소·소·
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
青箱石/者名/光元兀山版任/100M/保体性別・佣名
オフィスアワー By appointment
y apportunion:
車絡先
fast@m. ndsu. ac. jp
留意事項

国際コ	ミュニケ	ーション演習B			単位数	2単位
授業コ 担当者		M2456 科目ナンバリング 桑山 敬己		開講年度学期	2025年度第2期	
時間割	備考					
授業形	態(主)	2演習				
担当形	態(副)	単独				
研究分	野 (大学 の概要	院) 国際コミュニケーション				
演習AI る。	こ続き、党	受講生は修士論文作成に向けて文献調査と現	地調査(フィールドワーク)を行い、教室で進捗状	況を報告する。晩秋には論文の草 々	湯を仕上げるようにす
アクテ	・ィブラー	ニングの実施内容				
到達目	標				対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1	修士論文	作成のための知識と技法を身につけることが	ができる。		知識・技能/思考・判断・表現	
2	設定した	テーマについて自ら調べることができる。			主体性	
3						
4						
5						
	価の基準				対応する到達目標の番号	
1	進捗状况	の報告(50パーセント)				
2	修士論文	の草稿の提出(50パーセント)			2	
3						
4						
5						
実務経	経験のある	教員による授業科目 への活用方法				
<i>2</i> (1)/11/12						
□ ★ = = =	미비스를	= 五1− ► Z +☲ 쌀				
授業予	定一覧	語による授業	事前・事後学修内容と時	目		
第1週	導入					
		進捗状況を報告できるようにする。				2時間
事行	後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理	理する。			2時間
第2週	学術論文	ての形式				
事育	前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。				2時間
		授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理	理する。			2時間
第3週	英語論文					
		指定の文献を読んだり発表の準備をする。				2時間
		授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理 	埋する。			2時間
		指定の文献を読んだり発表の準備をする。	TH + 7			2時間
		授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理	垤 9 句。			2時間
)発表 2 -A				A-+-55
		指定の文献を読んだり発表の準備をする。	TII 7			2時間
事行	後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理	埋りる。			2時間

	The second secon	
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
週 エスノ	グラフィを書く 1	
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
週 エスノ		
事前学修	指定の文献を読んだり発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
9週 修士論	】 文の草稿の発表と講評 1 −A	
事前学修	発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
10週 修士記	┃ 論文の草稿の発表と講評2−A	
事前学修	発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
11週 修士記	」 論文の草稿の発表と講評3−A	
事前学修	発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
12週 修士記	」 倫文の草稿の発表と講評 1 −B	
事前学修	発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
13週 修士詞	 全文の草稿の発表と講評2−B	
事前学修	発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
14週 修士詞	 論文の草稿の発表と講評3−B	
事前学修	発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間
15週 学会 勢	 発表の可能性を探る	
事前学修	指定の文献を読む。	2時間
事後学修	授業中の助言や討論に基づいて資料等を整理する。	2時間

試験等
修士論文の草稿を提出する。
試験のフィードバックの方法
修士論文の草稿にコメントをつけて返却する。
<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>
と
音相句/ 有句/ 光光光山版性/ IIIIT/ ISBN/ 殊体性別、開布
なし
业 必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音相 7 名 17 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元
ー 日英の文献を随時指定
ロスV A M C M C M C M C M C M C M C M C M C M
オフィスアワー
後日発表
連絡先
後日発表
留意事項
調査研究の進展とともに修士論文のテーマは少しずつ変わっていくので、教員とよくコミュニケーションをとること。

<u>国際コミュニケ</u> 授業コード		開講年度学期		2単位
担当者氏名	M2457	刑調平度子期	2025年度第2期	
時間割備考				
授業形態(主)	2 演習			
授業形態(副) 担当形態				
<u> </u>				
セッションを行	会をテーマとした文献を購読し、理論的枠組みと論点いながら個人研究を進め、査読付学術誌に投稿できる ニングの実施内容	いベルの論文作成を目指す。	を批判的に検討したうえで、その展	開を試みる。データ
 到達目標			対応するディプロマポリシー	
	社会言語学、関連分野の理論的枠組みを理解し、建設	かたは出が行って	(1知識・技能/2思考・判断・ 知識・技能/思考・判断・表現:	
1	4.云音品子、例连ガ野の柱端の竹柏のでと4.所じ、建設	はなるはける。	和戚"汉祀》心为"刊闻"级统	57 主体住
研究テー 2	マについて適切な方法論を設定することができる。		知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
独自のデ 3	- タ分析、考察を行い、査読付学術誌に投稿できるレ	ベルの論文に仕上げることができる。	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1 発表 30	%		l	
2 ディスカ	ッションへの貢献 30%		1	
期末レポ	- h 40%		1/2/3	
3 7777				
4				
5				
実務経験のある 実務経験の授業	教員による授業科目 への活用方法			
日本語以外の言 授業予定一覧		事後学修内容と時間		
☆未ァた一見 イントロダクシ		尹伎子修内台と时间		
+ ** ** **		*		0.04.88
事前学修	自身の研究テーマについて簡潔に説明できるよう準値	前する。		2時間
事後学修	教科書のイントロダクションを読んで重要事項をまと	: める。		2時間
Pragmatics and	sociology (1)			
事前学修	Pragmatics and sociologyの前半を精読する。発表担	旦当者は要点をまとめたハンドアウトを作	成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を	を振り返り、自分の考えを整理する。		2時間
	sociology (2)			
	Pragmatics and sociologyの後半を精読する。発表担		:成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を	を振り返り、自分の考えを整理する。		2時間
Pragmatics and				
	Pragmatics and politicsの前半を精読する。発表担		双する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を	と 振り返り、目分の考えを整埋する。		2時間
Pragmatics and		业老け面占ませしめも ヽ パラエリナル -	ホナス	O ICIL BE
	Pragmatics and politicsの後半を精読する。発表担		ሂያ 3 。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を	r 派ッ巡ッ、日ガUI考えを登埋する。 		2時間

ータセッショ		
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップ する。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックをまとめる。データの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
タセッショ	aン (2)	
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップ する。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックをまとめる。データの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
nderstanding	pragmatics (1)	
事前学修	Understanding pragmaticsの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
nderstanding	pragmatics (2)	
事前学修	Understanding pragmaticsの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
mancipatory	pragmatics (1)	
事前学修	Emancipatory pragmaticsの前半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
mancipatory	pragmatics (2)	
事前学修	Emancipatory pragmaticsの後半を精読する。発表担当者は要点をまとめたハンドアウトを作成する。	2時間
事後学修	重要な語彙やキーワードを復習する。授業での議論を振り返り、自分の考えを整理する。	2時間
データセッショ	1 1 × (3)	
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップする。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックをまとめる。データの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
データセッショ	i ン (4)	
事前学修	研究データの概要を整理し、プレゼンテーション用のスライドや資料を作成する。議論したい点(疑問や課題)をリストアップ する。	2時間
事後学修	データセッションで得たフィードバックをまとめる。データの整理方法や分析手法を見直す。	2時間
固人面談		
事前学修	自身の研究の進捗状況、疑問点、課題、今後の計画をまとめておく。	2時間
事後学修	フィードバックに基づき、研究方法や計画の見直しをする。	2時間
人面談		
事前学修	自身の研究の進捗状況、疑問点、課題、今後の計画をまとめておく。	2時間
事後学修	フィードバックに基づき、研究方法や計画の見直しをする。	2時間

試験等
期末レポート
試験のフィードバックの方法
授業内あるいは面談でのフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<必携書> Senft, Gunter. 2014. Understanding Pragmatics. Routledge. (ISBN: 978-1444180305)
その他、必要な資料は授業で配布する。
<参考書> Haugh, Michael, Dániel Z. Kádár, Marina Terkourafi (eds.) 2021. The Cambridge Handbook of Sociopragmatics. Cambridge University Press. (ISBN: 978- 1108954105)
オフィスアワー
火曜日4限 質問や面談のアポイントメントは随時メールで受け付ける。
連絡先
uenok@m. ndsu. ac. jp
留意事項

<u>翻訳字特論A</u> 授業コード	M2460	科目ナンバリング	開講年度学期		2単位
担当者氏名	木津 弥佳	存日 / ンハリン /	浙語 十 及 于 拗	2023年及第1朔	
時間割備考					
授業形態(主)	1講義				
授業形態(副) 担当形態					
研究分野 (大学)					
る必要があるの 評価し、翻訳プ 考える。	かを考察する。ま <i>f</i> ロセスを論理的に言	た、翻訳スキルや翻訳ストラテジ 说明できる力を養う。具体的なト	文化・社会的背景を認識し、英語から日才 一のみならず、それらがどのような翻訳理 ピックとして、句や文レベルとテキスト間	型論を基盤としているのかを学び、	自身の翻訳を客観的に
アクティフラー	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	ョン		
到達目標				対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	
英日・日	英翻訳の高度な能力	りを身につける。		知識・技能/思考・判断・表	
1					
英語と日	本語の言語的・文化	と社会的違いを認識して、翻訳にん	反映させることができる。	知識・技能/思考・判断・表現	現力/主体性
翻訳の際の	の課題を系統立てで	て説明できる。		知識・技能/思考・判断・表現	見力/主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1 Presentat	tion 20%			1/2/3	
2 Translati	on 30%			1/2/3	
3 Commentar	y 50%			1/2/3	
4					
5					
	教員による授業科目 への活用方法				
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業	東前 •	事後学修内容と時間		
1 Orientation		于 III 1	学校子1971日に時 日		
事前学修	テキストを読み	翻訳学について考えをまとめてお	₹.		2時間
		バックをもとに、課題の解答を省			2 時間
	技来中のフィート。 to translation s		余りる。 		∠ 時 目
		レジュメにまとめる。			2時間
					2時間
事後子廖 3 Propositiona		バックをもとに、課題の解答を省	余りる。		∠ 時间
		レジュメにまとめる。 			2 時間
		バックをもとに、課題の解答を省	察する。		2 時間
	neaning, expressi				
		レジュメにまとめる。			2 時間
		バックをもとに、課題の解答を省	察する。 		2 時間
5 Indexical mea	aning				
事前学修	テキストを読み、	レジュメにまとめる。			2 時間
事後学修	授業中のフィード	バックをもとに、課題の解答を省	察する。		2 時間

Symbolic, a	Ilusive, associative and collocative meaning	
+ ** ** **		2 84 88
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
Textual mea	ning, figurative meaning	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
Speech acts	ambiguity and vagueness	•
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
How to writ	e a commentary	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
O Narrative	discourse	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
1 Procedural	expository, descriptive, hortatory, repartee discourse, etc.	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2時間
2 Seven type	s of translation technique	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
3 Omission i	translation, Information addition/deletion and offsetting, etc.	I
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
4 Summary	<u> </u>	
事前学修	これまでの内容を振り返り、疑問点を洗い出す。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
5 Peer revie	I N	
事前学修	翻訳を批評する。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
口頭と書面によるフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈参考書〉
Hasegawa, Yoko (2012) The Routledge Course in Japanese Translation. Routledge.
鳥飼玖美子(編著)(2013) 『よくわかる翻訳通訳学』ミネルヴァ書房. Baker, Mona (1992) In Other Words: A Coursebook on Translation. Routledge.
Munday, Jeremy (2008) Introducing Translation Studies: Theories and Applications [2nd edition]. Routledge.
manually obtains (2000) The obtaining the interest of obtaining the interest of the obtaining the obtain
オフィスアワー
By appointment
連絡先
mikakizu@m.ndsu.ac.jp
留意事項
履修登録を希望する人は、登録前に担当教員まで申し出てください。

謝訳字特論B						2単位
受業コード 担当者氏名	M2462 木津 弥佳	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第2期	
時間割備考						
受業形態(主)	1講義					
受業形態(副) 担当形態	単独					
四国形態 研究分野(大学)						
本授業の概要			- 1 - 2 1 - 1		> = 1 - = 1 1 1 = 1 - = 1	
考慮する必要が 観的に評価し、 とができるよう	あるのかを考察する 翻訳プロセスを論理 こする。	。また、翻訳スキルや翻訳	Rストラテジー	化・社会的背景を認識し、英語かのみならず、それらがどのようなで提唱されてきた翻訳理論を概観	お翻訳理論を基盤としている	のかを学び、自身の翻訳を客
	ニングの実施内容	グループ・ディスカ	リッション		対応するディプロマポリ	15-
到達目標						・判断・表現力/3主体性)
	英翻訳のさらに高度	な能力を身につける。			知識・技能/思考・判断	断・表現力/主体性
1						
英語と日2	本語の言語的・文化	社会的違いを認識して、よ	り正確に翻訳	に反映させることができる。	知識・技能/思考・判断	新・表現カ <i>/</i> 主体性
	の課題を翻訳理論に	.基づいて説明できる。			知識・技能/思考・判断	断・表現力/主体性
3						
4						
5						
或績評価の基準					対応する到達目標の番号	号
1 Presentat	ion 20%				1/2/3	
2 Translat	on 30%				1/2/3	
3 Commentar	y 50%				1/2/3	
4						
5 実務経験のある	教員による授業科目	<u> </u>	1			
実務経験の授業			•			
日本語以外の言	語による授業		東芸 東後登場	大中南上叶 明		
受業予定一覧 I Introduction			事前・事後学的	参内谷と時间		
本	1 世の佐丽ナーでも	2				0.01188
事前学修	1期の復習をしてお					2 時間
事後学修	授業中のフィードバ	ヾックをもとに、課題の解 額	答を省察する。			2 時間
2 Pre-modern t	ranslation theorie	es 1				
事前学修	テキストを読み、し	_{ンジュメにまとめる。}				2 時間
事後学修	授業中のフィードノ	ヾックをもとに、課題の解答	答を省察する。			2 時間
3 Pre-modern t	ranslation theorie	es 2				•
事前学修	テキストを読み、し	_{ンジュメにまとめる。}				2 時間
事後学修	授業中のフィードノ	ヾックをもとに、課題の解 額	答を省察する。			2 時間
1 Mid-twentiet	n century transla	tion theories 1				
事前学修	テキストを読み、し	<i>、</i> ジュメにまとめる。				2 時間
事後学修	授業中のフィードノ	ヾックをもとに、課題の解 符	答を省察する。			2 時間
Mid-twentiet	n century transla	tion theories 2				
事前学修	テキストを読み、し	_{ンジュ} メにまとめる。				2 時間
事後学修	授業中のフィードノ	ヾックをもとに、課題の解 符	答を省察する。			2 時間
						<u> </u>

Skopos theo	ry i	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
Skopos theo	ry 2	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
Negative an	alytic 1	I
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
Negative an	alytic 2	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
O Recent app	roaches 1	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
1 Recent app	roaches 2	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
2 The transl	ation situation 1	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
3 The transl	ation situation 2	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
4 Reading th	e source text	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2 時間
5 Translatio	n evaluation	
事前学修	テキストを読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに、課題の解答を省察する。	2時間

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法 ロ頭と書面によるフィードバック
口頭と音曲によるフィードバック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<参考書>
Hasegawa, Yoko (2012) The Routledge Course in Japanese Translation. Routledge. 鳥飼玖美子(編著)(2013)『よくわかる翻訳通訳学』ミネルヴァ書房. Baker, Mona (1992) In Other Words: A Coursebook on Translation. Routledge. Munday, Jeremy (2008) Introducing Translation Studies: Theories and Applications [2nd edition]. Routledge.
オフィスアワー
By appointment
連絡先
度報元 mikakizu@m.ndsu.ac.jp
The state of the s
留意事項
履修登録を希望する人は、登録前に担当教員まで申し出てください。

授業コード M2465 科目ナンバリング 開講年度学期 2025年度第 1 期	
世ョ有広右 オンライン	
授業形態(主) 1 講義 授業形態(副) 1	
担当形態 単独	
研究分野(大学院) 実践翻訳 本授業の概要	155 AME
本授業では、年少者向け教育・初等教育・中等教育・高等教育・翻訳者養成コースなど、様々な教育分野での翻訳の活用について考察する。を扱った論文(英語・日本語)を読み込み、ディスカッションを通して、翻訳教育に関する知見を深める。また、学んだ知見をもとに、自ら庭・地域・教育等でどう翻訳教育を活用していけるかを考え、発表し、レポートにまとめる。 本授業は、外国語教育に興味のある者のみならず、翻訳通訳者養成に携わりたい者、子どものバイリンガル教育に興味のある者や、在住外間る者などにとっても、どう自分の環境に翻訳を応用していくかを考えるきっかけとなるものである。	らが現在または将来、家
アクティブラーニングの実施内容 グループ・ディスカッション	
対応するディプロマポリシ (1知識・技能/2思考・3	
様々な場面でどう翻訳教育が使用されているかについて理解できる。 知識・技能 1	
現在・将来の自分の生活に翻訳教育をどう応用していけるかを具体的に説明できる。 思考・判断・表現カ/主体 2	性
英語・日本語の文献を読み込み、その内容を正確に理解した上で、内容について自分の意見を述べること 思考・判断・表現力 3 ができる。	
複数の文献を読み込んだうえで、それに基づき発表・レポートの作成ができる。 思考・判断・表現力/主体 4	性
5	
成績評価の基準 対応する到達目標の番号 1/3 1/	
2 課題 (20%)	
3 発表 (20%) 2/4	
4 レポート (20%)	
5	
実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の授業への活用方法	
日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 事前・事後学修内容と時間	
1. 自己紹介・クラスの流れ・翻訳教育に関するブレインストーミング	
事前学修なし	0時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
事前学修 課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
	
事前学修課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
4. 初等教育での翻訳の活用	
事前学修課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
5 複言語教育と翻訳の活用	Ont 88
事前学修課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間

6. 中等教育での翻訳の活用①: 文法訳読法とその批判	
事前学修課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
 7. 中等教育での翻訳の活用②:英語教育での実践例	
事前学修課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
 8. 高等教育での翻訳の活用①:日本語教育での実践例	
事前学修 課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
9. 高等教育での翻訳の利用②:文芸翻訳とクリエイティブライティング	
事前学修課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
10. 高等教育での翻訳の活用③: 視聴覚翻訳	
事前学修 課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
11. 翻訳の専門教育: 学部向けコース	
事前学修 課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
12. 翻訳の専門教育:院生向けコース	
事前学修課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
13. 手話と翻訳教育	
事前学修 課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
事前学修 課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
事前学修発表の準備をする。	2時間
事後学修 発表内容をレポートにまとめる。	2時間

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
レポートについては教員のコメントをメール等で送付する。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈参考書〉 Laviosa, S., & Davies, M. G. (eds.). (2020). The Routledge handbook of translation and education. Routledge. Venuti, L., (ed.). (2016). Teaching translation: Programs, courses, pedagogies. Routledge. 野原 佳代子 (2014)『ディスカッションから学ぶ翻訳学』三省堂.
オフィスアワー
Zoomでの授業後に質問を受け付ける。また、メールでも随時質問を受け付ける。
連絡先
g-eiko@okinawa-u.ac.jp
留意事項
シラバスは、履修学生の興味分野によって変更する可能性がある。

翻訳教育特論B 授業コード	M2467 科目ナンバリング	単位数 2025年度第2期	2単位
担当者氏名	M246/	2020平度第2期	
坦 日	ナンニスン		
時間割備考	オンライン		
授業形態 (主) 授業形態 (副)	1講義		
担当形態	单独		
研究分野(大学 本授業の概要	15 Accession .		
は、前期で学ん ルシア他著、明 返りをレポート		らの複数言語を活用した学校教師の実践 ごう翻訳教育を実践するかを模擬授業の	』(オフィーリア・ガ 形で実践し、その振り
	語教育に興味のある者のみならず、将来翻訳通訳者養成に携わりたい者、子どものバイル とっても、どう自分の環境に翻訳を応用していくかを考えるきっかけとなるものである。		国人のサホートを考え
アクティブラー	ニングの実施内容 グループ・ディスカッション		
到達目標		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	・表現力/3主体性)
様々な場 1	面でどう翻訳教育が使用されているかについて理解できる。	知識・技能	
現在・将:	来の自分の生活で翻訳教育を実践できるようになる。	思考・判断・表現力/主体性	
英語・日: 3 ができる	本語の文献を読み込み、その内容を正確に理解した上で、内容について自分の意見を述べ 。	ること 思考・判断・表現力	
複数の文 4	献を読み込んだうえで、それに基づき発表・レポートの作成ができる。	思考・判断・表現力/主体性	
5			
成績評価の基準授業時の	議論への参加 (40%)	対応する到達目標の番号 1/3	
1			
2 課題(209	6)	1/3	
3 発表 (20)	6)	2/4	
4 レポート	(20%)	2/4	
5			
実務経験のある	教員による授業科目		
実務経験の授業	への活用方法		
日本語以外の言	語による授業		
授業予定一覧 1 自己紹介・2	事前・事後学修内容と時間プラスの流れ・前期の復習		
			0.04.55
事前学修	なし		0時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。		2時間
2. トランスラン	レゲージング・クラスルーム−教室環境と目的 		1
事前学修	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。		2時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。		2時間
	ランスランゲージング・クラスルームの枠組み		Ant 55
	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。		2時間
	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。		2時間
	- ミック・バイリンガリズムを記録する		
	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。		2時間
	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。		2時間
	アゲージング・スタンス 質問た老ラス 祭主切出者け祭また進催する		2時間
	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。 授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。		2時間
平以丁 昣	1人ホミン/1ハルファコンと班ソペンと、日月971本ルとみに切る。		∠ ⊬寸 [申]

指導におけ	るトランスランゲージング・デザイン	
事前学修	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
アセスメン	トにおけるトランスランゲージング・デザイン	
事前学修	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
トランスラ	 ンゲージング教育論の実践	
事前学修	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
トランスラ	 ンゲージング・クラスルームと指導のスタンダード	
事前学修	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
). トランスラ	ランゲージング・クラスルームにおける教科学習内容に関わるリテラシー	
事前学修	 課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
	ランゲージング・クラスルームにおけるバイリテラシー	
事前学修	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
	「大学でのディスグランコンを振り返うで、日内の恋力をよこのも。 	Z H1] [H]
事前学修	課題の文献を読み込み、質問を考える。発表担当者は発表を準備する。	2時間
事後学修 3. 模擬授業 <i>0</i>	授業でのディスカッションを振り返って、自分の意見をまとめる。	2時間
事前学修	模擬授業の教案を作成する。	2時間
事後学修	クラスでのディスカッションを振り返って、教案を修正する。	2時間
模擬授業0	D発表と振り返り	
事前学修	模擬授業の準備をする。	2時間
事後学修	模擬授業を振り返って、良かった点や改善点をまとめる。	2時間
5. クラスのま	とめ	·
事前学修	クラスで学んだことについて自分の意見をまとめる。	2時間
事後学修	模擬授業の振り返りをレポートにまとめる。	2時間

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
レポートについては教員のコメントをメール等で送付する。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
オフィーリア・ガルシア他(著)佐野愛子・中島和子(監訳)『トランスランゲージング・クラスルーム―子どもたちの複数言語を活用した学校教師の実践』明石書店
Laviosa, S., & Davies, M. G. (eds.) (2020) The Routledge handbook of translation and education. Routledge.
オフィスアワー
Zoomでの授業後に質問を受け付ける。また、メールでも随時質問を受け付ける。
Table to
連絡先 g-eiko@okinawa-u. ac. jp
g-e-rko@okinawa-u. ac. jp
留意事項
シラバスは、履修学生の興味分野によって変更する可能性がある。

翻訳実践選 授業コート		M2470 科目ナンバリング	開講年度学期		2単位
担当者氏名		小笠原 ヒロ子	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1	
時間割備者	考				
授業形態		2演習			
授業形態 担当形態	(副)	 単独			
研究分野	(大学院				
ション、ノ ずに、自然	スの目的 ノンフィ 然な日本		に翻訳ができる高度な翻訳スキルを取得、開拓してトを取り扱っていく。このコースでは英語のテキス		
		フルーフ・ティスク		対応するディプロマポリシー	
到達目標				(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
英語 1 る。		ストの形式、内容、意味を評価し、それを資	適切な日本語に翻訳する方法を考えることができ	知識・技能/思考・判断・表現プ	力/主体性
翻部	尺に必要:	な資料、辞書等を有効に活用して、翻訳する	ることができる。	知識・技能/思考・判断・表現ス	カ/主体性
		Dテキストのスタイルに合致した日本語を した上で、作者が意図した通りの日本語に	選び、またオリジナルの英語の内容、ニュアンスを 翔訳ができる。	知識・技能/思考・判断・表現プ	カ/主体性
4	か翻訳	」た際に心掛けたことを文書でも、口頭で≒	も説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現フ	カ/主体性
5					
成績評価0				対応する到達目標の番号	
1 注制	尺付き二.	ュース記事の翻訳 30%		1/2/3/4	
2		兑エッセイの翻訳 30%		1/2/3/4	
3 注彩	尺付きシ	ョートストーリーの翻訳 40%		1/2/3/4	
4					
5					
		員による授業科目 D活用方法	実務あり		
講師は、学はどのよう	学術論文 うに心掛	医学論文、体験書、報告書、マニュアル、 けたらよいのかを学生に伝える	、パンフレット、カタログ、法律文書等の翻訳経験	がある。その経験を通して、読者	にわかりやすい翻訳
日本語以9 授業予定-		こよる授業	 事前・事後学修内容と時間		
		ョン: 基本的な英語の文章を日本語に翻			
事前学		題を毎週だすので、学生はテキストを読み ィスカッションを行う。	、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授	業中は翻訳した内容についての	1.5-2.5時間/週
事後学	修授	業中に訳したテキストをもう一度授業後に	訳す。		1.5時間/週
2. 英語に	こよる対	話を日本語に翻訳する: 英語のジャーナリ	ズム、内容、様式、スタイル		
事前学		生は課題のテキストを読み、理解し、授業 ができるようにしておく。	前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した	:内容についてのディスカッショ	1.5-2.5時間/週
事後学	修授	業中に訳したテキストをもう一度授業後に	訳す。		1.5時間/週
3. 英語に	こよる対	話を日本語に翻訳する: 英語のジャーナリ	ズム、内容、様式、スタイル		
事前学	ِ ک	ができるようにしておく。	前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した 	:内容についてのディスカッショ	1.5-2.5時間/週
事後学		業中に訳したテキストをもう一度授業後に 			1.5時間/週
		か分法の違い考察 英語のジャーナリズム		・中容についてのご・ユキ・ハー	1 E O En+88 /m
事前学事後学	ِ ک	生は課題のテキストを読み、埋解し、授業 ができるようにしておく。 業中に訳したテキストをもう一度授業後に	前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した	内容についてのティスカッショ	1.5-2.5時間/週
			и v v u		1. VHy [F]/ 2型
5. 注狀作	すさ翻訳	D評価 1. 提出とディスカッション			
事前学		生は課題のテキストを読み、理解し、授業 できるようにしておく。	前までに課題を提出しておく。授業中に翻訳した内	容についてのディスカッション	1.5-2.5時間/週
事後学	修 授	業中に訳したテキストをもう一度授業後に	訳す。 		1.5時間/週

+4444	W.L. 200 C. O. L. J. 4-51-7, 70 (7) 17 (4) 4-7 (-200 C) 4-7 (-200 C)	1 5 0 5-4-05 /-5
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクコ	ニックの習得 文章、英語の解説文、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクコ	ニックの習得 文章、英語の解説文、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクニ	ニックの習得 長文、英語の解説文、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
). 注釈付き翻	 羽訳の評価 2. 提出とディスカッション	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を提出しておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッション ができるようにしておく。	1.5-2.5時間/河
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクニ	 ニックの習得 長文、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/넰
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
翻訳テクニ	ニックの習得 対話、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/追
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクコ	ニックの習得 詳細説明、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/追
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクニ	┃ ニックの習得 ジャンル、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/넰
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 注釈付き翻	I 翔訳の評価 3. 提出とディスカッション	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を提出しておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/辿
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週

試験等
学生個々に翻訳のフィードバックを行う
試験のフィードバックの方法
学生の課題提出したものに対して、定期的にコメントを付けてフィードバックを行う。
口頭の説明が必要な場合は、応じる。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。授業に合わせた資料を講師から配布する。
なし。技术にログビに具体で講師がら配仰する。
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
m8022@m. ndsu. ac. jp
留意事項
この授業は学生は積極的に参加することを求める。課題は事前に完了させ、授業中は、ディスカッションにより、活発な意見交換を行う。

<u>翻訳天成供自</u> 授業コード	M2472	科目ナンバリング	開講年	度学期	2025年度第2期	2年位
担当者氏名	小笠原 ヒロ子		,		1227 1227 = 177	
時間割備考						
授業形態(主						
授業形態(副 担当形態	単独					
研究分野(大 本授業の概要						
このコースのション、ノン	目的は、学生が英語の	ぜながら、様々なテキストを			いける指導することである。この トを、異なる文法、慣用表現、発	
アクティブラ	ーニングの実施内容	グループ・ディスカッ	 ション			
到達目標					対応するディプロマポリシー	
		辛叶 ナ 証 伍 し こうも ナ 海切り	かロナミシに変わせてナオナナス	- 1.48	(1知識・技能/2思考・判断・知識・技能/思考・判断・表現)	
1 る。	ナイストの形式、内谷	、息味を評価し、てれを適切	な日本語に翻訳する方法を考える	3 C Z M C E	双戚・技能/ 芯考・判断・衣玩/]/ 土体注
翻訳に2	必要な資料、辞書等を	有効に活用して、翻訳するこ	とができる。		知識・技能/思考・判断・表現力	力/主体性
		イルに合致した日本語を選び 意図した通りの日本語に翻訳:		ニュアンスを	知識・技能/思考・判断・表現力	カ/主体性
自分が 4	翻訳した際に心掛けた	ことを文書でも、口頭でも説	明できる。		知識・技能/思考・判断・表現力	カ/主体性
5						
成績評価の基 1 注釈付	準 きニュース記事の翻訳	30%			対応する到達目標の番号 1/2/3/4	
·	き解説エッセイの翻訳	30%			1/2/3/4	
3 注釈付	きショートストーリー	の翻訳 40%			1/2/3/4	
4						
5						
	る教員による授業科目		実務あり			
	業への活用方法 体験	ま 起生ま フェュアル パ	ンフレット カタログ 注待立ま	学の新記な除ん	がある。その経験を通して、読者	にわかりわすい知识
	心掛けたらよいのかを		JULIAN AND AND AND AND AND AND AND AND AND A			
日本語以外の 授業予定一覧	言語による授業	車等	介・事後学修内容と時間			
事前学修	ディスカッションを	行う。	解し、授業前までに課題を完成で	させておく。授	業中は翻訳した内容についての	1.5-2.5時間/週
事後学修		-ストをもう一度授業後に訳す する: 英語のジャーナリズ』				1.5時間/週
事前学修			な、内谷、様式、ヘッイル でに課題を完成させておく。授	类 中 / 二 颗 = R - +-	中窓についてのディスカッシュ	1.5-2.5時間/週
事態学修	ンができるようにし			★ 中 1~ m分 i) () ~)	内谷についてのティスカッショ	1.5時間/週
		する: 英語のジャーナリズム				
事前学修			でに課題を完成させておく。授業	業中に翻訳した	内容についてのディスカッショ	1.5-2.5時間/週
事後学修	ンができるようにし 授業中に訳したテキ	ことで、 -ストをもう一度授業後に訳す	•			1.5時間/週
4. 日本語と	英語の分法の違い考察	英語のジャーナリズム、内	容、様式、スタイル			
事前学修	学生は課題のテキス ンができるようにし		でに課題を完成させておく。授業	業中に翻訳した	内容についてのディスカッショ	1.5-2.5時間/週
事後学修		- ストをもう一度授業後に訳す	- o			1.5時間/週
5. 注釈付き	翻訳の評価 1. 提出					
事前学修	ができるようにして	だおく。	でに課題を提出しておく。授業ロ	中に翻訳した内	容についてのディスカッション	1.5-2.5時間/週
事後学修	授業中に訳したテキ	-ストをもう一度授業後に訳す	- o			1.5時間/週

+4444	W.L. 200 C. O. L. J. 4-51-7, 70 (7) 17 (4) 4-7 (-200 C) 4-7 (-200 C)	1 5 0 5-4-05 /-5
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクコ	ニックの習得 文章、英語の解説文、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクコ	ニックの習得 文章、英語の解説文、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクニ	ニックの習得 長文、英語の解説文、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/退
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
). 注釈付き翻	 羽訳の評価 2. 提出とディスカッション	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を提出しておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッション ができるようにしておく。	1.5-2.5時間/河
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクニ	 ニックの習得 長文、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/넰
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
翻訳テクニ	ニックの習得 対話、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/追
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクコ	ニックの習得 詳細説明、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/追
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 翻訳テクニ	┃ ニックの習得 ジャンル、文学の翻訳、内容、様式、スタイル	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を完成させておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/넰
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週
. 注釈付き翻	I 翔訳の評価 3. 提出とディスカッション	
事前学修	学生は課題のテキストを読み、理解し、授業前までに課題を提出しておく。授業中に翻訳した内容についてのディスカッションができるようにしておく。	1.5-2.5時間/辿
事後学修	授業中に訳したテキストをもう一度授業後に訳す。	1.5時間/週

試験等
学生個々に翻訳のフィードバックを行う。
試験のフィードバックの方法
学生の課題提出したものに対して、定期的にコメントを付けてフィードバックを行う。
口頭の説明が必要な場合は、応じる。
》 변화 (생전하다는)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。授業に合わせた資料を講師から配布する。
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける。
in the state of t
m8022@m. ndsu. ac. jp
iiioVZZeiii. ilusu. av. jp
留意事項
この授業は学生は積極的に参加することを求める。課題は事前に完了させ、授業中は、ディスカッションにより、活発な意見交換を行う。

<u>翻訳字演省A</u> 授業コード	M2480		開講年度学期		2単位
担当者氏名	木津 弥佳	14467 277727	抗磷牛)叉于粉	2020年及第1樹	
時間割備考					
授業形態(主)	2 演習				
授業形態(副) 担当形態	 単独				
ロヨル窓 研究分野(大学 本授業の概要	院) 実践翻訳				
本演習では、翻できるような先	行研究を洗い出し、	関連する文献を批判的に読み、	るために必要な知識と方法論を学ぶ。 建設的な意見を述べるための訓練を行		た修士論文執筆にも対応
アクティブラー	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	ョン		
到達目標				対応するディプロマポリシ- (1知識・技能/2思考・判	
	車の修士論文の課題	圓設定を適切に行うことができる	0	知識・技能/思考・判断・表	
1					
必要な方法	去論を理解し、実践	載することができる。		知識・技能/思考・判断・矛	長現力/主体性
英語・日2	本語で書かれた先行	示研究を的確に理解し、批判的に	読むことができる。	知識・技能/思考・判断・碁	長現力/主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
発言等に	よる授業への貢献	20%		1/2/3	
2 発表 30%				1/2/3	
3 論文 50%				1/2/3	
4					
5					
実務経験のある 実務経験の授業	教員による授業科目			•	
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授 <u>業</u>		・事後学修内容と時間		
1. Introduction	on				
事前学修	修士論文で扱う作	品・マテリアルを選定する。			2 時間
事後学修	授業中のフィード	バックをもとに自身の研究を進め	かる。		2 時間
2. Research qu	uestions and ethi	cs			
事前学修	指定された読み物	を読み、レジュメにまとめる。			2時間
事後学修	授業中のフィード	バックをもとに自身の研究を進め	かる。		2 時間
3. Literature	review 1				•
事前学修	指定された読み物	を読み、レジュメにまとめる。			2 時間
事後学修	授業中のフィード	バックをもとに自身の研究を進め	かる 。		2 時間
4. Literature	review 2				
		を読み、レジュメにまとめる。			2 時間
		バックをもとに自身の研究を進め	<u></u>		2 時間
5. Literature					
事前学修	指定された読み物	を読み、レジュメにまとめる。			2 時間
事後学修	授業中のフィード	バックをもとに自身の研究を進め	かる。 		2 時間

. Literatur	e review 4	
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Literatur	e review 5	I
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Literatur	e review 6	
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Summarizi	ng previous research 1	
事前学修	これまでの先行研究をまとめ、課題を洗い出す。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
O. Summarizi	ng previous research 2	
事前学修	これまでの先行研究をまとめ、課題を洗い出す。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
1. Research	methods 1	
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
2. Research	methods 2	
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2 時間
	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
3. Research	quality: validity and reliability	
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
4. Research	quality: generalizability	
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
5. Summary		
事前学修	指定された読み物を読み、レジュメにまとめる。	2 時間
事後学修	 授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2時間

が終めフィードバックの方法 「研索・影響を表現して、	⇒ ₩
	試験等
	請文
	対験のフィードバックの方法
 必携書・参考書 (教科書版売)	四部式といきでにトスコンニードバック
 	口頭または香園によるフィートハック
 	
 	
 	必集書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISDN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 By appointment 通絡先 mi Kaki Zuệm. ndsu. ac. jp	是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	自省47 省67 九九九6000000 10000 外产生的 隔节
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	心惟主,关于主(教利聿师志门从)
適宜紹介・配布 オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m. ndsu. ac. jp	少历言·罗奇言(我代言规定从外)
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	書籍名/著名/発元元出版在/伽格/ISBN/媒体種別・偏考
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	適宜紹介・配布
By appointment 連絡先 mikakizu@m. ndsu. ac. jp	
連絡先 mi kak i zu@m. ndsu. ac. jp	オフィスドリー
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	By appointment
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	· 宝 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 -
	連絡先
留意事項	mikakizu@m.ndsu.ac.jp
留意事項	
留意事項	
省息事 項	如 李
	出意事項

翻訳字 授業コ	型演習B □ I I I I I	M2482		開講年度学期		2単位
担当者		木津 弥佳	付け、シハウング		2020年度第2期	
時間割	削備考					
	態(主)	2 演習				
授業形 担当形	<u> </u>	 単独				
研究分		院)実践翻訳				
本演習り	習では、翻 りやすく説	明する訓練を行う。		ンの際に必要な英語理解力と運用能力をさ	らに高め、受講者の扱う研究課題に	こついて深く理解し、
	, , ,	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	ョン	対応するディプロマポリシー	
到達目	標				(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1	先行研究	の内容を深く理解し	、適切にまとめることができる	0	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
2	翻訳作品	を客観的に評価し、	建設的に批判することができる	0	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
3	深い英語	理解力を持ち、高度	な英語運用力を用いて発表と質	疑応答ができる。	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
4						
5						
	呼価の基準		200/		対応する到達目標の番号	
1	発言寺に	よる授業への貢献	20%		1/2/3	
2	発表 30				1/2/3	
3	論文 50	%			1/2/3	
4						
5 宝 <u>黎</u> 紹	経験のある	教員による授業科目	1			
実務経	を験の授業	への活用方法				
		語による授業	***	末体学校中央 1.058		
	ラ <u>定一覧</u> ummarizin	g backgrounds		・事後学修内容と時間		
			D背景となる内容をまとめる。			2 時間
	後学修 ranslatio	授業中のフィード/ n process research	バックをもとに自身の研究を進& 	>&. 		2 時間
			に関する内容をまとめる。			2 時間
			「ックをもとに自身の研究を進め)\$.		2 時間
3. Re	eviewing	translation 1				
事	前学修	自身が訳した作品・	マテリアルを批評する。			2 時間
事	後学修	授業中のフィードル	ヾックをもとに自身の研究を進め) & .		2 時間
4. R	eviewing	translation 2				•
事	前学修	自身が訳した作品	マテリアルを批評する。			2 時間
			ヾックをもとに自身の研究を進ぬ	ეგ. 		2 時間
		translation 3				
			マテリアルを批評する。			2 時間
事	後学修	授業中のフィ ード /	ヾックをもとに自身の研究を進&) る。 		2 時間

6. Presenta	tion 1	
事前学修	中間報告発表の準備をする。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Reviewin	g translation 4	1
事前学修	自身が訳した作品・マテリアルを批評する。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Reviewing	g translation 5	I
事前学修	自身が訳した作品・マテリアルを批評する。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Reviewin	I g translation 6	
事前学修	自身が訳した作品・マテリアルを批評する。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
). Analysi	s: linguistic viewpoints	
事前学修	言語理論に基づいて翻訳過程を分析する。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Analysis		
事前学修	テクストジャンルやコンテクストに基づいて自身の作品・マテリアルを分析する。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Analysis	theoretical viewpoints	<u> </u>
事前学修	翻訳理論の観点から、自身の作品・マテリアルを分析する。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Analysis		_
事前学修	これまでの成果を論文にまとめ、体裁を整える。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
. Presenta	Lion 2	
事前学修	最終発表の準備をする。	2時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2 時間
5. Summary	and feedback	
事前学修	発表内容の振り返りを行う。	2 時間
事後学修	授業中のフィードバックをもとに自身の研究を進める。	2時間

が終めフィードバックの方法 「研索・影響を表現して、	⇒ ₩
	試験等
	請文
	対験のフィードバックの方法
 必携書・参考書 (教科書版売)	四部式といきでにトスコンニードバック
 	口頭または香園によるフィートハック
 	
 	
 	必集書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISDN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 By appointment 通絡先 mi Kaki Zuệm. ndsu. ac. jp	是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	自省47 省67 九九九6000000 10000 外产生的 開行
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mi kaki zu@m. ndsu. ac. jp	心惟主,关于主(教利聿师志门从)
適宜配布・紹介 オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m. ndsu. ac. jp	少历言·罗奇言(我代言规定从介)
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	書籍名/者有/発元元出版在/伽格/ISBN/媒体種別・偏考
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
オフィスアワー By appointment 連絡先 mikakizu@m.ndsu.ac.jp	適宜配布・紹介
By appointment 連絡先 mikakizu@m. ndsu. ac. jp	
連絡先 mi kak i zu@m. ndsu. ac. jp	オフィスドリー
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	By appointment
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	
mikakizu@m.ndsu.ac.jp	· 宝 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 -
	理格先
留意事項	mikakizu@m.ndsu.ac.jp
留意事項	
留意事項	
省息事 項	如 李
	出意事項

聖書学特論IA				100=# (37 110	単位数	2単位
授業コード 担当者氏名	M2510 山根 道公	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第2期	
時間割備考						
授業形態(主) 1 講義					
授業形態(副 担当形態	2 演習					
研究分野(大	単独 学院) ■専門関連科	目				
				うした中から戦後の小説およ 皆まえて、作家研究にも取り	び詩を取り上げ、キリスト教的 組む。	思想や聖書的象徴表現など
アクティブラ	ーニングの実施内容					
到達目標					対応するディプロマポリ	シー 判断・表現力/3主体性)
1 キリス	ト教的、聖書的主題を	をもつ日本近現代文学の作品	品を分析する方法を	修得できる。	知識・技能/思考・判断	
2						
3						
4						
5						
成績評価の基					対応する到達目標の番号	
1	活動30%				ı	
2 研究レ	ポート70%				1	
3						
4						
5 実務終験のを	る教員による授業科	=				
実務経験の授	業への活用方法					
日本語以外の 授業予定一覧	言語による授業		事前・事後学修内	容と時間		
1. 導入						
事前学修	事前にシラバスを					2時間
事後学修	主体的に問題意識	をもって自分の取り上げた		くこと。 の内容に修正を加えるなど,	復翌をすること	2時間。
		スト教の影響のある作品・作		グドが古に廖正と加えるなと、	反日とすること。	Z #1) [B] 0
事前学修		を読んでおくこと。				2時間
事後学修	主体的に問題意識	をもって作品分析と考察を		の内容に修正を加えるなど,	復習をすること。	2時間
3. 具体的な	┃ 作品を選んで、分析、	、読解を行う。その1				
事前学修		を読んでおくこと。	ı — +> / = l			2時間
事後学修		をもって作品分析と考察を めて理解を深め、自分の作。		の内容に修正を加えるなど,	復習をすること。	2時間
4. 具体的な	┃ 作品を選んで、分析、	、読解を行う。その2				
事前学修	事前に示した作品 主体的に問題意識	を読んでおくこと。 をもって作品分析と考察を	 しておくこと。			2時間
事後学修				の内容に修正を加えるなど,	復習をすること。	2時間
5. 具体的な	作品を選んで、分析、	、読解を行う。その3				
事前学修		を読んでおくこと。 をもって作品分析と考察を	しておくこと。			2時間
事後学修				の内容に修正を加えるなど,	復習をすること。	2時間
	1					I

事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。	2時間
7 11 11 12	主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	2-9 (H)
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
具体的な作	F品を選んで、分析、読解を行う。その 5	
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。 主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	2時間
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
. 具体的な作	↓ F品を選んで、分析、読解を行う。その6	<u> </u>
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。	2時間
	主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
. 具体的な作	- 日日を選んで、分析、読解を行う。その7 -	
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。 主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	2時間
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
0. 具体的な作	Ⅰ ⊧品を選んで、分析、読解を行う。その8	<u> </u>
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。 主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	2時間
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
1. 作品研究。	】 E踏まえて、作家研究を行う。その1	
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。 主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	2時間
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
2. 作品研究。	┃ E踏まえて、作家研究を行う。その2	
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。	2時間
3-113-7-12	主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
3. 作品研究。	正踏まえて、作家研究を行う。その3	
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。 主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	2時間
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
4. 作品研究。	」 E踏まえて、作家研究を行う。その4	
事前学修	事前に示した作品を読んでおくこと。 主体的に問題意識をもって作品分析と考察をしておくこと。	2時間
事後学修	授業の内容をまとめて理解を深め、自分の作品分析や考察などの内容に修正を加えるなど、復習をすること。	2時間
5. まとめ		
事	これまでの授業全体を振り返って主体的に問題意識をもって理解を深め疑問などまとめておくこと。	2時間
事前学修	これは、この技术主体を派り返りに工作的に同趨忠誠ともりて程序を深め幾何なこまとめておくこと。	Z # () [H]

Sale of Art
試験等
レポート提出(課題の内容は授業内で指示)
試験のフィードバックの方法
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業中に指示する。
オフィスアワー
オフィスタワーは、金曜日12:30-13:00 質問は随時、授業の後、また電子メールで受け付ける。
連絡先
yamane@m. ndsu. ac. jp
工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
講義で取り上げる作品および指示する参考文献を予め読んでおくこと。

	<u>へ下致心恐</u> コード	M2530	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期	7年世
担当者		袴田 渉			12-2-1 1276 - 111	
時間害	割備考					
	杉態(主)	1講義				
授業刑担当刑	杉態 (副) ド能	2演習 単独				
研究分	プリック 大学 大学 大学 大の概要					
古代地	也中海世界		ッパを経由して近代日本の文化・ じて近代日本や英米文学にも言及	制度形成に深甚な影響を与えたキリスト教 なする。	≀思想の歴史を学ぶ。第1期はキリ <i>フ</i>	くト教思想の基礎とな
アクラ	ティブラー	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	<i>'</i> ョン		
到達目	目標				対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	- 表現力/3 主体性)
	キリスト	教思想の重要な概?	念と学説を理解し、説明すること	: ができる。	知識・技能/思考・判断・表現	
1						
2	キリスト	教思想史の研究方え	去論を身につけ、自身の研究課題	[に応用することができる。	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3		教思想史研究の現(つことができる。	弋的意義を理解し、研究を通して	「得られた知見を社会に還元し他者に貢献す	る知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
4						
5						
成績評	平価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への	参加態度(30%)			1/2/3	
2	リアクシ	ョンペーパー (209	%)		1/2/3	
	期末しポ	ート (50%)			1/2/3	
3	ガスレバ	1 (30 70)			17 27 0	
4						
5						
		教員による授業科 への活用方法				
		≅∓1 L - 7 l -17 l -18				
授業予	产定一覧	語による授業	事前	・事後学修内容と時間		
1 1	イントロダ	クション				
事	前学修	事前に聖書や本授	業の参考書を図書館等を利用して	て読み、授業内容への理解を深める。		2時間
	後学修		を咀嚼し、各人の研究テーマに関	即して考察を深める。		2時間
		の歴史的背景	業の会子書を図書約笠と刊ワー	できょうに変わなって明めたではて		0吐,88
	前学修 		業の参考書を図書館等を利用して を咀嚼し、各人の研究テーマにE	て読み、授業内容への理解を深める。		2時間
,	後子修 聖書読解(<u> </u>	ᠬ᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃᠃		∠ μ寸 [日]
	前学修	_	業の参考書を図書館等を利用し ⁻	て読み、授業内容への理解を深める。		2時間
事	後学修	授業で学んだこと	を咀嚼し、各人の研究テーマに	即して考察を深める。		2時間
4	聖書読解(
事	前学修	事前に聖書や本授	業の参考書を図書館等を利用し ⁻	て読み、授業内容への理解を深める。		2時間
事	後学修	授業で学んだこと	を咀嚼し、各人の研究テーマに関	即して考察を深める。		2時間
5	聖書読解(3) アブラハムの	物語			
	前学修			て読み、授業内容への理解を深める。		2時間
事	後学修	授業で学んだこと	を咀嚼し、各人の研究テーマに即	即して考察を深める。		2時間

6 聖書読解	(4) イスラエルの誕生	
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
7 聖書読解	(5) モーセと出エジプト	I
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
8 聖書読解	(6) 十戒	•
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
9 旧約から	新約へ	<u>.</u>
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
10 新約聖書		
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
11 聖書読解	(7) イエスの物語	
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
	(8) 主の祈り	
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
13 聖書読解		
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
14 聖書読解		A 7 1 5 5
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
15 まとめ		A-1-88
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間

=+ E4 / // -
試験等 期末レポート
試験のフィードバックの方法
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
聖書 聖書協会共同訳 旧約聖書続編付き//日本聖書協会/3600/9784820213451/冊子版
〈参考書〉 知 - 労 - 世 田 相 西 空 恋 監 記 『 - 1 - 2 - 巫 日 - 1 - 2
・上智大学中世思想研究所監訳『キリスト教史』1~3,平凡社ライブラリー,1996年。 ・K・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』平凡社ライブラリー,2000年。
・ド・リーセンノーハー『西洋古代・中世哲学史』 千九社 ブイン ブリー、2000年
オフィスアワー
メールでの回答のほか、授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
度相元 hakamada@nanzan-u. ac. jp
individual de
留意事項
本授業では、教員による講義に終始せず、場合により演習形式も取り入れる。

<u>キリスト教思想!</u> 授業コード	持論IIB M2535			■ 単位数 2025年度第2期	2単位
担当者氏名		行日ナンハケンケ	州碑 平及 于栁	2020年度第2期	
時間割備考					
授業形態(主)	1講義				
授業形態(副) 担当形態	2 演習 単独				
研究分野 (大学) 本授業の概要					
古代地中海世界リスト教思想史	の展開を、具体的	な歴史的事象とそれがもたらした	制度形成に深甚な影響を与えたキリスト教思文化をめぐって考察し、必要に応じて近代日本		期から中世に到るキ
アクティブラー	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	ョン	I+1++7 = 1°.11 >	
到達目標				対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
	教思想の重要な概 常	念と学説を理解し、説明すること	ができる。	知識・技能/思考・判断・表現	
1					
キリスト	教思想史の研究方 え	去論を身につけ、自身の研究課題	に応用することができる。	知識・技能/思考・判断・表現)	カ/主体性
	教思想史研究の現イ つことができる。	弋的意義を理解し、研究を通して	得られた知見を社会に還元し他者に貢献する	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1 授業への	参加態度(30%)			1/2/3	
2 リアクシ	ョンペーパー(209	%)		1/2/3	
_	(5004)			1 (0 (0	
3 期末レホー	ート (50%)			1/2/3	
4					
5					
	教員による授業科				
実務経験の授業	への活用方法				
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業	車品	・事後学修内容と時間		
1 イントロダ	クション	尹則	- 事後子修門骨に時間		
事前学修	事前に聖書や本授	業の参考書を図書館等を利用して			2時間
事後学修	授業で学んだこと	を咀嚼し、各人の研究テーマに即]して考察を深める。		2時間
2 迫害を越え	て:ローマ帝国と	キリスト教			
事前学修	事前に聖書や本授	業の参考書を図書館等を利用して	「読み、授業内容への理解を深める。		2時間
事後学修	授業で学んだこと	を咀嚼し、各人の研究テーマに即	『して考察を深める。		2時間
3 三位一体論					
事前学修	事前に聖書や本授	業の参考書を図書館等を利用して	「読み、授業内容への理解を深める。		2時間
	授業で学んだこと	を咀嚼し、各人の研究テーマに即	『して考察を深める。		2時間
4 キリスト論					
			で読み、授業内容への理解を深める。		2時間
事後学修 5 修道制の誕		を咀嚼し、各人の研究テーマに即	」して有奈を深める。		2時間
			:読み、授業内容への理解を深める。 		2時間
事後学修	授業で学んだこと	を咀嚼し、各人の研究テーマに即	『して考察を深める。		2時間

修道規則(D成立	
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
西方の修う	道制	
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
国教化と	東西分離	l .
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
シスマと-	十字軍	<u> </u>
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
0 キリスト		
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
1 修道院の		
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
2 ローマ・:	カトリック教会	I
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
3 宗教改革		
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
4 キリスト	女文化(2) 聖人崇敬	
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間
5 まとめ		
事前学修	事前に聖書や本授業の参考書を図書館等を利用して読み、授業内容への理解を深める。	2時間
事後学修	授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める。	2時間

From III
試験等
期末レポート
試験のフィードバックの方法
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
日 # 17
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
聖書 聖書協会共同訳 旧約聖書続編付き//日本聖書協会/3600/9784820213451/冊子版
〈参考書〉
・上智大学中世思想研究所監訳『キリスト教史』1~3、平凡社ライブラリー、1996年.
・K・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』平凡社ライブラリー、2000年.
オフィスアワー
メールでの回答のほか、授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
hakamada@nanzan-u.ac.jp
留意事項
本授業では、教員による講義に終始せず、場合により演習形式も取り入れる。
や技未じは、教員による講義に於好です、場合により 演音形式も取り入れる。

英語科	¥教育特論 □ード		1到日本いぶけいが		四連左在尚知	単位数	2単位
	3 一 r 者氏名	<u>M2540</u> 伊藤 豊美	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第1期	
時間割	割備考						
授業刑	 杉態(主)	1講義					
授業刑 担当刑	杉態 (副) 杉能	単独					
研究分	プ野(大学 学の概要						
本授美並びに	業では、英 に外国語)	語教育学の基礎基本 習得の過程や学習者	が研究の在り方について考察 [、]	を研究する。特に、文∤ する。	部科学省学習指導要領に	基づく具体的な指導技術を高	高めるとともに、言語(母語
アクラ	ティブラー	ニングの実施内容	問題解決型学習				
到達目	目標					対応するディプロマポリ (1知識・技能/2思考	「シー ・判断・表現力/3主体性)
1	英語科教	育の背景となる専門	知識を修得する。			知識・技能/思考・判断	
2	実際の教	室における高い指導	技術を身に付ける。			知識・技能/思考・判断	f・表現力/主体性
3	英語その	ものの高い運用能力	を身に付ける。			知識・技能/思考・判断	f・表現力/主体性
4							
5							
成績詞	▲ 平価の基準					対応する到達目標の番号	1
1	授業時の	発表(40%)				1/2/3	
2	レポート	の内容 (30%)				1/2/3	
3	指導技術	の修得状況(30%)				1/2/3	
4							
5							
		教員による授業科目 への活用方法		実務あり			
		年、岡山県及び岡山	市教育委員会にて指導主事	等で10年、大学教育204	∓の英語教育実践及び研	究の実務経験を学生の英語も	教育に活かしていく。
授業	予定一覧		事	事前・事後学修内容と時	間		
1 7	ナリエンテ	ーション					
事	前学修	テキストの予習 レポート作成					約120分
事	後学修	学修内容の復習					約120分
2	国際社会に	おける英語:国際化	と英語教育、国際語としての	の英語の将来			
事	前学修	テキストの予習 レポート作成					約120分
事	後学修	学修内容の復習					約120分
3 t	世界の英語	L 教育事情:ヨーロッ	パ諸国、アジア・アフリカ	等の外国語教育			
事	前学修	テキストの予習 レポート作成					約120分
事	後学修	学修内容の復習					約120分
		教育の史的展望:(l)江戸末期~大正				
_	前学修	テキストの予習 レポート作成					約120分
	後学修	学修内容の復習					約120分
5 E	日本の英語	教育の史的展望:(2	2) 昭和~平成				
事	前学修	テキストの予習 レポート作成					約120分
事	後学修	学修内容の復習					約120分
							-

6 日本の英語	· 野教育の史的展望:(3) 令和~ 新しい時代に向けて	
事前学修	テキストの予習 レポート作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
7 英語教授》	 この変遷 (1) The Grammar Translation Method & Direct Methods	
******************		461007
事前学修	テキストの予習 レポート作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
3 英語教授》	の変遷(2)The Oral Method	
事前学修	テキストの予習 レポート作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
英語教授》	】 cの変遷(3)The Oral Approach	
事前学修	テキストの予習	約120分
事後学修	レポート作成 学修内容の復習	約120分
0 英語教授》	この変遷 (4) The Cognitive Approach	
事前学修	テキストの予習	約120分
	レポート作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	新月20万g
英語教授》	その変遷(5)Communicative Language Teaching (CLT)	
事前学修	テキストの予習 レポート作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
	┃ 『教材論(1)言語材料についての知識 §語の文法、英語の語彙、英語の文章構成	
事前学修	テキストの予習	約120分
事後学修	レポート作成 学修内容の復習	約120分
		#512073
3 英語科教育 スニング教材	f教材論(2)言語活動のための教材開発 f、スピーキング教材、リーディング教材、ライティング教材	
事前学修	テキストの予習 レポート作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
	┃ ₹教材論(3)異文化理解のための教材開発 5.化理解、異文化理解のための教材開発	
事前学修	テキストの予習	約120分
事後学修	レポート作成 学修内容の復習	約120分
5 英語科教育	 数材論(4)誤答分析からの知見	
間言語、学習	習者の言語発達過程、誤答の収集と分類	
事前学修	テキストの予習 レポート作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
争伐子修	子修内谷の復省	約120分

試験等
定期試験
試験のフィードバックの方法
後日、解答を掲示する
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
□ #8 □ / □ □ / 2000 / □ □ □ □ 1 / 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 ×
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
片山嘉雄 編『新・英語科教育の研究』 (大修館書店)
文部科学省『中学校学習指導要領解説外国語編』、『高等学校学習指導要領解説
外国語編』
その他、授業時に適宜資料を配付する。
オフィスアワー
質問は随時受け付ける。
長回は機両文パロリる。
連絡先
itoh@m.ndsu.ac.jp
T Corrent. Husad. av. Jp
to the total
留意事項
一部、演習形式を取り入れて、英語技能そのものの訓練も実施する。

英語科	<u>斗教育特論</u> コード		利日土いが用いが		即議在由党即	単位数	2単位
	<u>」一 </u>	M2545 伊藤 豊美	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第2期	
時間害	割備考						
授業刑	 杉態(主)	1講義					
授業刑 担当刑	杉態 (副) ド能	単独					
研究分	分野(大学						
本授 並びに アクラ	こ外国語)	語教育学の基礎基本 習得の過程や学習者 ニングの実施内容	を修得し、より高度な内容研究の在り方について考察 問題解決型学習	客を研究する。特に、文 客する。	部科学省学習指導要領に	基づく具体的な指導技術を7	高めるとともに、言語(母語
到達目						(1知識・技能/2思考	・判断・表現力/3主体性)
1	英語科教	育の背景となる専門	知識を修得する。			知識・技能/思考・判断	f・表現力
2	実際の教	室における高い指導	技術を身に付ける。			知識・技能/思考・判断	f・表現力/主体性
3	英語その	ものの高い運用能力	を身に付ける。			知識・技能/思考・判断	f・表現カ/主体性
4							
5							
成績訓	▲ 平価の基準					対応する到達目標の番号	1
1	授業時の	発表(40%)				1/2	
2	レポート	の内容(30%)				1/2/3	
3	指導技術	の修得状況(30%)				1/2/3	
4							
5							
		教員による授業科目 への活用方法		実務あり			
日本語授業予	吾以外の言 予定一覧	語による授業	1	事前・事後学修内容と時		究の実務経験を学生の英語	教育に活かしていく。
			ュニケーションをめぐる考り ニケーション能力の定義	察			
		テキストの予習	一)フョン形列の足報				約120分
事	後学修	レポ作成作成 学修内容の復習					約120分
2	英語科教育	方法論 (2) 4 技能(の実践的指導法①リスニン [・]	グ			
事	前学修	テキストの予習 レポ作成作成					約120分
事	後学修	学修内容の復習					約120分
3 3	英語科教育	方法論(3)4 技能の	の実践的指導法②スピーキ	ング			
事	前学修	テキストの予習 レポ作成作成					約120分
事	後学修	学修内容の復習					約120分
			の実践的指導法③リーディ:	ング			
事	前学修	テキストの予習 レポ作成作成					約120分
		学修内容の復習					約120分
5 ∄	英語科教育	方法論(5)4 技能の	D実践的指導法④ライティ:	ング			
事	前学修	テキストの予習 レポ作成作成					約120分
事	後学修	学修内容の復習					約120分
							L

6 英語科教育	方法論 (6) 異文化理解教育への対応	
事前学修	テキストの予習 レポ作成作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
7 学習指導勢	<u> </u> 領(1)歴史的展望−学習指導要領の変遷	
市並出版		% 1007)
事前学修	プキストの予習 レポ作成作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
3 学習指導	領(2)作成過程と内容構成	
事前学修	テキストの予習 レポ作成作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
) 学習指導	 領(3)中学校における学習指導要領のねらい	
电影 严 <i>怀</i>		\$6100.C
事前学修	テキストの予習 レポ作成作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
0 学習指導	領(4)高等学校における学習指導要領のねらい	<u>'</u>
事前学修	テキストの予習 レポ作成作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
1 学習指導頭	┃ 領(5)学習指導要領と検定教科書 法的意義、教科書検定のプロセス	
事前学修	テキストの予習	約120分
	レポ作成作成	
事後学修	学修内容の復習	約120分
	評価論(1)英語科教育とテスト る測定・評価の意義と目的、評価の種類と方法	
事前学修	テキストの予習 レポ作成作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
3 英語科教育	 評価論(2)各種テスト例と作成上の留意点	
事前学修	テキストの予習	約120分
事後学修	レポ作成作成 学修内容の復習	約120分
		かり・レング
	学習者論 学習者の実態と要因	
事前学修	テキストの予習 レポ作成作成	約120分
事後学修	学修内容の復習	約120分
5 英語科教育	I 教師論 英語教員のミニマム・エッセンシャルと研修	
事前学修	テキストの予習	約120分
事後学修	レポ作成作成 学修内容の復習	約120分
子 久 子 19	, 12.1 H 16E	ψ3120/J

試験等
定期試験
試験のフィードバックの方法
後日、解答を掲示する
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
□ #8 □ / □ □ / 2000 / □ □ □ □ 1 / 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 ×
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
片山嘉雄 編『新・英語科教育の研究』(大修館書店)
文部科学省『中学校学習指導要領解説外国語編』、『高等学校学習指導要領解説
外国語編』
その他、授業時に適宜資料を配付する。
オフィスアワー
プライスアグー 随時質問を受け付ける。
連絡先
itoh@m. ndsu. ac. jp
Toriem. Hada. av. jp
to the total
留意事項
一部、演習形式を取り入れて、英語技能そのものの訓練も実施する。

	英米又字専兵 コード	ダインターンシップ事前 ■M2550 科	<u>事後指導</u> ↓目ナンバリング		開講年度学期	単位致 2025年度第1期、2025年度第2月	1単位 明
	ュート 者氏名		taアンハリング 貴志子、松井 かや、Thoma	as Fast、山口 麻衣子			<u></u>
	割備考	事前選考あり	024年度以前入学生も履修す	可			
	杉態(主) 杉態(副)	1 講義 2 演習					
担当月	形態	複数					
研究统	分野(大学N 業の概要	完) 專門関連科目					
本授 省察る どの9	業は、「英詞 を行 う 。事詞 知識を身に ²	前指導では、実習生とし つける。また、英語を運	て企業で就業する意識を高	めるとともに、派遣先 i訳・翻訳のトレーニン	の事業内容の事前調	就業体験において必要となるさまざま 査を実施し、ビジネスマナー、コン :指導では、就業体験を経て得られた	プライアンス教育な
アクラ	ティブラーニ	ニングの実施内容	グループ・ディスカッシ	ョン			
到達目	3 堙					対応するディプロマポリシー	
判廷		- 必要な知識し実践され	リナウにのはて			(1知識・技能/2思考・判断・	
1		こ必要な知識と実践スキん				知識・技能/思考・判断・表現ン	
2	就業体験0)成果を確認し、自身の(体験を多面的に評価・言語イ	化することができる。		知識・技能/思考・判断・表現ン	b/主体性
3	仕事で使う	ことのできる基本的な	通訳・翻訳スキルを身につ	ける		知識・技能/思考・判断・表現ン	カ/主体性
4							
5							
成績詞	評価の基準	- 11 40 4	FA			対応する到達目標の番号	
1	授業への耳	り組み	20%			1/2/3	
2	課題・企業	き研究 レポート	30%			1/2/3	
3	成果発表		50%			1/2	
4							
5 宝 黎 4	文 除 の ち ス ま	牧員による授業科目	Te:	:務あり			
		X負による技業符号 Nの活用方法	天·	:伤めり			
講義	を担当するタ	↑部講師とキャリアサボ	一トセンター職員はキャリ	ア支援に携わっており)、その経験を活かし	.てインターンシップ中の働き方に関	する指導を行う。
		吾による授業	+	**********			
	予定一覧 ナリエンテ-	-ション : キャリアにつ	 事前・ いて考える(キャリアサポ	・事後学修内容と時間 『ートセンター・担当教	(員)		
車	前学修	インターンシップに参加	する意義を再考し、疑問点	まを洗い出しておく。		-	2時間
			返り、課題に取り組む。				2時間
		とは? (外部講師)	~ / \				도뉴시 [타]
事	前学修	堤示された課題に取り 組	は。				2 時間
事	後学修	受業で学んだ内容を振り	返り、課題に取り組む。				2 時間
4 t	ビジネスマ	├─1 (外部講師)					
事	前学修	是示された課題に取り組	lむ。				2 時間
			返り、課題に取り組む。				2 時間
4 l	ビジネスマ	├──2 (外部講師)					
事	前学修	提示された課題に取り組	む。				2 時間
			返り、課題に取り組む。				2時間
		アンスとは? (外部講師	.,				2 吐明
		提示された課題に取り組 歴業で党/ ギロ窓を振り					2 時間
事	後学修	皮美で字んだ内容を振り 	返り、課題に取り組む。				2 時間

6 企業研究成	果の提出と注意事項(担当教員)	
事前学修	企業研究を行う。	2 時間
事後学修	授業で学んだ内容を振り返り、課題に取り組む。	2 時間
7 通訳・翻訳	スキル1(担当教員)	
事前学修	提示された課題に取り組む。	2時間
事後学修	授業で学んだ内容を振り返り、課題に取り組む。	2時間
8 通訳・翻部	」 スキル2(担当教員)	
事前学修	提示された課題に取り組む。	2 時間
事後学修	授業で学んだ内容を振り返り、課題に取り組む。	2 時間
9 振り返り	担当教員)	
事前学修	就業体験を振り返り、ディスカッションの準備をする。	2 時間
事後学修	授業の内容を振り返り、課題に取り組む。	2 時間
10 成果報告会	(担当教員)	
事前学修	成果発表の準備をする。	2時間
事後学修	発表内容をレポートにまとめる。	2時間
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		

試験等
レポート、成果発表
試験のフィードバックの方法
口頭または書面によるフィードバック
口頭または音画によるフィードバッグ
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
資料は適宜配布する。
オフィスアワー
by appointment
連絡先
mikakizu@m. ndsu. ac. jp (主担当教員)
留意事項
本科目への履修登録は、前年度に専攻へ申請し、派遣先が決定している学生のみ可能です。

		タインターンシップA	1883年左京兴田 16	単位数	4単位
<u>授業コ</u> 担当者		M2560 科目ナンバリング 木津 弥佳、植野 貴志子、松井 かや、Thomas Fast、山口 麻衣子		025年度第1期、2025年	‡度第2期
時間割		2025年度入学から、2024年度以前入学生も履修可 事前選考あり			
	態(主)	3 実験・実習・実技			
授業形 担当形	態(副) 態	複数			
研究分	·野(大学	□ 核数 完) 専門関連科目			
	の概要	吾英米文学専攻とインターンシップ協定を締結した企業等で、長期(20日	間)にわたる宝翌(莳業)	体験)を行う インタ	ーンシップは 学問的教育研
究とグ 現場に る場合	ローバル おいて実	t会での体験を結びつける機会を提供し、学生の新たな学習意欲を喚起す^ 务を経験することで、社会人となるための専門活用能力を高め、卒業直後ス ターンシップの場で協働する経験を通じて、互いの文化的背景や言語の違!	ることと、将来のキャリ から即戦力となりうる人	ア形成を支援すること 材を養成する。また、	を目的としており、企業等の 提携校からの留学生が参加す
アクテ	・ィブラーニ	ニングの実施内容 体験学習			
到達目	標			対応するディプロマポリ	
		t業体験において主体的に取り組み、高いコミュニケーション力を使って、		(1知識・技能/2思考 印識・技能/思考・判断	・判断・表現力/3主体性) 新・表現力/主体性
1					
2	学問的研究	9を通じて学んできたことを就業体験に活かすことができる。	<u></u>	ロ識・技能/思考・判 断	新・表現力/主体性
3	社会で活力	かせる実践的・専門活用能力を身につける。	<u></u>	印識・技能/思考・判断	新・表現力/主体性
4					
5					
成績評	価の基準		x	対応する到達目標の番号	<u> </u>
		をもとにした評価 50%		/2/3	-
-	報告書	50%	1.	/2/3	
3					
4					
5	FA 0 1 3	/			
		牧員による授業科目 への活用方法			
		吾による授業			
授業予	·定一覧	事前・事後学修内容と時間			
派遣先 実習内	企業等と 容の詳細	車携を図り、決められた就業体験の計画に即して実施する。 こついては、前年度の申請時に掲示されたものを基本とする。			
	前学修				
事征	後学修				
車車	前学修				
	前子16				
- 13					
事前	前学修				
事後	 後学修				
事前	前学修				
事後					
	前学修				
事後	後学修				

事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	

試験等
報告書の提出
試験のフィードバックの方法
口頭または書面によるフィードバック
口頭または音面によるフィートハック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自相位/自信/元元元山版位/ IIII / 100H/ 殊体性/ III III IIII III III
オフィスアワー
by appointment
by appointment
連絡先
mikakizu@m. ndsu. ac. jp (主担当教員)
留意事項
本科目への履修登録は、前年度に専攻へ申請し、派遣先が決定している学生のみ可能です。
本科目の履修に際しては、「英語英米文学専攻インターンシップ事前事後指導」も必ず履修すること

英語芽	E米文学専 项	女インターンシップB		単位数	2単位
授業= 担当者		M2565 科目ナンバリング 木津 弥佳、植野 貴志子、松井 かや、Thomas Fast、山口 麻衣子		<u>25年度第1期、2025年度第2期</u>	月
時間害	削備考	2025年度入学から、2024年度以前入学生も履修可 事前選考あり			
	彡態(主)	3 実験・実習・実技			
授業刑 担当刑	彡態 (副)	\frac{1}{2}			
	<u>シ態</u> }野(大学隊	<u>複数</u> 売) ■専門関連科目			
本授第	美の概要				
究とな現場に る場合	ブローバルね こおいて実績	吾英米文学専攻とインターンシップ協定を締結した企業等で、中期(10日 社会での体験を結びつける機会を提供し、学生の新たな学習意欲を喚起す 务を経験することで、社会人となるための専門活用能力を高め、卒業直後 スーンシップの場で協働する経験を通じて、互いの文化的背景や言語の違 こつける。	ることと、将来のキャリフ から即戦力となりうる人ホ	⁷ 形成を支援することを目的と オを養成する。また、提携校か	しており、企業等の らの留学生が参加す
アクラ	ティブラー:	ニングの実施内容 体験学習			
到達目	7 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	<u> </u>	対	応するディプロマポリシー	
到廷日				1知識・技能/2思考・判断・	
1	企業等の記	t業体験において主体的に取り組み、高いコミュニケーション力を使って <i>、</i>	連携協働できる。 知	識・技能/思考・判断・表現フ	カ/主体性
2	学問的研究	兄を通じて学んできたことを就業体験に活かすことができる。	知	識・技能/思考・判断・表現フ	カ/主体性
3	社会で活力	いせる実践的・専門活用能力を身につける。	知	識・技能/思考・判断・表現フ	カ/主体性
4					
5					
成績意	平価の基準		44	応する到達目標の番号	
		きもとにした評価 50%		/2/3	
1	370211132	33%	,,		
2	報告書	50%	1,	/2/3	
3					
4					
5 実務約	を 経験のある	女員による授業科目			
		への活用方法			
日本語	吾以外の言詞	吾による授業			
授業予	7定一覧	事前・事後学修内容と時間			
実習内	内容の詳細に	直携を図り、決められた就業体験の計画に即して実施する。 こついては、前年度の申請時に掲示されたものを基本とする。			
	前学修 後学修				
事	泛子 修				
事	前学修			1	
	後学修				
事	前学修				
事	後学修				
事	前学修				
事	後学修				
	前学修				
事	後学修				
_	_				

事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
·	
事前学修	
事後学修	

E P P A A
試験等
報告書の提出
試験のフィードバックの方法
口頭または書面によるフィードバック
<u>必携書(教科書販売)</u>
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
目
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱包/ 名名/光光ル山脈社/ III·IT/
オフィスアワー
by appointment
連絡先
mikakizu@m. ndsu. ac. jp (主担当教員)
50.辛克·西
留意事項
本科目への履修登録は、前年度に専攻へ申請し、派遣先が決定している学生のみ可能です。
本科目の履修に際しては、「英語英米文学専攻インターンシップ事前事後指導」も必ず履修すること

お話はずる	立学 重 扱っ	ſンターンシップC		単位数		1単位	
受業コー 担当者氏名	<u>۲</u>	M2570 科目ナンバリング 開講年度学 木津 弥佳、植野 貴志子、松井 かや、Thomas Fast、山口 麻衣子	·期	2025年度第1期、202			
時間割備え		2025年度入学から、2024年度以前入学生も履修可 事前選考あり					
受業形態		3実験・実習・実技					
受業形態 担当形態		複数					
研究分野	(大学院)						
本授業の構		e文専攻とインターンシップ協定を締結した企業等で、短期(5日間)の実習(就業	を体験) た行	う インターンシッコ	引士 学胆药	力数会研究とグロー	, š
ル社会での 実務を経り	の体験を結 験すること シップの場	を文字ならインターファット版とといれていますで、近朔(30日)の実合(私力 まぴつける機会を提供し、学生の新たな学習意欲を喚起することと、将来のキャル で、社会人となるための専門活用能力を高め、卒業直後から即戦力となりうる人材 場で協働する経験を通じて、互いの文化的背景や言語の違いに配慮しつつ、自身のま	ア形成を支援 材を養成する	ずることを目的とし [、] o。また、提携校から	ており、企: の留学生が	業等の現場において 参加する場合は、イ	て イ
アクティコ	ブラーニン	・ グの実施内容 体験学習					_
到達目標				対応するディプロマホ			
	要生の計業	。 体験において主体的に取り組み、高いコミュニケーション力を使って、連携協働で	できる	(1知識・技能/2思知識・技能/思考・半			
1	未守の派末	: 体験において主体的に取り組み、高いコミューケーションガを使うて、建房協関で	C 2 0 0	和畝・投舵/心布・+	11断:衣玩力	リン 土1年1注	
2 学問	問的研究を	通じて学んできたことを就業体験に活かすことができる。		知識・技能/思考・半	『断・表現力	力/主体性	
3 社会	会で活かせ	おままでは、またのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		知識・技能/思考・半	断・表現力	力/主体性	
4							
5							
↓ 或績評価の	の其准			対応する到達目標の番	조무		_
台北 当		,とにした評価 50%		<u>対応する封建日標の報 1/2/3</u>	<u> </u>		_
1 1							
2 報台	吉書	50%		1/2/3			
3							
4							
5	0 t 7 # 5	21- 1- 7-10-4-21-0					
美務経験の 実務経験の	<u>のめる教員</u> の授業へσ	Aによる授業科目 D活用方法					_
日本語以外 受業予定-		こよる授業					_
派遣先企業	業等と連携						_
事前学							_
事後学	2修						
事前学							
事後学	2修						
事前学	修						
事例于							
子 及 子	وا -						
事前学	*修						
事後学	2修						
事前学	'修						
事後学	'修						

事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
事前学修	
事後学修	
·	
事前学修	
事後学修	

試験等
報告書の提出
試験のフィードバックの方法
口頭または書面によるフィードバック
口頭または音面によるフィートハック
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自相位/自信/元元元山版位/ IIII / 100H/ 殊体性/ III III IIII III III
オフィスアワー
by appointment
by appointment
連絡先
mikakizu@m. ndsu. ac. jp (主担当教員)
留意事項
本科目への履修登録は、前年度に専攻へ申請し、派遣先が決定している学生のみ可能です。
本科目の履修に際しては、「英語英米文学専攻インターンシップ事前事後指導」も必ず履修すること